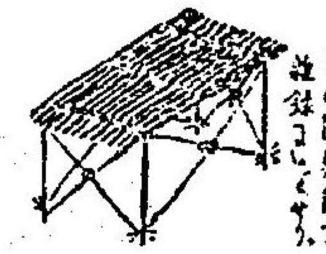
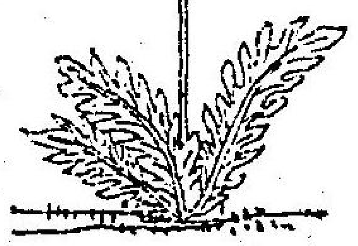
くろ ナ。畔。あぜ。たのさかひ。たのくろ。夫木六（たれならん、荒田のくろに、すみれつむ、人ハころの、ことなりけり）和名（畔、田界也和名久呂、一云阿世）
くろ ナ。サ。黒。すみのいろ。山家集（すゝしまや、たかしのこいし、しけかへて、くろまろまぜよ、浦の濱風）
くろ ナ。虫の名。いとゞをいふ。近江などにて。
くろあざた ナ。黒斑紙。くろくつきたるあざた。
くろい サ。黒。すみのいろのごとし。くろしを見るべし。
くろいろ ナ。黒色。くろきいろ。すみのごときいろ。
ぐろう ナ。愚弄。あなどりてなぶりものにするをいふ。東國にて。
くろうそ ナ。黒鷽。うそどりの雌をいふ。東國にて、
くろうと ナ。黒人。そのみちにまほゝみたるひと。
くろうま ナ。黒馬。けいろのくろきうま。
くろうを ナ。魚の名。あをさびをいふ。東國にて、
くろおどり ナ。鳬。かりをいふ。女の詞なり。禁秘抄内々記
くろがい ナ。黒柿。くろがきに同じ。空穂上吹（すゞろう、くろがい、からも、などいふ木どもを、さいもくとして）
くろがき ナ。黒柿。かきの木の心のくろきところ。まさんのたぐひにて、さいくにつかふもの。和名（黒柿、楊氏漢語抄云柿心久呂加木、俗用黒柿、或説、是柿木心黒者名也、爲近於俗、別以退之）
くろかげ ナ。黒鹿毛。くろきかげのうま。和名（烏驪、黒鹿毛也）
くろがね ナ。黒金。てつ。くろきかね。宇拾四（くろがねとり、六十人が長なりける）和名（鐵和名久路加禰、黒金也）
くろがねとり ナ。黒金取。くろがねをほりとるを、なりはひとするひと。宇拾四（くろがねとり六十人が長なりけるものの、佐渡國にこそ、こがねのえなさきさるところハありしと、人にいひけるを）
くろがねのかす ナ。黒金皮。くろがねのかす。かなくそを見るべし。和名（鐵精、一名鐵液和名鐵乃波太、一云加奈久曾）
くろかみ ナ。黒髮。くろきかみ。千載（ながゝらん、心もしらず、黒髮の、みだれてけさハ、ものをこそおもへ）
くろかみ ナ。黒髮。小唄の名。三味線にてうたふもの。
くろかみやま ナ。黒髮山。山の名。下野にあり。また、備中にもありといへり。續古（うばたまの、くろかみやまを、朝こえて、木の下づゆに、ぬれにけるかな）
くろき ナ。黒木。おろそのつきたるき。まろくけづりなさぬ木なり。万八（そらすゝき、なぞなはらぶき、黒木もて、つくれるやどハ、よろづ代までに）
くろき ナ。黒酒。くろきいろをつけたるさけ。新嘗會、大嘗會などのときもちひらるゝ酒にて、くろいろハ、黒胡麻の粉などにてつくるといふ。万十九（天地と、ひさしきまでに、萬代に、つかへまつらん、黒酒白酒を）
くろぎ ナ。名香。木の名。まきをいふ。西國などにて、
くろきぬ ナ。黒衣。もやう。つるばみのころも。枕草六（あはれなるもの、かうある人の子云々、をとこも女もきよげなるが、くろききぬきたる）
くろききび ナ。黒黍。きびの一種にて、實のいろのくろきもの。和名（秬黍、一名黒黍和名久呂木々美）
くろきのつくゑ ナ。黒木机。丸木の、あらそのつきたるものを組みつらねて、板のごとくにしてつくりたるつくゑ。神の御前などの、かうぐしきところにてもちふるもの。

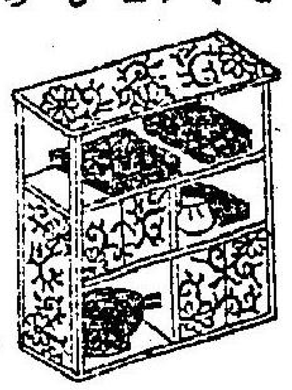




くろくさ ナ。漏蘆。草の名。莖のさま、葉のさまなど、すこしよもぎに似て、花ハ黄いろなり。また、根ハ、ごばうに似て、ほそくしてくろし。この根ハ、常に、くすりにもちふるものなり。和名（漏蘆和名久呂久佐、一云安里久佐）
くろくき ナ。白莖。草の名。みなしごぐさに同じ。
くろくさ ナ。虾。かはにいでくる、くろくまだらなるはしのごときもの。和名（虾俗云久佐、久佐而黒氣也）
くろくち ナ。黒口。たひの一種。いしだひに同じ。
くろくちなは ナ。烏蛇。からすへびに同じ。
くろくは ナ。黒鍬。たゞをたがへすもの。
くろくりげ ナ。黒栗毛。くろきくりげ。和名（騮、紫騮黒、栗毛也）
くろぐろと ツ。黒々。あざやかにくろく。蒼樹廿（霜ふりて白みさりさるに、堂の軒をひとしく、法師のくろぐろとしてみえけり。さりながらささやかにみえず）
くろけぶり ナ。黒煙。くろきけぶり。源若菜（その日數など、まかけとぶめ率りまへと、頭より、またとは、くろけ

ぶりなたてて、いみじき心をおこしてかぢし奉る）
くろとそく ナ。黒斑猫。こむくの一種なり。かささぎことく、黒くつやゝかなること、漆のごとし。
くろとぶし ナ。黒鳶。つぶなきをいふ。参河などにて、
くろこま ナ。黒駒。くろきこま。隆信集（忍びつゝ、かよひなれにし、黒駒の、すぎさづらふは、人やとがめん）
くろごま ナ。黒胡麻。ごまの一種にて、實のくろきもの。
くろごめ ナ。玄米。こめの、いまだつきしらげぬもの。七十一番歌合（こめうり、やまのげや、水のあさやみの、くろごめの、つきいでてこそ、あらけそめけれ）
くろさたう ナ。黒砂糖。さたうのくろきもの。
くろさん ナ。黒桟。さんとめぞめのくろきもの。
くろし サ。ビ。黒。すみのいろのごとし。この語ハ、今ハ、くろいと、しなれにはいはず。古今（おちたぎつ、瀧のみなかみ、年つもり、老にけらしな、くろきすぢなし）
くろすほ ナ。黒穂。猴の香に、まほをいれて、くろやきにしたるもの。金創の藥にもちふるものなり。
くろじゆす ナ。黒繻子。くろきいろのしゆす。
くろしろ ナ。黒白。くろとしろと。山家集（すゞ島や、たかしの小石、しけかへて、ふろくろまぜよ、浦の濱風）
くろばむ サ。ヒトリ。四。黒むむ。くろくいろづく。
くろすゐしやう ナ。黒水晶。すゐしやうのくろきもの。
くろそめ ナ。黒染。くろくそめたるそめいろ。
くろだ ナ。黒田。孝靈のみかどの大和の宮の名。

くろだな ナ。黒棚。ちがへだなに同じ。綵入記（くろだなとハ、ちがへだなの事なり。以上三箇なり。上下ハ、板をひきつらしにあるべし。中ハ、高く低くちがへて、しらへ候ふ。何にても、てばこの物をおく也）



くろだひ ナ。黒鯛。ちぬだひ。たひの一種にて、いろのくろきもの。和名（鰚魚和名久呂太比、似鰚而灰色）
くろたぶ ナ。釣樟。木の名。葉の狀、くすのきに似て、樹梓よりハながくして、皮は、あおき毛のごときものあり。また、根ハ、すこし、烏藥に似て、香氣あり。
くろだま ナ。木の名。たぶのきをいふ。伊豆などにて、
くろぢ ナ。黒地。おりぢのくろきもの。
くろづか ナ。黒塚。地の名。岩代にあり。拾遺（陸奥の、安達の原の、黒塚に、鬼こもれりと、いふハまことか）
くろづく サ。ヒトリ。四。黒。くろくなる。慈鎮（熟瓜）
くろつぐみ ナ。黒鶫。つぐみの一種なり。おほきさもずなりにて、頭と背と、くろく、胸と腹とハ、しろくして、くろき斑あり。また、喉ハ黄いろにて、よくさへづる。されバや、この鳥、ときとしてハ、うぐひす、すゞめなどの、聲をもまなびてさへづることありといふ。
くろつち ナ。黒土。くろいろのつち。和名（壚和名久呂豆千）
くろつゞ ナ。虫の名。いとゞをいふ。京都などにて、
くろつるばみ ナ。橡。もふくのいろ。つるばみのくろきいろ。榮花鶴林（九月より云々、くろつるばみにならせ給ふ。世の中の十が九ハ、みなにぶみそさりさり）
くろど ナ。黒戸。禁中の一所にて、清涼殿の北にあり。沈草六（露すこしうちりさるほど、黒戸に、とのもづかさ來て）平治（主上ハいづくにおもしますぞ。黒戸の御所に、上臺ハ一品御書所に、内侍所ハ温明殿に）
くろとくさ ナ。黒木賊。かさねの色目の名。表ハ青のくろばみさるにて、裏の白なるもの。抄
くろどり ナ。縫廉。表ハ黄色のくろばみさるなりともいへり。裏ハ白。
くろどり ナ。黒鳥。つぐみのくろきみづとり。土佐（かくうたふをきゝつゝこぎくるに、くろどりといふ鳥、岩の上にあつまりをり）和名（鸕久呂止里、黒色水鳥也）
くろなまり ナ。鉛。金の名。すずに同じ。
くろぬり ナ。黒塗。くろくぬりたるぬりもの。
くろのり ナ。黒菩。あまのりの一種。若狹の海にいでくるものにて、色くろくして、おちたひよしといふ。大和本草
くろはう ナ。黒方。たきものの名。源梅枝（御簾のうちのにほひ、いとものふかきくろはうにしみて）
くろむぎ ナ。黒麥。そばをいふ。加賀にて、
くろへ ナ。黒蠅。むへの一種。あをむへに同じ。
くろへ ナ。風の名。つゆのころにふくみなみかぜをいふ。伊豆の船人、また、志摩の鳥羽の船人の語なり。
くろむ サ。ヒトリ。四。黒。黒くいろづく。くろくなる。

くろひえ　ナ。黒稗。ひえの一種。穂も、莖も、實も、すべて、いねきびのごとくにて、秋のすゑにみのる。
くろびかり　ナ。黒光。くろくひかるひかり。
くろふ　ナ。黒斑。くろきふ。やけのすゝき。
くろぶし　ナ。黒節。つぶなきをいふ。東國にて。
くろぶだう　ナ。黒葡萄。蔓草の名。えびづるに同じ。
くろふね　ナ。黒船。くろくぬりたるふね。とつくにのふね。せいやうせん。太閤記六（南蠻國云々、好み侍るやう、黒船を修理しをせよと仰せつけられしが）
くろぼく　ナ。黒木。くろき。あらきのつきをさき。
くろぼし　ナ。黒點。くろきほし。くろきてん。
くろます　ワ。カ四。黒くす。すみのいろにす。
くろまなこ　ナ。黒眼。ひとみ。めのくろきところ。
くろまる　ワ。ヒトリ四。黒くなる。くろくいろづく。
くろみ　ナ。黒色。くろきいろ。くろきところ。
くろみだな　ナ。黒棚。くろだなに同じ。

くろむ　ワ。ヒトリ四。黒くなる。くろくいろづく。
くろむぎ　ナ。黒麥。そばむぎを見るべし。
くろむらさき　ナ。黒紫。くろずみたるむらさき。
くろめ　ナ。黒眼。くろきめ。
くろんぼ　ナ。黒坊。いろのくろきひとをいふ。
くろめ　ナ。黒布。あらめをいふ。
くわ　ナ。桑。くはのき。
くわ　ナ。鍬。くは。
くわあふ　ナ。花押。なのかきはん。かきはん。

くゎい　ナ。會。あまたのひとのつどひあるところ。
くゎい　ナ。外。ほか。みちにはづれたるところ。
くゎいい　ナ。怪異。あやしくふしぎなること。
くゎいえん　ナ。外援。ほかのたすけ。ほかよりのかせい。
くゎいかい　ナ。外海。そとうみ。くにのそとのおほうみ。
くゎいかう　ナ。會合。よりあひ。よりあつまり。
くゎいかう　ナ。外交。とつくにとのまじはり。
くゎいき　ナ。快氣。やまひいえてさはやかなるをいふ。
くゎいぎ　ナ。會議。よりあつまりてするひやうぎ。
くゎいきう　ナ。懷舊。すぎしむかしを思ひ出すをいふ。
くゎいぎやく　ナ。諧謔。おどけ。たはむれ。さるがう。
くゎいくゎ　ナ。外科。醫術にいふ語。げくを見るべし。
くゎいくゎく　ナ。外郭。そとぐるは。そとのかこひ。
くゎいくゎつ　ツ。快活。いさぎよくさはやかなるをいふ。
くゎいくゎん　ナ。外觀。そとのみえ。ほかのかまへ。
くゎいくゎん　ナ。外患。そとのうれひ。ほかのてき。
くゎいけい　ナ。會計。かんぢやう。ぜにのだしいれ。
くゎいけん　ナ。懷劍。ふところがたなに同じ。
くゎいけん　ナ。外見。そとのみえ。ほかのかざり。
くゎいご　ナ。悔悟。あやまちをくゆるをいふ。
くゎいこく　ナ。外國。とつくに。あだしくに。
くゎいこく　ナ。囘國。くにめぐり。あんぎや。
くゎいこくじん　ナ。外國人。とつくにのひと。
くゎいこくせん　ナ。外國船。くろふね。せいやうのふね。

くゎいさう　ナ。囘想。かへりみる。うしろをみる。
くゎいさう　ナ。懷想。おもひやり。
くゎいさん　ナ。艸の名。葉ハ、かうぞに似て尖りて、めぐりにはぎざあり、花ハ黄色にて、實ハ、ぶどうに似たり。
くゎいし　ナ。懷紙。たんじなどの、ちひさくきりたるもの。ふところにかくれうるもちゐるもの。
くゎいじん　ナ。外人。ほかのひと。とつくにのひと。十訓抄三（外國をして、おもくおもしつるに、外人となりて）
くゎいしゃ　ナ。會社。あきびとなどのくみあひ。
くゎいしょ　ナ。會所。ひとのつどひあつまるところ。
くゎいしゅ　ナ。會主。くゎいのあるじとなるひと。
くゎいす　ワ。ヒトリカ。會。あつまる。よりつどふ。
くゎいせい　ナ。快晴。よくはれたるをいふ。
くゎいせき　ナ。會席。あまたのひとのよりあひたるところ。
くゎいせき　ナ。外戚。げしやく。ははかたのしたしきもの。
くゎいせぶ　ナ。外題。ほかにおきさるもの。

くゎいせん　ナ。廻船。うんそうにもちふるふね。
くゎいそ　ナ。外祖。ははかたのおほぢ。
くゎいそふ　ナ。外祖父。ははかたのおほぢ。
くゎいそぼ　ナ。外祖母。ははかたのおほば。
くゎいたい　ナ。懷胎。はらみ。みごもり。
くゎいたう　ナ。外套。うはがけ。
くゎいたつ　ナ。囘達。つぎつぎにおくりてみするもの。
くゎいたん　ナ。怪談。あやしきはなし。ばけもののはなし。
くゎいちう　ナ。懷中。ふところ。
くゎいちゅう　ナ。海中。うみのなか。
くゎいちゅうどけい　ナ。懷中時計。ふところにいるるとけい。
くゎいとう　ナ。會頭。あつまりのかしら。
くゎいにん　ナ。懷妊。はらみ。みごもり。
くゎいふく　ナ。囘復。もとにかへす。

くゎいぶつ　ナ。外物。ほかのもの。とつくにのもの。
くゎいぶん　ナ。囘文。めぐらしぶみ。
くゎいぶん　ナ。外聞。ひとぎき。ほかのきこえ。
くゎいぶんうた　ナ。囘文歌。うたのひとつのすがた。うへよりもよまれ、しもよりもよまるるうた。
くゎいめん　ナ。外面。そと。そとづら。
くゎいよう　ナ。外用。ほかのよう。そとにもちふるもの。
くゎいらい　ナ。傀儡。くゞつ。あやつり。
くゎいらう　ナ。廻廊。めぐりのらう。
くゎいりき　ナ。怪力。ふしぎなるちから。

くゎいいろ ナ。鄙陋。ひなびれて、ふとどろはいなかもの。
くゎいろく ナ。回祿。ひごと。くわじ。みづなし。
くゎいせ ナ。會話。おしむつひてするさなし。
くゎいねん ナ。會員。くさのひと。くさのなかま。
くゎういん ナ。皇胤。みかどの御たね。みかどの御すゑ。
くゎういん ナ。光陰。つきひ。としつき。
くゎうおん ナ。皇恩。みかどのいつくしみ。
くゎうき ナ。光輝。ひかり。いきほひ。
くゎうきう ナ。皇宮。みかどのおはします おほみや。
くゎうきよ ナ。皇居。みかどのおはします ところ。
くゎうぐう ナ。皇宮。おほきみ。あまのみや。
くゎうくゎうとして ツ。煌々。ひかりかゞやきて。
くゎうくゎうに ツ。廣濶。ひろく。うちひらけて。
くゎうけい ナ。光景。けしき。ありさま。
くゎうけふ ナ。廣狹。ひろきとせまきと。
くゎうけふ ナ。宏業。おほきなるわざ。
くゎうげん ナ。巨言。おほぼら。ふさうなることゞ。
くゎうこうぐう ナ。皇后宮。きさいのみや。あきのみや。
くゎうこく ナ。廣告。ひろく。ひとにあらはすあらはせ。
くゎうこく ナ。皇國。みくに。にほん。おほやまと。
くゎうこつ ツ。恍惚。ほんやりと。うつゝりと。
くゎうこん ナ。黄昏。ひぐれ。ゆふぐれ。たそがれ。
くゎうさい ナ。光彩。きら。ひかり。うるはしき ひかり。
くゎうさう ナ。宏壯。おほきくしてうるはしき かまへ。

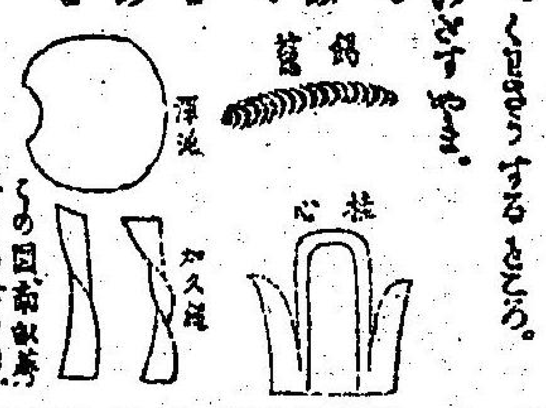
くゎうざん ナ。鑛山。くゎうぶつをほりいだすやま。
くゎうし ナ。皇嗣。あまつひつぎ。ひつぎのみこ。
くゎうしつ ナ。皇室。みかど。みかどの御いへ。
くゎうじん ナ。荒神。ほとけぶみにみえたる、靈鷲の神にて、如來荒院、臨凱荒院、忿怒荒院の三神をいひて、この三神を、三寶荒神ともいふ。さるは、從ふ、この三神を、經の神といはれあがまれり。竈をまもらせさまふれ、奥津彦、奥津姫を申す二柱の大神にませり。
くゎうじんまつ ナ。荒神松。くゎうじんにそなふるまつ。松の枝葉は、ところぐに。胡粉をぬりさるもの。
くゎうしやうさん ナ。屠蘇散。おやきをもちらふ藥にて、屠蘇とともに、元日にもちふるもの。公卿松原(三獻に、屠蘇散を供す。如此、御藥の儀式は三ケ日あり)
くゎうせん ナ。黄泉。よみのくに。ひとの、まにてのち、ゆくところ。舊韻記ハ(まての山を出す道とえぞせさきひて、くゎうせんのそろのはしはおもしろし)
くゎうせん ナ。光線。ひかり。ひかりのさすすぢ。
くゎうそ ナ。皇祖。みかどの御とほつおや。
くゎうぞく ナ。皇族。みかどの御やからやから。
くゎうそん ナ。皇孫。みかどの御まご。みかどの御すゑ。
くゎうたいこう ナ。皇太后。さきのみかどの御きさき。
くゎうたいこうぐう ナ。皇太后宮。くゎうたいこうのみや。
くゎうたいし ナ。皇太子。ひつぎのみこ。もうけのみや。
くゎうだいに ツ。廣大。ひろく。おほきく。いかめしく。

くゎうたく ナ。光澤。つや。ひかり。うるはしきひかり。
くゎうちよ ナ。皇女。ひめみや。みかどの御むすめ。
くゎうてい ナ。皇帝。みかど。すめろぎ。すめらみこと。
くゎうてん ナ。皇典。みくにぶみ。みくにのきよもつ。
くゎうどう ナ。皇統。みかどの御ちすぢ。
くゎうによ ナ。皇女。ひめみや。みかどの御むすめ。
くゎうばくと ツ。廣漠。ひろぐと。むつとして。
くゎうふ ナ。鑛夫。くゎうざんにてはたらくにんぷ。
くゎうぶ ナ。荒蕪。くさなどおひてあれさるをいふ。
くゎうぶち ナ。荒蕪地。あれち。あれすてさるところ。
くゎうぶつ ナ。鑛物。かね、いし、つちなどをすべていふ。
くゎうみやう ナ。光明。ひかり。あきらかなるひかり。
くゎうもん ナ。黄門。中納言をいふ唐名なり。
くゎうや ナ。曠野。ひろきの。うちひらけさるのぞら。
くゎうりやう ナ。荒涼。とりとめなくむつとしさるをいふ。されば、あまりなくて、ものすごきところにもきこゆることあり。無名抄(諸人、口をとおしてやみにけり。荒凉は、ものはなんずましき事なり)宇治拾遺(きうはいへんぐゑある者なれば、けふのうちに、ゆきつきていへとてぞなでは、荒凉のつらひやといふ)
くゎうれいさい ナ。皇靈祭。みかどの御たまゝつり。
くゎうろぜん ナ。黄櫨染。染色の名。櫨と蘇芳とにてそめさるいろ。式、縫殿、海松茶のむげうるごときいろ。
くゎうゐ ナ。皇威。みかどの御いきほひ。

くゎえう ナ。火曜。げつえうのつぎ。七曜を見るべし。
くゎえき ナ。課役。えだち。くせやくを見るべし。
くゎえん ナ。火焔。ほのほ。ひのもえあがりさるところ。字拾十(火焔、にわうはおとりて、風につく)
くゎか ナ。畫家。ゑかき。ゑをよくかくひと。
くゎがい ナ。花街。くるわ。いろざと。いろまち。
くゎがい ナ。禍害。わざはひ。まがこと。さいなん。
くゎかい ナ。瓦解。くづれ。こはれ。やぶれ。
くゎがく ナ。化學。せいみ。火のもえ、水のこほるたぐひ、すべて、物のかはりゆくみちをまなぶがくもん。
くゎかふし ナ。華甲子。六十一のとしをいふ。華の字は、十の字むつと、一の字ひとつとあればなり。
くゎき ナ。火氣。ひのけ。ひのいきほり。
くゎき ナ。瓦器。かはらけ。すやきのやきもの。
くゎきふに ツ。火急。おほいそぎに。きはめてきふに。
くゎぐ ナ。臥具。やぐ。ふとん。ふとどにもちふるもの。
くゎくかう ナ。藿香。草の名。高さ二三尺ばかり、葉のさま、薄荷に似て、狹くしてながく、花は、すこし、夏枯草の花に似さり。この葉は、常に、藥、薫物などに用ふ。
くゎくこと ツ。確乎。かたく。たしかに。うごきなく。
くゎくしつ ナ。確執。あらそひ。いさかひ。けんくゎ。
くゎくしやくと ツ。矍鑠。すこやかに。としよりにいふ詞。
くゎくしよう ナ。確證。たしかなるさうこ。
くゎくせつ ナ。確説。たしかなるせつ。

くゎくてい ナ。確定。たしかなるさだまり。
くゎくない ナ。郭内。くるわのうち。いろざとのうち。
くゎくよく ナ。鶴翼。いくさのぢんどりにいふことば。
くゎくらん ナ。霍亂。なつのころのきふなるやまひ。
くゎくゎんぷ ナ。火浣布。ひねずみといふ鼠の毛にておりさるおりものにて、よごるゝときは、火の中にいるれば、けがれうせて、きよらになるといふ。また、石綿といふものにておりさるものなりともいへり。
くゎけ ナ。區分。くべつ。とりわけ。
くゎげき ナ。過激。きはめてはげしきをいふ。
くゎげん ナ。管絃。くゎんげん。いとたけ。
くゎげん ナ。訛言。なまりことば。まちがひさるうはさ。
くゎご ナ。過去。すぎしとき。すぎさりしむかし。
くゎご ナ。過誤。あやまち。まちがひ。あやまちなひ。
くゎこう ナ。畫工。ゑかき。ゑをよくかくひと。
くゎごく ナ。過刻。さきほど。すこしまへのとき。
くゎごぜ ナ。元興寺。げごじを見るべし。
くゎこちやう ナ。過去帳。なきひとの名をかきとどめおくはさうし。寺にあるものなり。平家(後白河の法皇の長講堂の過去帳にも、祇王、祇女、佛、とぢらが尊靈と、四人一所にいれられさり)
くゎごん ナ。過言。いひすぐし。そらぐち。あくこう。
くゎさ ナ。過差。えぎり。ぶうりう。大鏡(延喜の世間の作法をさきめさせ給ひしかど、過差をえまづめさせ給はざりしは)徒然草(堀川の相國は、美男のたのしき人にて、その事となく、過差をこのみ給ひけり)

くゎざ ナ。冠者。くゎんじやを見るべし。源少女(くゎざの君、ひとつところにておひいでさまひしかど)
くゎさい ナ。火災。くゎじ。みづなし。
くゎざい ナ。貨財。たから。きんせん。てうど。
くゎさう ナ。花草。うつくしきはなのさくくさ。
くゎさう ナ。火葬。なきがらをやきてほうむるをいふ。
くゎさう ナ。萱草。草の名。くゎんざうに同じ。
くゎさう ナ。華奢。ゑすがた。ゑはかきさるすがた。
くゎさういろ ナ。萱草色。かうじいろに同じ。源氏(ほどむきあをめ、人よりは黑くそめて、黑きわざみ、くゎざうの袴など、着さるもおかしき姿なり)
くゎさうば ナ。火葬場。やきば。くゎさうするところ。
くゎざん ナ。火山。ひをふきいだすやま。
くゎし ナ。菓子。からくだもの。菓實などのおちたるにも似せてこしらへさる食物にて、米の粉などに、砂糖などをまじへてこしらへさるものなり。まんぢう、せんべい、かすていら、うゐらうのたぐひ。



くゎじ ナ。火事。みづなし。ひのわざはひ。
くゎし ナ。畫師。ゑかき。ゑをよくかくひと。

ベルトコンベヤー ㊥輸送・運搬のために用いられる帯状の装置。

ベルトばし【ベルト橋】 ㊥橋の一種。橋桁を支えるケーブルが、ベルトのように見えるつり橋。

ベルトラン ㊥馬車。ベルトランを引く馬。

ベルナール ㊥ベルナール・ド・ヴァンタドゥール。十二世紀の吟遊詩人。

ベルナールそう【ベルナール僧】 ㊥シトー会の修道士。

ベルナールそうかい【ベルナール僧会】 ㊥シトー会。

ベルナールそうかん【ベルナール僧官】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうこく【ベルナール僧国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅう【ベルナール僧宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうかい【ベルナール僧宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうこく【ベルナール僧宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃ【ベルナール僧宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃ【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者】 ㊥ベルナール僧会の修道士。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃこく【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者国】 ㊥ベルナール僧会の修道院。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅう【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうかい【ベルナール僧宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗者宗会】 ㊥ベルナール僧会。

ベルナールそうしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうしゃしゅうし

くわんおんぼさつ　ナ。観音菩薩。くわんぜおんに同じ。
くわんかい　ナ。勧解。これかれときさとして、あらそひなどをやめしむるをいふ。裁判所にてする事なり。
くわんかう　ナ。還幸。みかどのかへらせたまふをいふ。
くわんがく　ナ。勧学。がくもんのすゝめ。
くわんがくゐん　ナ。勧学院。藤氏の人の学問するところ。
くわんかつ　ナ。管轄。きそひ。とりしまり。きめくゝり。
くわんき　ナ。歓喜。よろこび。たのしみ。
くわんぎ　ナ。罐木。とをとざすよこぎ。宇拾五（罐木をそづして、扉からつまを、人ひとりいる程あけたり）
くわんぎさう　ナ。萱草。草の名。わすれぐさに同じ。
くわんきす　ワ。カケ。カ。喚起。よびておこす。よびてさます。
くわんきふ　ナ。緩急。ゆるやかなるときふなること。
くわんきん　ナ。官金。くわんのかね。やくしよのかね。
くわんきよ　ナ。官許。おほやけのゆるし。
くわんぎよ　ナ。還御。みかどのかへらせたまふをいふ。中務内侍日記（主上御装束めしあらためて、還御の儀になる程に、この御やまひまくへいらせたまひぬ）
くわんぐ　ナ。玩具。あそびどうぐ。もてあそびもの。
くわんぐ　ナ。[illegible]。からくなまできゝもけなきをいふ。
くわんぐん　ナ。官軍。みかどのいくさ。おほやけのいくさ。
くわんぐわい　ナ。管外。きそひのそと。きそひのほか。
くわんくわく　ナ。棺槨。ひつぎ。くわんをけ。
くわんくわこどく　ナ。鰥寡孤独。やもを、やもめ、みなしご、ひとりもの。よるべなくてさすらふものをいふ。

くわんくわつ　ナ。寛闊。ゆるくしてきまりなきをいふ。
くわんくわんたる　ソ。緩々。ゆるく。そろく。
くわんげ　ナ。勧化。ほうしなどの、人をみちびくをいふ。
くわんけい　ナ。関係。かゝりあひ。ひつかゝり。
くわんけつす　ワ。オケ。カ。完結。まつたくをはりとなる。
くわんげふ　ナ。勧業。なりはひをはげますをいふ。
くわんけん　ナ。官権。おほやけのけんりよく。
くわんけん　ナ。管見。せまきけんしき。ちひさきかんがへ。
くわんげん　ナ。管絃。いとたけ。ふえ、ことのたぐひ。十訓六（音楽をば、仙家人中にも、これをもてあそび、仏土天上にもさきとす云々、これら、管絃の徳をあらはす）
くわんこ　ナ。官庫。くわんのくら。おほやけのくら。
くわんご　ナ。歓娯。よろこびたのしむをいふ。
くわんこ　ナ。[illegible]。ひとむきにかへりみるをいふ。
くわんこうじ　ナ。元興寺。げどじを見るべし。
くわんこうば　ナ。勧工場。あきびとの、あまたくみあひて、さまぐのものをならべてあきなふところ。
くわんこく　ナ。勧告。つげて、すゝめよほすをいふ。
くわんざ　ナ。冠者。せうど。げんぷくすべきとしごろのをのこ。また、六位の無官の人をもいふ。源蜻蛉（くわんざの御座、ひきいれのおとゞの御座、御前にあり）
くわんさい　ナ。関西。せきのにしを見るべし。
くわんざう　ナ。萱草。草の名。葉の状、あやめに似て、ひろくしてやはらかなり。花は、ひらの赤くきざみあるさまにて、夏の末よりさきそめて、朝にひらき、ゆふべにしぼみつゝ、秋の末にいたる。

くわんざう　ナ。甘草。[illegible]をいふ。借語、上田まで、
くわんさく　ナ。官爵。くわんじやくを見るべし。
くわんさつ　ナ。観察。よくみておしはかるをいふ。
くわんさつし　ナ。観察使。いにしへ、ときとして、くにぐにつかはされし官人にて、そこのまつりごとのよしあしなどをみせしめたまひしもの。
くわんさん　ナ。元三。ぐわんじつをいふ。元日は、年のはじめ、月のはじめ、日のはじめなればかくいふ。公事根源（供御薬、是は元三の儀なり。御殿にて行なる）
くわんさんにち　ナ。元三日。ぐわんじつより三日まで。花山（年もかへりぬ。元三日のほどよりして、いまめかしうきらやかなる御まつりごとどもにて）
くわんし　ナ。官司。つかさ。おほやけ。やくしよ。
くわんじつ　ナ。元日。むつきのついたちのひ。
くわんじつさう　ナ。元日草。ふくじゆさうに同じ。
くわんじと　ソ。莞爾。にこやかに。ゑみをふくみて。
くわんしふ　ナ。慣習。くせ。しきたり。ならはし。
くわんしん　ナ。歓心。うれしくおもふこころ。
くわんじん　ナ。寛仁。あはれみのふかきをいふ。
くわんじん　ナ。勧進。僧などの、寄進をすゝめありくをいふ。宇拾二十（材木とらんとて、勧進しあつめたるも

のを、みなそこばくせて、この陰陽師にとらせつ）
くわんじん　ナ。勧進。かさらなをいふ。豊後などにて、
くわんじんずまう　ナ。勧進相撲。くわんじんのためにするずまう。嬉遊笑覧（大友家記に云々、すまうとりくだりて、豊後府内において、勧進相撲を興行す）
くわんじんぶね　ナ。勧進船。びくにぶねを見るべし。
くわんじんもと　ナ。勧進元。くわんじんずまうなどをこうぎやうするもの。また、もののほつきにんをいふ。
くわんしや　ナ。官社。くわんぺいしや。こくへいしや。
くわんしや　ナ。官舎。くわんにてたてたるいへ。
くわんじや　ナ。冠者。くわんざを見るべし。
くわんじや　ナ。患者。やみびと。わづらふ。びやうにん。
くわんしやう　ナ。官省。つかさ。おほやけ。やくしよ。
くわんじやう　ナ。勧請。かみほとけをあんちするをいふ。
くわんしやうだい　ナ。観象台。てんもんをみるところ。
くわんしやく　ナ。官爵。くわんとしやくと。つかさくらゐをいふ。源少女（こゝろのまゝなるくわんじやくにのぼりぬれば、ときにあふ世のひとの、きさまれ、たなましろきをしつゝつるしようし）
くわんしゆ　ナ。官守。あづかり。まもりて。むんにん。
くわんしゆ　ナ。慣手。てなれ。なれてよくする者き。
くわんしゆ　ナ。貫主。てんじやうびとのかみさのひと。くらうどのかみ。さんもんのざす。平家一（太刀をはきながら、殿上の小庭に畏りて候ひける。貫首以下

おやしみをなして）同二（昔こそ、三千の衆徒のくわんしゆたりしか、今は、かゝる流人の身となりて）
くわんじゆ　ナ。巻数。まきのかず。仏経などの、よみたるかずを志るしたるもの。拾遺（天暦のみかど三云々、山階寺に、金泥寿命経四十八巻をかき供養したまひける、御巻数、講にくはせて、すそごにたてたりけり）
くわんしゆ　ナ。願主。ねがひぬし。千載（人の法会おこなひける講師に、越前国にまかりて、のぼりなんとするとき、かの国の願主、ひたれをなしみけるに）
くわんしよ　ナ。患処。やまひのあるところ。
くわんしよ　ナ。官署。つかさ。おほやけ。やくしよ。
くわんしよ　ナ。願書。ねがひのことをかきたるふみ。
くわんじよう　ナ。還昇。てんじやうびとの、ちげにおちて、まさてんじやうをゆるさるゝをいふ。千載（還昇して侍りける人のもとにつかはし侍りける）
くわんしよく　ナ。官職。つかさ。つかさくらゐ。
くわんす　ナ。鑵子。ゆをわかすにもちふるかま。
くわんす　ナ。鑵子。ちやがまをいふ。畿内、西国などにて、
くわんす　ナ。萱草。くわんざうをいふ。肥前、摂津にて、
くわんず　ワ。ヒトリ。カ。関。かゝはる。あづかる。たづさはる。
くわんず　ワ。カケ。カ。観。みる。あきらむ。栄花衣珠（心うきこと、身をくわんじおぼすも、ことわりにいみじ）
くわんず　ナ。[illegible]。[illegible]。
くわんずう　ナ。巻数。まきのかず。きうしのかず。

くわんぜい　ナ。関税。ぜいくわんにてとりたつるぜい。
くわんぜおん　ナ。観世音。仏の名。断六（くるくと、人ののめなる、すゞの緒れ、ながき世すくふ、観世音なり）
くわんぜがない　サ。小児のききまへなきをいふ。
くわんせつ　ナ。関節。てあしのふし。てあしのつがひ。
くわんせつす　ワ。ヒトリ。カ。冠絶。すぐれさり。ひいでたり。
くわんぜなし　サ。ヒ。小児のききまへなきをいふ。
くわんせん　ナ。官選。くわんにてのえらび。
くわんせん　ナ。完全。かけたるところなきをいふ。
くわんせんより　ナ。紙縒。かうより。かみひねり。
くわんそ　ナ。元祖。ものごとをはじめたるひと。
くわんそく　ナ。観測。よくみてはかるをいふ。
くわんそく　ナ。[illegible]。こせきのあるところ。
くわんたい　ナ。款待。よきもてなし。てあつきあしらひ。
くわんたい　ナ。緩怠。をこたり。なほざり。
くわんだい　ナ。寛大。ひろくゆるやかなるをいふ。
くわんたて　ナ。願立。かみほとけにねがふをいふ。
くわんたん　ナ。元旦。ぐわんじつ。としのはじめのひ。
くわんちく　ナ。巻軸。まきもののまきをさりのところ。また、てんとりうたのくわんとうにつくもの。
くわんちやう　ナ。官庁。つかさ。おほやけ。やくしよ。
くわんちやう　ナ。管長。しゆうもんをつかさどるもの。
くわんちやう　ナ。灌頂。ちやうもんより、薬水をさすなどをいふ。大使のとどこほりなどをなほすにする事なり。

くわんちゆうす　ワ。カユ。カ。灌注。そそぐ。そそぎてかく。
くわんぢよ　ナ。官女。みやづかへしをるにようばう。
くわんぢやう　ナ。勧請。神をすゝめ、霊をうつすをいふ。
くわんつうす　ワ。ヒトリ。カ。貫通。つらぬきとほる。
くわんづめ　ナ。鑵詰。ぶりきづめのたくはへもの。
くわんてい　ナ。官廷。だいりやうくわんに同じ。
くわんてつす　ワ。ヒトリ。カ。貫徹。つらぬきとほる。
くわんてん　ナ。寛典。ゆるやかなるおきて。
くわんど　ナ。官途。みやづかへ。つかへのみち。
くわんどう　ナ。巻頭。まきもののきりはじめのところ。
また、てんきやうのすゑにさらさるもののきまりものをいふなり。
くわんとう　ナ。関東。せきのひがしを見るべし。
くわんとうしゆう　ナ。関東衆。くわんとうのひと。
くわんとぎやう　ナ。官途奉行。武家の役の名。御家人にたまふ官位などのことをつかさどるもの。
くわんない　ナ。管内。まかなひうち。まはりのところ。
くわんに　ツ。頑。かたくなに。ひとむきに。きゝわけなく。
くわんにん　ナ。官人。つかさびと。やくにん。但し、わにしつれ、諸者の、主典より上の人をいふ。竹取（かのつかさの官人、くらつ丸と申す翁申すやう）伊勢（ある国の、みさうの官人の妻にてなんあるときゝて）
くわんにん　ナ。願人。ねがひて。ねがふひと。
くわんにんぼう　ナ。願人坊。やまぶしのごときぼうず。
くわんのう　ナ。勧農。たをすゝむること。

くわんねん　ナ。観念。さとり。あきらめ。方丈記（……れど、四れそれさうる。観念の便なきにしもあらず）
くわんねん　ナ。元年。かいげんしをるとしのはじめのとし。
くわんのう　ナ。勧農。たみのなりはひをすゝむるをいふ。
くわんのき　ナ。貫木。とをさしかたむるよこぎ。和名（閂 木乃 以横木持門曰閂所以閉也）
くわんのちやう　ナ。官庁。だいじやうくわんに同じ。中務内侍日記（閑院へならせさせ。御輿にめされぬれて、くわんのちやうへいそぎまゐる）
くわんのつかさ　ナ。官司。だいじやうくわんのつかさ。枕草子（二月、くわんのつかさに、かうさうといふことすなり、何事にかあらん、しらぬ）
くわんぱう　ナ。官報。おほやけよりいだすしんぶん。
くわんぱく　ナ。関白。あめのしたのまつりごとをすべおこなふつかさ。天子のいとけなくおはす時などにおこなふ。くとなる人にて、うへなくたふとき職なり。されば、その人は、太政大臣の上にゐすることなり。枕草子三（すこし日たけたる程に、三位中將とは、関白殿をぞきこえし）
くわんはつしう　ナ。関八州。くわんとうのやつのくに。武蔵、相模、安房、上總、下總、上野、下野、常陸の国々をいふ。
くわんさう　ナ。観相。にんさうをみること。
くわんぱん　ナ。官版。おほやけにてすりたるほん。
くわんぴ　ナ。官費。おほやけよりいだすいりめ。

くわんび　ナ。完備。かくるかさなくそなはれるをいふ。
くわんぶ　ナ。官府。つかさ。おほやけ。やくしよ。
くわんぷく　ナ。官服。つかさぐらゐによりてきるきもの。
くわんぷす　ワ。カイ。カ。還付。かへす。もとにもどす。
くわんぶつ　ナ。灌佛。三やうのまつり。四月八日にある事にて、八日は、釈迦のうまれし日なりとて、金銅の佛像に、水をそそぎてまつる事あり。今も、甘茶をそゝぎてまつる所あり。東都年中行事（八日灌佛あり云々。鉢いつゝに、五色の水をいれる云々、鉢の水をくみあはせて、ひとつにいれて、まづ、御頭頂くわんぶつす）嵯峨記（永和七年、甘行灌佛之事）
くわんぶつゑ　ナ。灌佛會。くわんぶつのときのまつり。
くわんぶつ　ナ。玩物。あそびぐさ。もてあそびもの。
くわんぺい　ナ。官幣。みやのいはひ。おほやけのいはひ。
くわんぺいしや　ナ。官幣社。おほやけより、みてぐらをたてまつるやしろ。社の格のたかきもの。
くわんぺん　ナ。官辺。おほやけさまのかた。
くわんぼく　ナ。灌木。きとくさとのあひだなるもの、ばら、やまぶき、つゝじなどのたぐひ。
くわんぼつす　ワ。カ。カ。陥没。おちいる。
くわんぽんぎ　ナ。官本。おほやけよりすりいだすほん。
くわんぽん　ナ。官本。おほやけよりすりいだすほん。
くわんまう　ナ。願望。ねがひ。のぞみ。

くわんぼう　ナ。観望。みわたし。ながめ。
くわんみ　ナ。翫味。こころよくあぢはふをいふ。
くわんみん　ナ。官民。おほやけとたみと。
くわんみん　ナ。頑民。かたくなにて、きゝわけなきたみ。
くわんむ　ナ。官務。おほやけのつとめ。やくしよのよう。
くわんむ　ナ。官務。つかさのをさ。左大史、右大史、左少史、右少史（官務といふ、外記の下にて、左大史、右大史、左少史、右少史の四人あり。二人の内、第一の左大史の事を官務といふ。古事類苑。今は、左大史一人あり、是を壬生官務といふ）
くわんめ　ナ。貫目。めかた。おもりにかかるおもり。
くわんもつ　ナ。官物。おほやけのもの。やくしよのもの。
くわんもん　ナ。関門。せきのもん。とほるひとをあらたむるもん。
くわんもん　ナ。願文。ねがひぶみ。拾芥三（一乗の法文をよみひろめ、願文のことばを、なくなくよみきこゆるを、なみだをながさぬひとぞなき）
くわんやく　ナ。丸薬。つぶぐすり。まろめたるくすり。
くわんようご　ナ。慣用語。つかひなれたることば。
くわんらい　ツ。元来。もとより。そもそもから。
くわんらく　ナ。歓楽。よろこび。たのしみ。また、宮中にて、年のはじめのやどのなかに、宴をなすこと。東鑑（正月三日、武日……）
くわんり　ナ。官吏。くわんにん。やくにん。つかさびと。
くわんり　ナ。管理。さばく。まとめ。とりしまる。
くわんり　ナ。元利。もときんとりきん。

くわんりき　ナ。腕力。ねぢひのちから。いのりのちから。竹取（大隅守にあや、腕力より、ものや、雨雪にまうでいつる）
くわんりつ　ナ。官立。おほやけよりたてるもの。
くわんりにん　ナ。管理人。あづかりするひと。
くわんりよう　ナ。官僚。おほやけのやくにん。
くわんりやう　ナ。管領。武家の役の名。執事をあらためし名なり。
くわんれい　ナ。慣例。ならはし。きまりあと。
くわんれき　ナ。還暦。むそぢのとし。甲子のとしより、六十年にして、ふたたび、また、甲子にかへる故に、六十の年をかくいふ。
くわんろうす　ワ。カイ。カ。翫弄。もてあそぶ。
くわんろうぶつ　ナ。翫弄物。おもちや。もてあそびもの。
くわんろく　ナ。官祿。つかさとくら。
くわんゐ　ナ。官位。つかさとくらゐ。
くわんをたつ　ナ。立願。ねがひをたてる。願（新にかけて、物をおもひ、いのりをして……）

くわもん　ナ。禍門。わざはひのもと。
くわもんせき　ナ。花紋石。……

くゐき ナ。區域。さかひ。かぎり。きはまり。へだて。

くゐち ナ。闕。けち。かけ。あき。空穂國讓（このたびのくゐちかれ、かれをあそませさまへと探しさまへ）

くゐにち ナ。凶會日。うらかたのあしきひ。陰陽家にていふことなり。枕草十（ことに、ひとにしられぬもの、ひとのめおやのおいたる、くゐにち）

くゐそらかす ワ。カタ。四。蹴散。けちらす。けてちらす。神代紀（蹴散、此云倶穢簸邏簸須）

くゐまり ナ。蹴鞠。まりをけるあそび。このあそびは、用明のみかどの御時より始れりといふ。蟲極紀（中臣鎌子云々、偶預中大兄於法興寺槻樹之下打毬之侶）

くゐんじ ナ。源氏。げんじ。みなもとのうぢ。空穂上（宮の君、くゐんじのきみも云々さぶらはせさまふ）

くゐんじやう ナ。勸賞。けんじやう。てがらをしたるをうび。竹取五郎絵詞（くゐんじやうにあづかり侍ぞべ、夜をもて、日につぎ、まゐりくさり侍ひて）

くゐんぞく ナ。眷屬。けんぞく。源夕顔（おのづから、物いひもらしつべき、くゐんぞくもたちまじりさらん）

け

こはふれていづるひとつのこゑにて、ケとエとかさなりたるこゑなり。

け ナ。毛。いきものの、はだにもえいづる、ほそきいとのごときもの。堀川次郎（琴の音の、ことにむせぶ、けぶれは、毛もいよだちぬ、そぞろさむさに）

け ナ。饌。くひもの。のみもの。祝詞式（長御食能遠御食登、赤丹能穂爾聞食故牙、皇御孫命能宇豆能弊帛乎）

け ナ。笥。もこ。うつはもの。おものなどをもるうつは。万二（家にあれば、笥にもるいひを、くさまくら、旅にしあれば、椎の葉にもる）後拾（院の殿上にて、宮の御方より、菖蒲いださせ給ひける、ごいしけの蓋に）

け ナ。氣。き。いき。いきほひ。朝顔（東おもての朝日のけいとくるしければ、南のひさしにいでさるに）

け ナ。木。きをいふ。東國のいにしへの方言なり。万二十（麻都能氣の、なみさるみれば、いはびとの、われをみおくると、たゝりしもころ）同（麻氣波之良、ほめてつくれる、殿のごと、いませ母とじ、おめがはりせず）

け ナ。氣。けはひ。けしき。ようす。ありさま。源柏木（いとくるしうあてなるけしきして、枕をそばだてて）

け ナ。怪。ものゝけ。もののたゝり。源薄雲（天變しきりにさとし、世の中さわがしければ、このけなり）

け ナ。罫。かみにひきさるすぢ。源鈴虫（唐紙はもろくて、けかけさる金のすぢよりも、すみつきの上に、かゞやくさまなども、いとなんめでたくなりける）

け ナ。故。ゆゑ。わるし。落窪二（こゝらの日頃さぶらひつれど、かくおろしなどやみえつる。なほ、君が君の、おもしるすけなりといへば云々、たれもくつらふ）

け ソ。來經。きへのつまりさる語にて、月日をふることをいふ。万二十（草枕、この旅の日に、妻さかり、家路おもへば、いけるすべなし）古事記（君がゆき、けながくなりぬ、やまたづの、むかへをゆかん、まつにはまさじ）

け ワ。消。きえ。伊勢（ちらつゆは、けなばけななん、きえずとて、たまにぬくべき、ひともあらじを）

け テッチ。作用言、形状言のかしらに、かろくつけていふことばにて、異なる意なし。源紅葉賀（かざしのもみぢいとうちりすぎて、かほのにほひにけおされさることちすれば）枕草二（そよひはよめなどせめさせさまへど、けぎようきこゆもいれてさぶらふに）

げ ナ。偈。ほとけのをしへ。佛經の中にあるもの。源総角（なのむなる偈をしへん鬼もがな。ことづけて、身もなげんとおぼすぞ、こゝろさとなきひとり心なりける）

げ ナ。下。しも。しもさま。つぎ。しもの品なるもの。

げ ソ。頃。かほ。さま。けはひ。貫之集（うぐひすは、花さるれげれ、なけれども、春くるみちの、ものにぞありける）源蓬生（人すみげもなきものをとおもひて、かへりまゐるほどに、月あかくさしいでさるにみれば）

けあがり ナ。氣上。のぼせ。ぎやくじやう。

けあがる ワ。ヒトリ。四。氣上。のぼす。ぎやくじやうす。源椎本（宮は、ものをいさびしとおぼしけるに、御けあがりて、なほなやましうせさせさまふ）

けあげ ナ。蹴上。ふみてあがるところ。

けあし サブ。無愛。てんきのあし。拾玉（神嵐風、けあしければ、こざいでぬと、都の人に、いひてきらせん）

けあな ナ。毛孔。けのあな。あせのいづるあな。

けあひ ナ。蹴合。にはとりのたゝかひ。

けい ナ。磬。樂器の名。うちならしにて同じ。

けい ナ。荊。つみびとをつみなふおきて。

けい ナ。罫。け。かみにひきさるすぢ。

けい ナ。景。けしき。ながめ。みもらし。

げい ナ。藝。まなびてえさるわざ。十訓六（氏をうけさるもの、藝おろかにして、氏をつがぬたぐひあり）

けいあん ナ。慶庵。うけやど。ほうこうにんのくちいれ。

けいあん ナ。慶庵。やとひにんの口入を、業とするもの。

けいあんらし サブ。慶庵。けいむくなるをいふ。但し、東京の吉原などの遊女のいふことばなり。嬉遊笑覧

けいい ナ。敬畏。うやまひのこころ。

けいいに ソ。輕易。てがろく。やすらかに。

けいえい ナ。經營。つくり。かまへ。いとなみ。

けいが ナ。慶賀。いはひ。よろこび。

けいかい ナ。境界。さかひ。かぎり。きまり。

けいかい ナ。警戒。いましめ。ようじん。

けいかう ナ。經行。つきのもの。をんなのつきのさはり。

けいかく ナ。圭角。かど。つの。とがり。

けいがみ ナ。罫紙。けいをひきさるかみ。

けいかん ナ。[illegible]。かなつかみ。なんじよく。

けいき ナ。景氣。けしき。ようす。ありさま。辨内侍日記（鳥羽殿の御所のけいきのおもしろさ、ことをりみるすきぶり。いろくの紅葉も、をりをえたるこゝちす）

けいき ナ。京畿。みやこのめぐりのくにぐに。

げいぎ ナ。藝妓。げいこ。まひこ。うたひめ。あそびやうし。

けいきう ナ。[illegible]。ぐうせんを見るべし。

けいきんこ ナ。輕禁錮。刑の名。かろききんこ。

けいきやう ナ。景況。ようす。もやう。ありさま。

けいきよく ナ。荊棘。いばら。そりあるちひさきき。

けいくわ ナ。螢火。ほたるび。ほたるのひかり。

けいくわく ナ。計畫。かんがへ。もくろみ。

けいくつす ワ。ヒトリ。カ。鞠躬。へりくだる。すぼまりてとほる。

けいくわん ナ。慶歡。めでたきをいふ。物類稱呼（めでたきをいふ詞の代に、長崎にてけいくわんといふ）

けいけい ナ。犬のなくこゑ。著聞九（犬、射られて、けいくとなきて走るを云々、矢つぎはやに射てけり）

けいげいしう ソ。殊に。けざやく。そつきりと。

けいけん ナ。經驗。ためし。こゝろみ。

けいこ ナ。稽古。ものならひ。がくもん。ものしり。公事根源（昔の中に、稽古のきこえあるをえらびてさだむ）平治（ひるは、ひめもす、學問を事とし、よるは、よもすがら、ぶげいをけいこせられけり）

けいご ナ。警固。かため。まもり。いましめ。

けいこ ナ。藝子。うられめのたぐひの女さに、酒宴の席にいでて、絃竹、歌舞などのわざをするもの。

けいこく ナ。傾國。うつくしきをんな。

けいこつ ナ。輕忽。かろくしくあさざをいふ。

けいこば ナ。稽古場。をしへのにはにて、けいこするところ。

けいさい ナ。荊妻。つま。ひとにむかひていふことば。

けいさい ナ。掲載。かきのせ。かきあげ。かたしるし。

けいざい ナ。經濟。よわたり。かんぢやう。すべて、家をとまし、國をとますためや、會計をまもることをいふ。

けいざい ナ。輕罪。刑の名。かろきつみ。

けいさう ナ。輕躁。かろくしきふるまひをいふ。

けいさく ナ。計策。はかりごと。いつもりのてだて。

けいさつ ナ。警察。とゞむるものをとらふるたぐひ、すべて、世の騒ぎとなるべき事を、おさへさゞむるわざ。

けいさつくわん ナ。警察官。けいさつのやくにん。

けいさつしよ ナ。警察署。けいさつくわんのやくしよ。

けいさん ナ。紙鎭。おもし。ぶんちん。かみおさへ。

けいさん ナ。計算。かんぢやう。かずのつもり。

けいし ナ。京師。みやこ。みかどのおはしますところ。

けいし ナ。家司。あしさ。むきもの。枕草一（山階寺の別當になりて云々、この君のいでさまへるに、たかきけいしをきこしめされば、ゆゝしくたけし）

けいし ナ。罫紙。かみし。すゞをひきさるかみ。

けい

けいし　ナ家司。いへづかさ。落窪三（衛門の督の殿のけいしなる、但馬の守、下野の守、まどころの別當なる、衛門の佐、さぶらふなどのきらくしきをめして）
けいし　ナ磬子。かはらけなどの下にまくもの。
けいじ　ナ刑事。ぬすびとなどのつみのうつたへ。
けいしくつ　ナ脛子。あしずり。枕草二（けいしくつなどのすずげなる、座をさせなどもてさはぎて）
けいしつ　ナ磬室。うさなり。
けいじつ　ナ頃日。ひごろ。このごろ。このほど。
けいしゆ　ナ稽首。かうべをさぐるをいふ。
けいしん　ナ桂心。桂子の名。
けいしや　ナ驚者。けいご。まひと。
けいしやう　ナ形狀。すがた。かたち。やうす。ありさま。
けいしやうず　ワ、カ、ガ、啓上。まうす。まうしあぐ。
けいしゆつ　ナ輕率。
けいしよ　ナ經書。人の道のをしへをかきたるふみ。
けいしようず　ワ、カ、ガ、敬承。つゝしみてうけたまはる。
けいしよく　ナ景色。けしき。なかめ。みはらし。おもむき。
けいす　ワ、カ、ガ、啓す。まうす。空穂樓上（左のおとゞ、四人に、この家にまゐるなりとけいしさせて）
けいすゐ　ナ經水。つきのもの。をんなのつきのもの。

けい

けいせい　ナ傾城。あそび。うかれめ。宇拾十（いまれ、むかし、一條わたりの壇に、ある男すまりて、けいせいとあそびけるに、夜中ばかりに、風ふき、雨ふりて）
けいせい　ナ形勢。かたち。ありさま。いきほひ。
けいせいさう　ナ傾城草。草の名。おきなぐさをいふ。甲斐にて。
けいせう　ナ輕少。すこし。いささか。
けいせき　ナ形迹。あとかた。
けいせつのこう　ナ螢雪之功。がくもんのいさををいふ。えどのひかり、まどのゆきにて書を見るとをいふ。
けいぞく　ナ繼續。つぎ。つゞき。つなぎ。
けいそう　ナ輕躁。かろがろしくさわがしきをいふ。
けいたい　ナ形體。なり。かたち。すがた。
けいだい　ナ境内。さかひのうち。かきのうち。
けいたいす　ワ、カ、ガ、携帶。たづさふ。もちあるく。
けいだう　ナ藝道。げいのみち。げいのこと。
けいちゆう　ナ閨中。ねやのうち。ふしどのうち。
けいちやう　ナ輕重。かろきとおもきと。
けいづ　ナ系圖。いへすぢをかけるかきもの。
けいづかひ　ナ系圖買。かうらくしのたぐひのもの。
けいてい　ナ兄弟。あにおと。
けいていす　ワ、カ、ガ、逕庭。へだたる。
けいてう　ナ京兆。左京職、右京職の唐名。
けいてん　ナ經典。みちをとくふみ。たいせつにすべきふみ。
けいと　ナ毛絲。けの、いとのごとくよりたるもの。

けい

けいとう　ナ雞頭。草の名。けいとうに同じ。
けいとう　ナ鷄冠。草の名。葉赤くして、まろきも、ひらみたるものあり。

けいにく　ナ鷄肉。にはとりのにく。
けいにん　ナ家人。けらい。やくしやのたぐひ。
けいねん　ナ頃年。ちかごろ。このごろ。
けいのう　ナ藝能。まなびえたるわざ。十訓六（何となく居まじりたるなり、そのけのめみえぬれども、藝能につきてめしいだされ）
けいば　ナ競馬。きほひうまを見るべし。
けいはい　ナ輕輩。みぶんのかろきもの。
けいばう　ナ閨房。ねや。ねどころ。
けいはく　ワ、カ、ガ、敬白。つゝしみてまうす。
けいはく　ナ輕薄。なさけすくなきさまにいふ。
けいばつ　ナ刑罰。つみにおこなふをいふ。
けいはふ　ナ刑法。つみなたすおきて。
けいひ　ナ經費。いるなみのいりめ。さだまりたるいりめ。
けいび　ナ警備。ようじん。ようじんのそなへ。

けい

けいひつ　ナ警蹕。さきばらひ。さきおひ。枕草一（足音たてゝ、けいひちなど、をしくつかひ）
けいびき　ナ[illegible]。けいをひきならすかみ。
けいぶ　ナ輕侮。あなどり。かろんずるをいふ。
けいふ　ナ系譜。うぢぶみ。いへすぢをかけるかきもの。
けいふく　ナ敬服。つゝしみてしたがふをいふ。
けいぶつ　ナ景物。ときのもの。春の霞、秋の紅葉のたぐひ。
けいふん　ナ輕粉。
けいへい　ナ勁兵。つよきつはもの。たけきつはもの。
けいべつ　ナ輕蔑。かろんじあなどるをいふ。
けいべん　ナ輕便。てがる。やすくてべんりなるをいふ。
けいぼ　ナ繼母。まゝはゝ。のちのはゝ。ちゝのつまとなりたるひと。
けいぼ　ナ敬慕。うやまひしたふ。
けいめい　ナ鷄鳴。にはとりのなくころ。
けいめいす　ワ、カ、ガ、經營。いとなむ。

けい

けいやく　ナ契約。ちぎり。やくそく。
けいやう　ナ形容。かたち。ようす。ありさま。
けいよう　ナ京洛。みやこ。
けいらく　ナ京洛。みやこ。みやこのうち。
けいらん　ナ鷄卵。にはとりのたまご。
けいり　ナ經理。
けいりやく　ナ計略。はかりごと。
けいるい　ナ係累。
けいれい　ナ敬禮。うやまひれいをなすをいふ。
けいれき　ナ經歷。へめぐりてこゝろみたるをいふ。
けいれん　ナ痙攣。ひきつり。すぢのひきつるやまひ。
けいろ　ナ毛色。けのいろ。

けう

けうあい　ナ鬩愛。
けう　ナ孝。かうかう。おやによくつかふるをいふ。
けういく　ナ教育。をしへてそだつるをいふ。
けうかい　ナ教誨。をしへさとす。
けうかう　ナ孝行。おやによくつかふること。
けうかく　ナ俠客。をとこだて。
けうがる　ワ、カ、ガ、興がる。おもしろがる。
けうぎ　ナ教義。をしへのむね。
けうくわ　ナ教化。をしへみちびく。
けうくん　ナ教訓。をしへ。いましめ。
けうさう　ナ教相。
けうざい　ナ教材。
けうさん　ナ叫喚。さけび。よばひ。
けうくわんぢごく　ナ叫喚地獄。地獄の名。平家十二

かなえ　名　鼎。三本足で両耳のある古代の祭器。

かなえる　他下一　叶える　願いを成就させる。

かなかな　名　蜩。

かなかなぜみ　名　蜩。

かなかなと　副　金属などが触れ合って鳴る音。

かなかなと　副　蜩などが鳴く声

げぐくり ナ。下括。さしぬきのすそを、わしくびのそこゝろにてあくゝるをいふ。貞丈雑記 装束要領抄（下袴本儀腱なり。下括のとき、指貫の下に用之）

けぐつ ナ。毛沓。けのつきさるくつ。おほくは、熊のあらもの、毛のつきさるにてつくりさるものにて、大将などのもくものなり。

けぐるま ナ。毛車。いとげのくるま。よりいとにてふきおろしさるくるま。

げくさ ナ。外科。瘍術にていふことを。腫物のたぐひ、すべて、身の外にある病をなほすくすしをいふ。

げくさん ナ。外官。ずりやう。あがさのつかさびと。

げくさん ナ。解官。つかさのとけてなくなるをいふ。

げげ ナ。下履。さうりをいふ。こらのげ、ゐのげゝなどあり。平家ゝ（討死をもせめとて、下人どもよびよせ、楽子のもとへ、ちにごのあります、いひつかはし、用にはのらで、げゞをはき、ゆんづゑをつらて、生田の森のさかもぎをのぼりこえて、城の中へぞいりさりける）

その図芸香説簇ニ見えたり。

けけし ナ。鳥の名。よしむらすゞめをいふ。播磨にて、

けけし ナ。フ。殊なり。すぐれさり。けさやうなり。源少女（るのやをぬ親におてすれど、いとけゝしうさしむなちておぼいされば、おそしきすおさりに、たやすくもまろりなれ侍らず）とりかへ（ばや）いへど、けゝしくもてなしすくよくなる、みるめこそ、男なれ）

げけつ ナ。下血。やまひにて、ちのくだるをいふ。

けけねつ ナ。九。こゝのつをいふ。遠江などにて。

けけん ナ。戯言。たはふれごと。されていふことをも。

げげん ナ。下弦。あものゆみなり。もちよりのち。

けけれ ナ。心。こゝろをいふ。甲斐などにて。古今（かひがねを、さやにもみしが、けゝれなく、横ほりふせる、さやの中山）鎌倉右大臣集（たまくしげ、箱根の海は、けゝれあれや、ふた山にかけて、何かたゆらふ）

けけれない サ。無心。こゝろなきをいふ。甲斐などにて、

けご ナ。家子。いへのひと。うからやから。伊勢（いひがひとりて、けごのうつはものにもりけるをみて）竹取（あるに、ろくにまだたまもらず。これをたまはりて、わかちて、けごにたまはせんといひて）

けご ナ。家子。あもべをいふ。上總などにて、

げこ ナ。下戸。さけをのむことをこのまぬひと。

げこくじやう ナ。下剋上。かこくゝやうに同じ。庭訓上（西光が、ひれ一人と事おこなひして申しふるまひし事、下剋上の至りなりと、ふしぎに存じ候ひき）

げごじ ナ。元興寺。こどもの、たそぶれに、おにのまねして、ひとをおどすをいふ。貞、元興寺といふ寺に、鬼のすみさりといふ事あるより、言出さる語なり。貞丈雑記

けごと ナ。食事。くひもののこと。総語記（明言古止）

けごと ナ。褻事。つねのこと。つねにありなれさること。長明無名抄（かやうの事をば、いみじからんこれの食もしれ、国々、大臣の御前などにてこそよまめ。かゝるけごとによみさる、むねんの事なり）

けとみ ナ。蹴込。くつぬぎのまへのところ。

けこむ ワ。カナ。四。蹴込。けて、うちにいる。

けごろも ナ。毛衣。かはごろも。万二（毛許呂裘を、春冬かたまけて、いでましし、うだの大野は、思ほえんかも）

けごろも ナ。褻衣。あはゆふきるところも。神楽歌（皇神は、よき日まつれば、あすよりは、あけの衣を、けごろもにせん）保昌女集（ふるさとへ、秋はかへりぬ、ぬるひける、山のにしきを、けごろもにして）

けさ ナ。今朝。けふのあさ。拾玉（おしなべて、霞みにけりな。なにぞぐさ、けさのなごりは、音ばかりして）

けさ ツ。今朝。けふのあさに。古今（うゑて去し、秋田かるまで、みえこねば、けさ初雁の、音にぞなきぬる）

けさ ナ。袈裟。ほうしの、ころものうへよりかくるもの。大和（霜露の、ふるやどさまに、ひとりねの、うつぶしぞめの、麻のけさなり）枕草六（あつげなるもの云々、ずゐじんのをさのかりぎぬ、のちのけさ）

げざ ナ。下座。あもざ。くらじり。まさのせき。十訓一（大判事明兼が、下座に候ひて、いさゝか、口入を申しさりけるを、佐殿、おらさゝしき気色にて）

けさい ナ。潔斎。けつさい。ものいみ。大鏡三（湯たびくあみ、いみじくけさいして、浄まもりて装束して）

げさい ナ。下剤。くだしぐすり。げりをもよほすくすり。

げさいのみかゆ ナ。除書御粥。おんどしきのつぎのあしさにおるくじ。下文を見るべし。公事根源（踏今食のつぎの朝、げさいの御かゆまゐる。昼御座の大床子にて、高盤一脚をたてて供す。御粥、かならげにまゐる）

けさう ナ。假粧。けしやう。かほかたちをよそほふをいふ。竹取（御身のけさう、いといたくして、やがてとまりなんものぞとおぼして、歌よみくそへてもちていましさり）花御葉（まろき笠どもきせて、むぐろめぐろらに紅おさうけさうせさせて）

けさう ナ。懸想。おもひをかけてこひしさふをいふ。

けさうず ワ。カナ。カ。懸想。おもひをかけてこひしさふ。大和（監命婦、朝拝の威儀命婦にていでさりけるを、弾正の御子すみそきひて、帰りにまどひけさうじ給ひ）

けさうだつ ワ。ヒトリ。四。假粧めく。いろめく。源末摘花（けさうすちなう、こゝろやすきものの）

けさうぞむ ワ。ヒトリ。四。假粧めく。いろめく。源夕霧（むかしよりけさうびてもきこえ、さまむぞりしに、ひきつぺしけさうびたまめらんなまぬし）

けさうびと ナ。懸想人。おもひをかけてこひしさふひと。玉鬘（いくさの海に、身なげける女のけさうびとの、ふさりながら、おなじくきづみさることを）

けさうぶみ ナ。懸想文。おもひをかけてこひしさふよしをかきさるふみ。枕草二（すさまじきもの云々、けさうぶみはいらふれせん。それだに、ぞりおかしうなどあるかへりごとせねはこゝろおとりす）

けさうぶみうり ナ。懸想文売。さいもんよみのたぐひ。下文を見るべし。語麗（曽呂里狂歌咄に云々、正月元日の朝より、十五日まで、年ごとに、假粧書とてうりけり。その出立は、あらき布衣に、袴のそむたくとり云々、編笠かぶり、覆面して、都の町々をうりけり。これをかふ人あれば、ほそき畳紙の中に、洗米二三粒いれさるを、假粧書となづけてとらす。さて、その祝詞は、かひける人、あるひは、夫婦のかたらひの事、あるひは、商売の事、ものかく事、其外、何にても、のぞむ事を、様々めでたくいひつゞけてうちとほる）

げさく ナ。下品。あなりさちのいやしきをいふ。

げざく ナ。外戚。ぐわいせき。ちゝかたのいへ。空穗 使祭（源氏におもしませども、げざく、藤氏におはします）

けざけざ ツ。鮮やかに。きつきりと。源野分（日の、むなやかにさしいでさるほど、けざくと、ものきよげなるさましてゐさまへり）浜松四（にびいろのうちきに、けざくとみえさる、細にかきさるやうに）

けさのま ナ。今朝間。けさのあひだ。和泉式部物語（けさの間に、今はひぬらん、夢ばかり、ぬると見えつる、手枕の袖）拾集抄ぇ（露をこそ、あらなき物といひめるに、けさの間の朝顔の花におくれぬる事を）

けさん ナ。卦算。けいさん。ぶんちん。かみおさへ。

けざん ナ。見参。げんざん。めみえ。宇拾一（かれ御らんぜよ。さぶらひし狐の、げざんするをとて）

げざん ナ。下山。やまくだり。やまよりかへるをいふ。

けざやかなり サ。鮮。あざやかなり。きそやかなり。源藤袴（御けしきはけざやかなれど、猶、うるかひはおほかる）

けざやかに ツ。鮮。あざやかに。きそやかに。枕草七（正月十日、空いとくらう、雲もあつくみえながら、さすがに、日は、いとけざやかにてりさるに）狭衣三（大納言は、とけざやかにいでておそせしをみてしかど）

けざやぐ サ。ヒトリ。四。鮮。あざやかにす。きそやかにす。源藤袴（うけばりてとりむなち、けざやぎさまふべきことにもあらねど）同松風（あさましうおぼゆれど、いま、ことさらにうちけざやぎてまゐりぬ）

けし ナ。芥子。罌粟。草の名。葉は、ちさに似て、すこしきちぢみて、花は、春夏のあそひにひらく。花は、四ひらにて、そなひらの、ほころぶるとき、内皮そげて、あふむきになりてひらく。まさ、花の中に、壺のごときものありて、花ちりてのち、壺の中にはのとり居てうなざる。まさ、壺の中には、胡麻に似て、まろくちひさき粒あり。帶に、いりてくひものにもちふ。この花には、毒あるべし。稚片といふ藥は、この花のつぼみのとき、その液をとりて製しさるものなり。

けし サ。ブ。異。ことやうなり。きろし。たゞならず。万葉十(からころも、すそのうちかへ、あはねども、けしき心を、わがもはなくに)遊仙二(けざやかに、さなれそむききこえさせんも、けしからざるべし)紫式部日記(けしからぬ人を、おもひきこえさすとても)

けし ナ。解司。式部省をいふ。この省は解官の事にあづかる故なり。但し、五位以上は、大政官にて定れり。

げし ナ。夏至。こよみにいふ節。夏のもなかにて、一年の中、昼のきはめてながく、夜のきはめてみじかきとき。

けしいん ナ。消印。けしさる しるしのいん。

けしうは ソ。異。ことやうなれ。きろくれ。いやしくれ。落窪三(けしうはあらぬ者どもなめるよ。衛門がみちびきなれば、たらぬ事ありともいふべきにはあらず)伊勢(むかし、男、けしうはあらぬ女を思ひけり)

けしかく サ。カク。シニ。嗾。すゝめてさそく。

けしかける ワ。カケ。シニ。嗾。すゝめてさそく。

けしからず ソ。怪。ことやうに。をなそどしく。枕草十(けしからず、胸さわぎなくおもしけりなど(いへば))落窪三(衛門こそ けしからずなりにされ。たゞいひそやすやうに、いみじき御心をいふときうらみ(きこえ)て)

けしからぬ サ。怪。ことやうなる。をなそどしき。

けしき サ。気色。景色。かほつき。ようす。ありさま。玉葉(なみをれて、そこそことなく、かすむ夜の、月こそ春の、けしきなりけれ)枕草六(こゝろもとなきもの、子うむべき人の、ほどすぐるまで、さるけしきのなき)

けしきだつ ワ。ヒトリ四。気色になる。萩花みえて(御文など参りさふらひ、けしきだゝせたまひけれど)

けしきたまはる ワ。ヒトリ四。気色をうかゞひたてまつる。源氏橋姫(かならず参りて、御むかひさぶらふべく。まづ、内々にもけしきたまはりたまへなどかたらひたまふ)

けしきづく ワ。ヒトリ四。気色になる。源氏野分(おほどかに、女しきものから、けしきづきてぞおもずるやとて)

けしきどる ワ。ヒトリ四。気色をつく。気色をあらはす。ねたみてうらむ。字拾二(いりくる音するを、侍たぞ。その妻は、とけしきどりてとひけり)源氏宮(宮は云々、のたまひよりて、ひとの御けしきどりあるさまに、けしきとりたまふ)同夕顔(さるやりあるべき御なからひなめりと、北の方けしきとりたまへば)

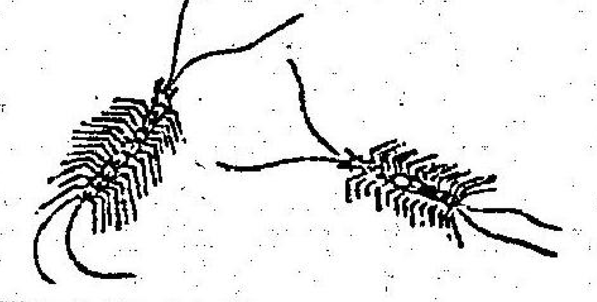
けしきのもり ナ。気色森。地の名。大隅にあり。千載(秋のくる、気色の森の、下風に、たちそふ物は、哀なりけり)

けしきばかり ソ。気色のみ。まるしばかり。源氏明石(月われさる波のきそぢ、けしきばかりおしあけたり)

けしきばむ ワ。ヒトリ四。気色になる。いろめく。なまめく。空穂蔵開(かくて六月六日に、子うまるべくなりぬ。けしきばみてなやめば)源氏椎本(すぎころあらん人は、けしきばみよりて、人の御こゝろぞをもみまほしう)

けしきふく ワ。ヒトリ四。景色ならふ。まるしばかりに、すこしそよぐ。和泉式部日記(秋風は、けしきふくださ、こひしきに、かきくもる日は、いふかひぞなき)

げじげじ ナ。蚰蜒。虫の名。長さ一寸ばかり、鉄、むかでに似て、足、そこにおほし。されど、身はまろくして、蜈蚣のごとくひらたからず。まさ、尾はもげるごとくにて、住さちてとられず。この虫、毒ありて、人の頭をなむれば、頭の髪むぐといふ。まことに、さることありや。なしや。



けしけしき ソ。勢ひつよく。字拾一(あのものをかきはそして、腹をそらして、けしくとおそしけれど)

けしけしまないた ナ。草名。おきなぐさをいふ。加賀にて、

けしずみ ナ。消炭。おきびをけして、すみとしさるもの。

けしつぶ ナ。芥子粒。けしのみ。ちひさきつぶ。

けしなぐさ ナ。芥子菜草。野菜の名。おほつちに同じ。

げしなる ワ。ヒトリ四。解脱。いねふまふ。さよしんなる。

げしにん ナ。解死人。ひとをころしさるひと、またころさるべきつみあるもの。古鈔(解死人)

けしにんぎやう ナ。芥子人形。まめにんぎやう。ちひさきにんぎやう。嬉遊笑覧(芥子人形、一代男に、小宮をはなし、芥子人形、おきあがり、雛をとりそろへ)

けしねびつ ナ。米櫃。こめびつをいふ。陰異、諫理にて、

けしのか ナ。芥子香。けしやきのかをり。源氏葵(御ぞなども、たゞ、けしの香にしみかへりたまへり)

けしばうず ナ。芥子坊主。かしらをそりて、頂のみ、すこしそりあましさるもの。芥子に似さる故にいふ。

けしやう ナ。化生。ばけもの。うまれかはり。

けしん ナ。化身。うまれかはり。みをかへさるもの。

けしやう ナ。假粧。けさう。かほかたちをよそほひ、べに、おしろいをつけ、きものをきかざるなどをいふ。

けしやう ナ。懸想。けさう。おもひをかけてこひしたふをいふ。狭衣三(さやうのけしやうなど、おしなべてはならひ給はぬこゝちに、人もあやしと思さんと)

けしやういくさ ナ。假粧軍。かざりのいくさ。おもてむきのみのいくさ。太閤記十九(よき図をみならひ、某国をふるべし。その時、けしやういくさしたまふな)

けしやうかがみ ナ。化粧鏡。けしやうにつかふかゞみ。

けしやうだい ナ。化粧台。けしやうどうぐのだい。

けしやうだうぐ ナ。化粧道具。けしやうにつかふもの。

けしやうだこ ナ。化粧箱。けしやうどうぐのはこ。

けしやうもの ナ。化生物。ばけもの。ものゝけ。

けしやうやりど ナ。化粧遣戸。いろどりさるやりど。恋役百首(これといへば、とへどこたへず、いろこのむ、けしやうやりども、くちをかさめて)

けしやうれう ナ。化粧料。けしやうにもちふるれうりめ。

けしやき ナ。芥子焼。ごまをたくをいふ。僧の、もののけなどをさらふ祈禱にする事にて、芥子の実などを、やきてたく故にかくいふ。蜻蛉(けしやきのやりなるけざすれど、なほきるしなくてほどふるに)

げしやく ナ。外戚。ぐわいせき。ものゝはいへ。空穂秋初(なかしやくにも、げしやくにも、女といふものなんともしくさぶる。そが中にも、女かさなど)

げしゆく ナ。下宿。つとめよりさがりて、いへにかへるをいふ。また、ちさやのたびにて、なかくやどるもの。

けしゆす ナ。毛繻子。けいとにておりさるきぬ。

げしゆにん ナ。下手人。ひとをころしさるひとにて、ころさるべきつみあるもの。十訓二(院ききしめして、下手人などめされて、きびしく御沙汰あるほどに、佐貫吾きられにけりきいふ事きこえけるを)

げじゆん ナ。下旬。きものこぶち。月の二十日よりのち。

げしよ ナ。下書。きさいき。まさなきかきもの。

げじよう ナ。下乗。のりうちをとゞめらるゝところ。

けしようなり サ。蹴躓。あらむなり。けざやし。まぶしし。

けしように ソ。蹴躓。あらそに。むれぐしく。まむりく。枕草三(たとしへなきもの云々、からすは、らへなどするほどに、たゞ居さる前より、鳥の、たくく なきて行くこそ、いとけしようなる心地しておかしけれ)枕草八(たゝつきにまゐりさるおほとのあぶらなれば、のすぢなども、なりく、昼よりはけしようにみえてまばゆけれど、ねんじてみなどす)

けじらみ ナ。毛蝨。しらみの一種。つびしらみに同じ。

けす ワ。カケ。四。消。きえしむ。なくならしむ。

げす ナ。下衆。下主。もの。いやしきもの。大和(女も、をとこも、いとげすにはあらざりけれど、としごろどころひなども、いとあしくなりて)宇拾二(そのかさにありける、げすの家をかりて)

げす ワ。カケ。カ。解。とく。ときあかす。

げず ナ。木の名。からうめをいふ。西国などにて、

げすげすし サ。ブ。下衆のごとし。さまはげにいやし。頭京(いとむくつけく、げすくしき女とおぼして)

げすし サ。ビ。下衆。いやし。げすぐし。保昌女集(賤家されたる人を、なよなきは、げすき身と定める)

けすぢ ナ。毛筋。けのすぢ。かみのすぢ。

げすぢむなり サ。下衆にらし。ざまあさしいやし。蜻蛉(かゝるどもの、杯、鍋などするてそるもいと無し)

げすぢなる心地して、みづからけおとりしてぞおぼゆる云々。つくづくときけば、目もみえぬものの)

けすむ ワ。ヒトリ四。嫌。たにくむをいふ。越後などにて、

けずらふ ワ。ヒトリ四。梳。よそふ。なづらふ。新拾(ゆふなぎに、ほづゝあめなき、くりよげて、油けずらひ、よする船人)賀茂祭絵詞(殿上人などは、興あるさまに、ほむるまでけずらひさるめり)長明無名抄(歌の品をいでき、よるまでさるけずらひとるなるなり)古鈔(擬)

げするる ナ。下水。みぞ。けがれみづをながしやるところ。

げすだんな ナ。下衆女。いやしきをんな。源、帚木（御文もえたてまつらず。いかなるぞと、下衆女にきへば）

げせうなり サ。顕證。けしようなりに同じ。

げせうに ツ。顕證。けしようにに同じ。

げせん ナ。下賤。げす。みもつきのいやしきもの。

けせる ワ。カナ。四。着せまゐらす。古事記（さきねんとれ、あれれ思へど、汝が御裳振、おすひの襴に、月たちにけり）

けそうなり サ。顕證。けしようなりに同じ。更科（みちげそうならねはきは、とふらくいでしかば）

けそうに ツ。顕證。けしようにに同じ。枕草一（みやりていみトうこちらふ。あれれたぞ。けそうにとをいへば）

けそく ナ。花足。つくゑなどの、そなへにしたるあし。

けそく 源氏 結合（左れきさんの箱は、すきうのけそく）

けそく ナ。下足。くつ。ざうり。はきもの。

けぞく ナ。侍從。くぎやうをいふ。東京、四國などにて、

けそん ナ。家損。いへの事。源、帚木一（かやうの事こそ、ひとのため、おのづから、けそんなるさざは侍りけれをきこゆ。まことなりけりとおぼして）

けた ナ。ガ。かく。すみのとがりたるもの。

けた ナ。桁。ものは、よこさましたるよこぎ。万十（小捨田の、板田のはしの、こぼれなば、桁よりゆかん、なこひそわぎもこ）和名（桁和名、計太 屋桁也）

げた ナ。下駄。あしだ。ものつきたるはきもの。

けだい ナ。懈怠。をこたり。源、若菜（假字文みをまふるれ、目のひとまいりて、念誦もけだいするなどは、やくなうてなん）狭衣二（あはれなる事おほくてなんとりいひけりて、けだいはなり侍ひ勾とてたつ）

げだい ナ。外題。となへ。なまへ。芝居などにいふことぞ。

けだいがちるい サ。見々しきをいふ。九州などにて、

げだう ナ。外道。ほとけのみちにいらぬもの。狭衣九（外道の姫にも、佛にたへられきこえざりけるものをとて、ありつる文、懐よりとりいでてとらせたまふ）

けだうとん ナ。毛唐人。もろこしびと。とつくにびと。

けだうす ワ。カナ。カ。化導。みちびき、みちびく。

けだかい サ。気ぐらんたかし。けだかしを見るべし。

けだかし サ。ヒ。氣ぐらゐたかし。心ばだちたふとし。この詞、今は、けだかひと、しないはいふ。後撰國（宮いとらうくしう、けだかく、ものくしき際して）

けだし ナ。蓋出。はきだし。すそよけ。こしまき。

けだし ツ。蓋。もしくは。おもふは。万六（沖ゆくや、赤縁小船に、つとやらば、若ひとみて、ひらきみんかも）

けだしくも ツ。蓋。もしくは。おもふは。万七（琴とれば、なげきさきだつ、蓋毛、琴のきたひは、妻やこもれる）

けだしも ツ。蓋。もしくは。おもふは。万八（吾妹子が、諷念のねぶれ、花のみは、さきて蓋も、實はならじかも）

けだたまし サ。フ。聖立。けたうがごとくあせさがし。

けだち ナ。気腫。いきばり。たちのぼるいき。

けたつ ナ。蹴立。あしをたてくせんとてふまふるもの。

けだつ ワ。ヒトリ。シニ。聖立。けてたつ。かささしくたつ。

げだつ ナ。解脱。ほとけとなるをいふ。十訓二（かやうの法門は、背眉のおもしきして、解脱せしめ給ふなり）

けたで ナ。毛蓼。草の名。秋、うまこでに似て、葉の上に、毛あり。この草、つよくして、霜を置てる。根枯す。

けたのき ナ。木の名。やぶうつぎをいふ越中などにて、

けだぶす ワ。カナ。四。蹴倒。けてたふす。

げだん ナ。下段。きさのだん。つぎのかさ。すゑのところ。

けだもの ナ。獣。いきものの、四足にて、毛のあるもの。熊、猿、犬、猫のたぐひをすべていふ。但し、海の獣には、鱗のごとく、魚は似たるもあり。また、けものとは毛獣物といふ意にて、けだものとその意かそれるな。和名抄には、かへさまにかきたるは、條獄のあやまりなるべし。空穂牧（かくうとましきけだものの中に、それを友として）和名（六畜 和名介太毛乃 牛馬羊犬鶏豕也）

げだや ナ。下駄屋。あしだをあきなふいへ。

けたれ ナ。小割刀。かみそりのちひさきもの。

けち ナ。闕。かけ。あき。すき。空穂諸（いきたるかひもなきは、大臣けちの侍らざらんはいでぬ）

けち ナ。結。むすび。なそり。まさ。二人、つがひて、弓を射るをいふ。源花宴（三月の二十日あまり、右の大殿の弓のけちに、上達部、御子たち、おほくつどへ給ひて）

けち ナ。怪事。あやしきこと。ふしぎなること。

げぢ ナ。下知。さしづ。いひつけ。めいれい。

けちえん ナ。結縁。ほとけとなるべきえんむすび。枕草二（かんざちめ、けちえんの八講しきまふに）

けちえんなり サ。揭焉。いちじるく。あらはに。源宿木（なえぐみきこつる殿どもなどは、あらき袖などはて、けちえんならぬぞ、なかくめやすかりける）

けちえんに ツ。揭焉。いちじるく。あらはに。落窪一（この殿の君は、あしき事をも、かしがましくいひ、よきことなれ、けちえんにほむることさまがれば）

けぢかし サ。ヒ。近。ちかし。あさし。後撰（今はむや、深山をいでて、時鳥、けぢかき聲を、われにきかせよ）

けちぞく ナ。下賤。やすね。あさむのいやしきをいふ。

けちだてん ナ。持斎。ぐせんのそそり。ひき事をささめてねがひをかけるまでのひをいふ。源椎（そのりれ、世が御禅を始願にて、世をそむきさまふよし、佛は申させきまふに、みな、人々おどろききこえ給ひぬ）

けちゅうす ワ。ヒトリ。四。結を以て、うちそてのち、石をなんぶるをいふ。源空蝉（落うちそてて、けちさずさうり心をげにはみえて、きよぐしうさわげば）

けちなり サ。文義。きらし。やぶさらなり。

けちに ツ。客斎。きうく。やぶさらに。

けちん ナ。偏側。おんずらひ。おんのとかむらひ、雑世継一（高朝とて、清涼殿の御簾おろしこめられ 云々、二十日そ、偏殿といひて、對の右まにて、御殿の御殿なども恐きあげられ、すてしまる、氣色なりけれど）

けちんぞう ナ。斎肉坊。あさんそう。ものしらぬ。

けぢめ ナ。差別。きも。ちらち。伊勢（この人は、思ふをも、思はぬをも、けぢめみせぬ心なんありける）

げぢやく ナ。下着。くだりてゆきつく。

げぢよ ナ。下女。おもそんな。みるさきぎきのをんな。

けちらす ワ。カナ。四。蹴散。けてちらす。けてみだす。

けつ ナ。決。きめ。さだめ。きそめ。とりきめ。

けつ ナ。闕。かけ。あき。すき。けちを見るべし。

けつ ワ。カナ。四。消。けす。きやす。ほろぼし。古今（ふじのねの、ならぬおもひは、もえばもえ、神だにけさぬ、むなしけぶりを）源句宮（世は、たゞ、火をけちたるやうに、何事も、きえなきけきをせぬをりなりけり）

けつい ナ。決疑。かくご。こゝろのきめ。こゝろのさだめ。

げつえう ナ。月曜。にちえうのつぎ。七曜を見るべし。

けつえき ナ。血液。ちとあぶらと。みのうちのまる。

けつえん ナ。血縁。ちすぢに同じ。

けつか ナ。闕下。みかどのもと。こゝのへのきさ。

けつかう ナ。結行。こゝろをさだめておこなふをいふ。

けつがふ ナ。結合。よりあひ。くみあひ。むすびあひ。

けつかふざ ナ。結跏趺坐。あしをくみてすわるたいふ。

げつかおう ナ。月下翁。えんむすびのかみ。

けつき ナ。血氣。むやりごゑ。徒然草（ところき時は、血氣、うちにあまり、心、ものにうごきて、情欲おほし）

けつぎ ナ。決議。きなしのきめ。とりきめたるひやうぎ。

けつきふ ナ。月給。つきてあて。つきごとのたまもの。

げつきん ナ。月琴。樂器の名。かさち、琵琶に似てちひさく胴まろくして、絃は、琵琶のごとく、四絃かられり。

けつきよ ナ。穴居。あなずまゐ。つちあなのすまゐ。

けつきよく ナ。結局。をさて。をもり。とどのつまり。

けつく ナ。結句。むすびとをむ。をそりをむすぶことをも。

けつく ツ。結句。をさて。をてまは。かへりて。盛衰三（結句、埋の務見うちやぶり、太刀、薙刀をすゝめければ）

けつくゑ ナ。結界。できさまで。できざえん。

けつくわい ナ。血塊。ちのこり。ちのかたまり。

げつくわう ナ。月光。つきのひかり。つきのかげ。

けつさく ナ。闕名。からもじの畫をはぶくをいふ。天子の御名などの文字をかく時、憚りて、仁は、イとかき、惡は、亞とかく類をいふ。けつじを見合すべし。

けつさん ナ。闕官。かけたるくわん。あきたるつかさ。

けつさん ナ。血管。ちのかよふくだのごときもの。

けつじ ナ。結願。けちぐゑんを見るべし。

けつし ナ。結夏。僧の、夏のおひさ、寺にこもりゐるをいふ。夏のほどは、虫なども多ほければ、外にいづれば、あやまちて殺すなどの事もあらんとてなり。

けつけ ナ。毛附。けのいろ。駁木（もちづきの、駒のけづけな、あふさかの、杉間のかげに、あたせてぞみる）

げつけい ナ。月經。つきのもの。をんなのつきのさはり。

げつけいうんかく ナ。月卿雲客。くぎやう。くものうへびと。

平家十（けふへ、月卿雲客、ひとりも きこえず。おなじく、だんの浦にて いけどりにせられたりし 二十餘人の侍ども、みな まろきひさらして、其の前輪に まとめつけてぞ さらされける）

けつこう ナ。結構。かまへ。ようい。てうど。

けつこう ナ。結構。もののよきを極めていふこと。

けつこん ナ。結婚。えんぐみ。こんいん。えんむすび。

けつさい ナ。潔齋。ものいみ。けがらひを見るべし。

けつさく ナ。傑作。詩歌などのよきを極めていふことば。

けつさん ナ。決算。かんぢやうのできあがり。

けつし ナ。決死。死ぬるかくごをしてことをなすをいふ。

けつじ ナ。闕字。もじをかくこと。字と字とのあひだをあけてかくをいふ。うやまひのこころをあらはすためにすることなり。けつじよくを見合すべし。

けつして ソ。決。かならず。うたがひなく。まちがひなく。

けつしん ナ。決心。けつい。かくご。おもひきり。

けつしや ナ。結社。くみあひ。なかまのむすび。

けつしや ナ。月謝。つきづきにいだすをしへのかね。

けつしやう ナ。結晶。むすびつきてかたまるをいふ。

けつしゆつす ワ。ヒトリ。カ。傑出。ひいづ。すぐる。ぬけいづ。

けつしよ ナ。闕所。つみによりて、いやしきなどを、おほやけにとりあぐるをいふ。古語（闕所）

けつじやう ナ。結繩。なはをむすびて、もののかたちをつくるをいふ。いにしへ、支那にて文字の、なかりしときもちひしもの。

りしときもちひしものなるしとして、なはをむすびし事あり。

けつしよく ナ。血色。ちのいろ。あかきいろ。かほのいろ。

けつしよく ナ。月蝕。ぐわつしよくを見るべし。

けつじよす ワ。タ。カ。闕如。かけるさましておく。

けつす ワ。ヒトリ。カ。決。きむ。さだむ。あきらむ。さだまる。

けつずん ナ。闕巡。さかづきのめぐりつ、いきざいふるぬところにいたるをいふ。狂歌年中行事（四獄のたび、さかづきくだりて、けつずんをのまされる）

けつせき ナ。月夕。つきのゆふべ。なかのつきのとをか。

けつせき ナ。闕席。いづべきところにいたらぬをいふ。

けつせん ナ。決戰。きはめかくごのたたかひ。

けつそ ナ。齧鼠。獸の名。かしらはとら、けいろは、うさぎに似て、爪と足とは、ねずみに似たりといふ。まへあしいみじくちひさくして、うしろあしはながく、尾も、ねずみの尾に似て、そして、毛ありといふ。

けつぞく ナ。血族。えんぞく。えんるゐ。おなじちすぢ。

けつそんす ワ。ヒトリ。カ。缺損。かけてそんず。

けつたう ナ。結黨。なかまのむすび。なかまのくみあひ。

けつたん ナ。決斷。きめ。さだめ。きまり。

けつぢやうす ワ。ヒトリ。カ。決定。さだむ。さだまる。

けつちやく ナ。決着。きめ。さだめ。きまり。さだまり。

けつてい ナ。決定。けつぢやう。さだめ。つひのところ。

けつてき ナ。闕殿。[illegible]に同じ。

けつせん ナ。缺失。かけたるところ。たらぬところ。

けつと ナ。毛布。ふらんけつと。もうせんのたぐひ。

けつとう ナ。血統。ちすぢ。すぢめ。ちのつづき。

けつとう ナ。決鬪。はたしあひに同じ。

けつにく ナ。血肉。ちとにく。しんぞく。えんるゐ。

けつね ナ。狐。きつねをいふ。關西なまり。

けつぱく ナ。潔白。いさぎよくして、けがれなきをいふ。

けつぱん ナ。月番。つきばん。つきのあたりのこと。

けつぱう ナ。缺乏。ふそく。たらぬ。ものなきこと。

けつぱん ナ。血判。ちのはん。指などより、血をあやして、姓名の下におすをいふ。誓文にすることなり。

けつび ナ。結尾。をはり。をさめ。すゑのむすび。

けつぷ ナ。月賦。つきわりにしてかへすをいふ。

けつぷん ナ。闕文。かけたる文字。文章のかきおとし。

けつべつ ナ。訣別。つひのわかれ。まるあひわかれ。

けつぼう ナ。缺乏。[illegible]に同じ。

けつまつ ナ。結末。をはり。をさめ。すゑのむすび。

けつまづく ワ。ヒトリ。ワ。蹶。けあやまりてつまづく。字拾七（我はけつまづきて、うつぶしにたふれたりけるを）著聞十（それは、けつまづきたるかきて）

けつみやく ナ。血脈。ちすぢ。すぢめ。ちのつづき。

けづめ ナ。距爪。あとづめ。にはとりの、あしのうしろにある、おほきなるつめ。また、ものをけるにもちふるもの。

けつや ナ。月夜。つきよ。つきのあきらかなるよ。

けつやく ナ。結約。ちぎり。やくそく。いひかはし。

けづりかけ ナ。削掛。けづりかけの略。

けづりぎ ナ。削木。けづりかけに同じ。

けづりぐし ナ。梳。かみけづり。かみあげ。統草一（つきめて、御けづりぐしにまゐり、御てうづまゐりて）

けづりばな ナ。削花。きをけづりて、はなのかたちにつくりたるもの。古今著聞（二條后、春宮のみやすんどころと申しけるとき、めどに、けづりばなを、させりけるをよませたまひける）小大君集（けづりばなを、雪にさしありけるに、雪のかかりたるを、よみたまひける）

けづりひ ナ。削氷。けづりたるこほり。枕草子（あてなるもの云々、けづりひ、あまづらいれて、あたらしきかなまりにいれたる）榮花物語（くさのもののよりあそで、けいし、いとものしきあつさに、けづりひを、御前にまゐらせたまふ）

けづりもの ナ。削物。かつをぶしをいふ。

けづる ワ。カ。ラ。削。する。けづりこそす。きりとる。千載（[illegible]）

けづる ワ。カ。ラ。削。のぞく。まびく。源氏（[illegible]）

けづる ワ。カ。ラ。梳。くしなどにて、かみをとく。万葉（あさなさな、かきて[illegible]、いでてこし、月日よみつつ[illegible]）和泉式部集（かしらをかきひそかにけづらで、かみのみだれたる）宇津保（祝少之宮）

けつゐ ナ。白馬。[illegible]

けつるい ナ。血涙。ちのなみだに同じ。

けつれうす ワ。カ。ナ。結了。をはる。をへる。きまる。

けつろ ナ。血路。にげみち。敵にかこまれたるとき、囲の一方の敵をきりひらきてにぐるみちをいふ。

けつろう ナ。缺漏。かけ。もれ。たらぬところ。

けつろん ナ。結論。[illegible]

けてう ナ。化鳥。あやしきとり。ばけものとり。

げでん ナ。下田。わるきた。やせた。

けどく ナ。解毒。[illegible]

げどくざい ナ。解毒劑。どくけしのくすり。

けどころ ナ。[illegible]

けどほし サ。ヒ。遠。とほし。うとし。源氏（[illegible]）

けどる ワ。ヒトリ。ワ。氣取。さとる。[illegible]

なきつるかたちのみに、大終はけどられたる）

けな ナ。虫の名。いなむしをいふ。關西にて。

けなし [illegible]

けなげ [illegible]

[illegible]

き）伊勢（まさなく、ありしよりけにいひのゝしりて）

げに　ッ　實に。まことに。後拾（なけやなけ、よもぎがそまの、きりぎりす、すぎゆく秋は、げにぞかなしき）源若紫（げに、かゝるところは、例にたがひておぼゆる）

けにくし　サピ　悪。にくし。むらざし。大鏡八（けにくき顔また、物いひふれにくきものなり）宇拾七（けにくゝもおどろ〳〵しく、くちおほひしてをらひ居たり）

げにげにし　サフ　實なり。うべ〳〵し。徒然草（いまさら、かくやへなどいふ人もありぬべけれど、なほげに〳〵しく、よきひとのなどぞおぼゆる）

けにごし　ナ　牽牛子。草の名。あさがほに同じ。

けにん　ナ　化人。かみほとけの、ひととあらはれきたるもの。宇拾四（たびくたづねけれど、たづねおほせでやみにけり。化人にやありけんとおもひけり）

けにん　ナ　家人。いへびと。いへのこ。

げにん　ナ　下人。ものをとこ。平家九（下人どもよびよせ、妻子の許へ、最期の有様いひつかはし）

げにん　ナ　解任。つかさのとけてなくなるをいふ。

けにもかれにも　ッ　驗顯。よきにもあしきにも。

げにやげに　ッ　實に〳〵。まことに〳〵。蜻蛉（げにやげに、冬の夜ならぬ、槇戸も、遅くあくるは、佗しかりけり）

けぬき　ナ　鑷子。けをぬくもの。枕草四（ありがたきもの……云々、きうとめに思はるゝ嫁の君、ものよくぬくるしろかねのけぬき）和名（鑷 沼紋 介 俗云 計沼岐）

けぬきあはせ　ナ　鑷合。もののきつくにあふをいふ。

けぬるし　サピ　微温。ぬるし。すこしあたゝかなり。さむくなし。夜之集（こちかぜも、けぬるくなれば、よどやどの、うめのにほひぞ、なりくぞみる）

げねつざい　ナ　解熱劑。ねつをさますくすり。

けねん　ナ　懸念。きねん。きがゝり。こゝろがゝり。

けのあらもの　ナ　毛麁物。おほきなるけだもの。

けのすゑ　ナ　毛末。いさゝか。小町集（毛のごとく、物おもふ心、けのすゑは、ありせばまさに、あひみてましを）

けのにこもの　ナ　毛柔物。ちひさきけだもの。

げば　ナ　下馬。うまよりおるゝをいふ。また、のりうちをすることをとゞめらるるところ。

げはい　ナ　下輩。いやしきもの。かろきともがら。

けはうき　ッ　毛帚。けをつらねてこしらへたるはうき。

けばうし　ナ　毛帽子。けをうゑつけたるぼうし。

けはし　サフ　嶮。みちもけはし。けつまづくであり。なめらかならず。この語は、今は、けはしいと、いをそへていふ。散木（沖津風、ふけゐの浦の、けはしさは、なごろとともに、千鳥たつなり）字鏡（嶮 介波志、又介波志、左加志）

けはしい　サ　嶮。みちもけはし。けはしを見るべし。

けばな　ナ　毛花。とりのけの、はなのごとくなりてちるをいふ。鷹がりのときにいふことばなり。

けばなし　ナ　疎放。さきみ。きさゝ。かどのあるのよしあし。

けはひ　ナ　氣。け。けしき。やうす。紫式部日記（秋のけはひのたつまゝに、土御門殿のありさまいはんかたなくをかし。池のわたりの木末ども、やりみづのほとりの草むら、おのがじゝいろづきわたりつゝ）

けはひがしは　ナ　粧粉。くしでこのたぐひなりとぞ。

げはふ　ナ　外法。げだう。あやしき術をするもの。

げはふあたま　ナ　外法天窓。げはふがしらに同じ。

げはふがしら　ナ　外法頭。ひとのされかうべにて、まじなふつゝひの、まじなひをつかふにもちゐるものなりとぞ。

げはふだ　ナ　下馬札。げばのしるしにたてたるふだ。

げはふづかひ　ナ　外法遣。あやしき術をするもの。

けばらひ　ナ　毛拂。けをつらねてつくれるちりはらひ。

けはりねずみ　ナ　猬鼠。獸の名。くさふに同じ。

けはれ　ナ　褻晴。けぎとはれぎと。類聚雜要抄（褻晴）

けひき　ナ　牽引。ものゝ、すぢをひくだうぐ。

けひと　ナ　饗人。なきひとのみたまにそなふるおものをとりあつかふひと。古事記（贄鳥苑御食人）

けびな　サ　奇妙なる。ふしぎなる。豐後の人のいふ詞。

げひん　ナ　下品。しものしな。あらきしな。

けびやう　ナ　假病。にせやまひ。いつはりのやまひ。

げびる　ワ　ヒトリ　カ　下品なり。いやしくあり。

けびゐし　ナ　檢非違使。別當、佐、尉、志、府生などの官人ありて、刑部省と彈正臺とを併せたるごとき事を掌れり。されば、この號を置かれてよりは、刑部省と、彈正臺とは無きがごとくになれり。枕草八（いやしげなるもの、まきぶのそうのまやく云々、むしろぞりの草のおそひ、けびゐしのそうま）

けふ　ナ　狹布。まろきぬの。陸奧の狹布といふところよりおりいだすぬの。散木（卯花の、かきねなりけり、みちのくの、そつきにさらす、けふとみつれば）

けふ　ナ　今日。このひ。こんにち。新古（わすれじの、行末まではかたければ、けふをかぎりの、命ともがな）

けふ　ッ　今日。このひ。こんにち。源桐壺（けふはじむべきいのりども、さるべきひとぐうけたまはる）

げぶ　ナ　煙。けぶりをいふ。東京にて。

げふ　ナ　業。わざ。しごと。なりはひ。すぎはひ。

げぶ　ナ　下部。しものかた。しものところ。

けふあい　ナ　狹隘。せまくしてくつろぎなきをいふ。

けふかく　ナ　俠客。をとこだて。をとこぎあるひと。

けぶかし　サピ　氣深。けそびふかし。こゝろふかし。二條大皇太后宮大貳集（たなばたは、こゝろよせける、けぶかさは、いさりもしなん、かささぎのはし）

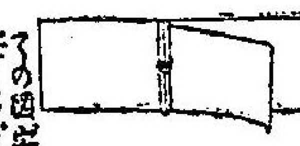
けふき　ナ　俠氣。をとこぎ。をとこだてのこゝろ。

けふぎ　ナ　協議。さうだん。ひやうぎ。はなしあひ。

けふくなう　ナ　男陰。をとこのかくしどころ。催馬樂（くぼの名をば、なにとかいふ、つらたり、けふくなう、たもろ、ひのなの、ひつきめな、けふくなうたもる）

けふけふと　ッ　今日今日と。万五（いでてゆきし、日をかぞへつゝ、けふけふと、吾をまたすらん、父母らはも）

けふさん　ナ　夾算。さうしなどの、よみさしたるところのしるしに、はさみおくもの。いまのしをりのやうにしてもちゐるもの。枕草一（十巻はもなりぬ。さらには、不用なりけりとて、御さうしに、けふさんして、みとのごもりぬるもいとめでたしかし）



その図宋齋隨筆より

けぶし　サピ　燻。けぶさし。けぶりにむせびてくるし。

けふじのぼさち　ナ　脇士菩薩。くせんおんとせいしと。源鈴虫（阿彌陀佛けふぢの菩薩、おのく、びやくだんしてつくり奉りたる、こまかにうつくしげなり）

けふしもあれ　ッ　今日もけふとて。けふにかぎりて。新古（つきゝげの、うき世にいでし、けふしもあれ、などたらちねの、くもがくれけん）

けふせう　ナ　狹小。せまくしてちひさきをいふ。

けふそく　ナ　脇息。おしまづき。ひぢをよせてもたれかゝるもの。後撰（けふそくを、おさへてまさへ、よろづ代に、花のさかりを、心しづかに）蜻蛉（かたらひつべきをと思ひて、けふそくにおしかゝりて、かきけなる事は）

けぶたい　サ　燻。けぶたしを見るべし。

けぶたし　サピ　燻。けぶりにむせびてくるし。この語は、今は、けぶさいと、しをいにいふ。源花宴（空だきもの、いとけぶたくくゆりて）和名（燻 谷語云介布太之 烟氣也）

けふちくたう　ナ　夾竹桃。木の名。やまにはゆるものにて、華は、梅のごとく、花は、桃に似たり。

けふつ　ナ　米櫃。こめびつをいふ。陸奧、仙臺にて。

げふてい　ナ　業體。なりはひのさま。よわたりのかたち。

けふどうす　ワ　ヒトリ　カ　協同。こゝろを、ひとつにあはす。

けふのせばぬの　ナ　希婦狹布。せばのせまきぬの。陸奧の希婦といふところよりおりいだすものなり。袖中抄廿（いしぶみや、けふのせばぬの、まつくには、あひみてもなほ、あかぬけさかな）

けふのほそぬの　ナ　希婦細布。けふのせばぬのに同じ。袖中抄十八（みちのくの、けふのほそぬの、ほどせばみ、むねあひがたき、こひもするかな）

けふそく　ナ　威嚇。まさかへんとしておびやかすをいふ。

けふん　ナ　外吻。くちさき。宇拾三（つゆばかり、けふんのくちにはよりくるものも、ものをつきまどひ）

けふめい　ナ　莢蒾。木の名。葉は、むくげに似て、實は、やまうつぎに似たり。また、枝は、黄いろにて、枝葉の間に開く。この木の皮は、むぎて、染等になふ事あり。

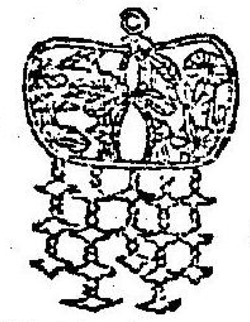
けぶらくさい　サ　焦臭。かこくさきをいふ。土佐にて。

けぶり　ナ　煙。ひをたくとき、たちのぼるくろきもの。新古（たかき屋に、のぼりてみれば、煙たつ、民の竈は、にぎはひにけり）和名（烟 和名 介布利 火燒取木黒氣也）

けぶりぐさ　ナ　煙草。草の名。たばこに同じ。

けぶりくらべ　ナ　煙競。おもひのふかさあさゝをくらぶるをいふ。源柏木（たちそひて、きえやしなまし、うき

ことな、おもひみぐるゝ、けぶりくらべよ）
けぶりだし　ナ。煙出。けぶりをいださしやるところ。
けぶりよく　ナ。協力。ともに、ちからをあはするをいふ。
けぶる　ワ。ヒトリ。四。煙。煎。けぶりたつ。くさき、めをいぶす。和泉式部集（それとみよ、都の方の、山ぎはに、むすぼゝれたる、けぶりけぶらば）栄花後（林をみれば、木の芽けぶりて、花園、むなさわりにおかしうく）
げべん　ナ。外辯。ないべんを見るべし。
げほくめん　ナ。下北面。ほくめんの、六位より下のもの。
けぼり　ナ。毛彫。けすぢのごとき細きほりもの。宗五大雙紙（太刀は云々、おやくどう、うけぼり、けぼり、などさるべし。めぬき、せが家の紋を、やきつけます）
けぼり　ナ。細彫。ほそくちひさきほりもの。
けまく　テ。ムスナ。けむに同じ。但し、けむは、終止にももちふれども、けまくは、終止にはもちひず。万十六（あさよひに、ねのみなきますも、うたなげき、かさり家末久に）
けまさし　ナ。髭剃。きぬのすその、あしにかゝるをいふ。宗五大雙紙（ふ段しの着際、袴のけまさし、ちやうとくとれ申しながら、又は、たしなみにもよるべし）
けまん　ナ。華鬘。天竺の女の、くびの飾につくるものにて、ひらみたる輪の中に、蓮花などのつくりものをつけ、そのまはりに、いろ〳〵の珠をぬきたれたるもの。



けまんさう　ナ。華鬘草。草の名。葉の状、たからしに似て、春のころ、茎のさきに、あかき花をひらく。花のさま、すこし、華鬘をかけさらんやうなり。
けまんぼたん　ナ。華鬘牡丹。けまんさうに同じ。
けまり　ナ。蹴鞠。くゑまり。まりをけるたはぶれ。
けみす　リ。カナ。カ。閲。みる。たゞしみる。しらべてみる。
けみち　ナ。蹊道。馬術にいふ語。馬のあしどりの、法にかなはずして、常の道を行く足なみなるをいふ。貞丈雑記
げみやう　ナ。仮名。かりのな。なりにきうけさるな。
げみやうぶ　ナ。外命婦。五位より上の官人の妻をいふ。
けむ　リ。カナ。四。閲。みる。たゞしみる。楚辭（関古楽府詞）
けむ　テ。タス。ケ。過去の想像をいふにもちふる辭にて、けめども、そらく。万七（いにしへに、ありし臣人の、もとめつゝ、衣に摺牟、眞野の榛原）同十五（神迺波、たくく穴つ日に、あへりきと、都の人は、きゝて家平くも）
けむくだつ　ワ。ヒトリ。四。毛毳起。そゝけて、けたつ。
けむし　ナ。毛虫。虫の名。いもむしに似て、毛のおひたる虫をすべていふ。されば、色は、くろきもの、あをきもの、おなじみさるものなど、そのたぐひ、くさぐ〳〵あり。
けむたし　サ。ヒ。煙。けぶたし。けぶりにむせびてくるし。
けむつかし　サ。ヒ。むつかし。みざりがはし。むくつけし。十訓一（おほきなる蛇、一二百、二三百うちむれて、いくらともなく入り集るさま、いきけむつかしくみえさり）著聞（蛇はいり来て、その蛇の前なる、鼠の穴にいりにけり云々、世には、けむつかしくてなどいふを）

けむり　ナ。煙。けぶり。ひをたくときたつくろきもの。
けむりだし　ナ。煙出。けぶりだしに同じ。
けむる　ワ。ヒトリ。四。煙。けぶる。けぶりたつ。
けん　ナ。剣。つるぎ。もろものかたな。
けん　ナ。縣。あがたのたぐひ。諸谷の封にありて、ひとつのくにのまつりごとをつかさどるところ。
けん　ナ。券。てがた。せりや。落窪四（たまはせさるところくの券は云々、こゝはなんたまはりとどめつる）榮花もとの雫（女御は、これ領ずべしとおぼしされど、おとゞの券なれば、故女御殿に奉りたまひてければ）
けん　ナ。拳。手に、くさぐさのしるしをつけて、手をいだして、勝負を果たすたはぶれ。石けん、虫けんなどあり。
けん　ナ。権。ちから。こぞて。いきほひ。
けん　ナ。間。ながさをはかるにいふことば。一間は、かねさしのものさし、六尺のながさにあたる。原紅梅（七間のしんでん、ひろくおほきにつくりて）
げん　ナ。験。しるし。きゝめ。加持などにいふ。源柏木（よるの加持の僧などのこゝちすれど、まだ、げんつくさりのおこなひにもあらねば、かごむらひさけれど）
けんあく　ナ。険悪。みちのさろくけはしきをいふ。
げんあん　ナ。原案。もとのかんがへ。もとのあんがき。
けんいん　ナ。検印。けんさのしるしにおすいん。
げんいん　ナ。原因。もと。おこり。はじまり。みなもと。

げんうん　ナ。眩暈。めまひ。たちぐらみ。
けんえつ　ナ。検閲。しらべ。けんさ。ぎんみ。
けんか　ナ。縣下。けんのもと。けんのおさめのところ。
げんか　ナ。原價。もとね。しいれさるときのあたひ。
けんかい　ナ。見解。みどころ。ときごゝろ。さとりごゝろ。
げんかい　ナ。限界。かぎり。さかひ。はてのところ。
けんかう　ナ。權衡。はかり。つりあひ。
けんかう　ナ。健康。みのすこやかなるをいふ。
げんかう　ナ。言行。ことばとおこなひと。
げんかう　ナ。原稿。したがき。もとのさうかう。
げんかうはん　ナ。現行犯。そのあさりなさしさるつみ。
けんかく　ナ。懸隔。とほくかけはなれさるをいふ。
けんかく　ナ。剣客。たちつかひ。けんじゆつつかひ。
げんかく　ナ。嚴格。きびしくおごそかなるをいふ。
げんがた　ナ。驗方。かぢ。きたう。源若紫（今は、この世の事をおもひたまへねば、げんがたのおこなひも、すてわすれて侍るを、いかで、かうおはしましつらんと）
げんかん　ナ。嚴寒。つよきさむさ。ふゆのさはるさむさ。
げんぎ　ナ。嫌疑。うたがひ。あやしみ。落窪二（されを、嫌疑のものとおもひて、とらふるとおもひつるに）
けんぎ　ナ。建議。かんがへをたてまつるをいふ。
げんき　ナ。元氣。たつしや。すこやかなるをいふ。
けんきう　ナ。研究。がくもんをみがきて行くをいふ。
けんぎうせい　ナ。牽牛星。ひこぼしを見るべし。

けんきん　ナ。兼勤。これかれを、かねてつとむるをいふ。
げんきん　ナ。嚴禁。きびしきおきて。きびしきむつき。
げんきん　ナ。現金。あきなひに、かけうりをせぬをいふ。
げんきやう　ナ。現况。そのあさりのありさま。
けんきやうふくわい　ナ。牽強附會。こじつけ。いひまはし。
げんきよ　ナ。言語。ことば。ものいひ。
けんぎよう　ナ。[illegible]。うそのあざむきをいふ。
けんぐ　ナ。賢愚。かしこきとおろかなると。
げんくん　ナ。元勲。くにゝたてたるおほきなるいさを。
けんぐり　ナ。茶筅。ちやせんをいふ。侍謎、乾酢にて、
けんくわ　ナ。喧嘩。あらそひ。いさかひ。いひあひ。
げんくわ　ナ。嚴科。おごそかなるとが。きびしきおきて。
けんくわい　ナ。縣會。その縣の人のえらびたる議員の會議にて、その縣の地方税の事などを議するもの。
げんぐわい　ナ。言外。ことばのほか。ことばよりべつ。
けんくわこうろん　ナ。喧嘩口論。あらそひ。いさかひ。
けんくわん　ナ。兼官。かけづかさ。かねさるつかさ。
けんくわん　ナ。縣官。けんのつかさ。けんのくわんにん。
げんくわん　ナ。玄關。いへのおもてのかさのいりくち。
げんけ　ナ。源家。みなもとのうぢのいへ。
げんげ　ナ。蓮華花。れんげそうをいふ。畿内などにて、
けんけい　ナ。券契。てがた。せりふ。ちけん。十訓六（富家の領などを、券契をかきて、九條殿に奉りにけり）
げんけい　ナ。嚴刑。おごそかなるつみ。きびしきおきて。

けんげう　ナ。検校。僧官の名。高野山などの一山の長官をいふ。また、盲人などにたまふ官の名。
けんげき　ナ。剣戟。つるぎとほこと。たゝかひのだうぐ。
げんげつ　ナ。弦月。ゆみはりづきを見るべし。
げんげだな　ナ。蓮華花。れんげぐさをいふ。畿内にて
けんげん　ナ。建言。かんがへをたてまつるをいふ。
けんげん　ナ。權限。けんとしておこなふべきところ。
げんけん　ナ。嚴譴。おごそかなるせめ。きびしきまもり。
けんこ　ナ。眷顧。めぐみ。かへりみ。あはれみ。いつくしみ。
けんご　ナ。堅固。かたくしてたしかなるをいふ。宇拾十一（堅固のみなくぞうにて、仔細を志らず）同二十（内記上人寂心といふ人ありけり。道心堅固の人なり）
げんご　ナ。原語。もとのことば。ほんやくせぬことば。
げんこう　ナ。元功。くにゝたてたるおほきなるいさを。
けんこく　ナ。建國。くにをつくりたつるをいふ。
げんこく　ナ。嚴酷。きびしくおごそかなるをいふ。
げんこく　ナ。原告。うつたへをおこしさるかた。
げんこくにん　ナ。原告人。うつたへをおこしさるひと。
げんこじ　ナ。元興寺。がごじを見るべし。
げんこつ　ナ。拳。こぶし。ひとをうつにぎりこぶし。
けんこん　ナ。乾坤。てんち。あめつち。
げんこん　ナ。現今。いま。たゞいま。まのあさり。
げんごらうぶな　ナ。源五郎鮒。ふなの一種なり。近江のみづうみにいでくる鮒にて、おほきなるは二尺ばかりな

けん

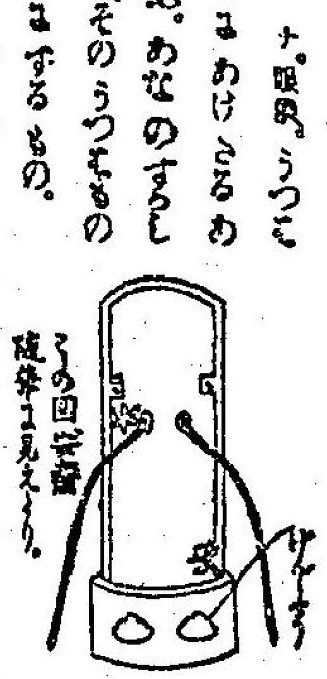
るもわりて、はちひさく、色ふろきみさり。
げんき ナ。検査。さらぎ。ぎんみ。あらため。
げんざ ナ。験者。かぢきたうをするひと。源平（鬼ら詞）り、猶り、ことなる。かぢきたうの天下のげんざのおもしろますより、えかくれをさらし、なのりへそへくと）
げんさい ナ。賢才。さきりのかしこきひと。
げんさい ナ。衒売。つじぎみをいふ。紀伊などより。
げんさい ナ。現在。いま。たゞいま。まのあたり。
げんさい ナ。厳催。かしこまりしくさはがしきないふ。
げんさく ナ。研究。つうぎのほそさ。
げんさきぶね ナ。艶先弁。へさきのとがりたるふね。柴船用
げんさう ナ。検査。さらぎ。ぎんみ。かんがへ。
げんさう ナ。遠装。ほうしなどの、くろきころもにて、諸国を巡遊
げんさん ナ。見参。まみえ。めみえ。宇治十（御げんざんにいりさぶらふさ（いへ）、讃岐記三（つゝかなふむるらして、鎌倉殿のげんざんにいれて）
げんさん ナ。間竿。さかけのながさなどをはかるさを。
げんし ナ。検使。けんぶんにつかはさるゝつかひ。
げんし ナ。健兒。つよくすこやかなるひと。
けんひ ナ。検非。官の名。ひとのあやしき罪をきらつて、裁判所にうつさいはるをつかさどるもの。
げんじ ナ。源氏。みなもとうぢ。みなもとをなのるうぢ。嵯峨天皇（四の皇子より、平家、赤旗をさゝげてかさめ、東

けん

の河原より、源氏、白旗をさゝげたり）
げんしう ナ。厳酬。さうづきのやりとり。
げんしき ナ。見識。みこみ。かんがへ。きとるの。
げんしさい ナ。元始祭。としのはじめにおこなはせらるゝ御まつりにて、年ごとに、一月三日の日になり。
げんじさう ナ。草の名。いちごなをいふ。東国にて。
げんじつ ナ。現日。ひなをかぞへたるないふ。
げんじつ ナ。厳実。まことなるもの。そらごとのもの。
げんじまめ ナ。源氏豆。まめに、さとうをかけたるもの。
げんじん ナ。賢人。かしこきひと。それもの。かしこもの。
げんしん ナ。現身。うつしみ。ひとをあらわれたるうみ。
げんしやう ナ。玄参。草の名。葉は青くむらさきがかりて、葉のめぐりに、保衛のごとき刻あり。秋のすゑに、茎のさしに、青くみどりいろなる花をひらく。この根は、常に、薬にもちふ。
げんしやう ナ。捨護銭。おさんをもちひること。
げんしや ナ。鹽形。こくいしやうのつゝやしろ。
げんしや ナ。威勢。おもき。おうぎさ。
げんしやう ナ。勧賞。てがらをしるさるゝうち。平家（安藝武者、文覚ぐんさるげんしやうに、「らるなみして、端坐に、右馬の允にぞなされける）
げんじやう ナ。涼淑。けん。てさ。ほりる。ちけん。
げんじやう ナ。献上。つゝしみてたてまつるをいふ。
げんしやう ナ。現象。あらはれてみゆるかたち。

けん

げんしやう ナ。現状。うつゝものなどにあけさるめなをいふ。おなのすもしにて、たゞそのうつすものかぎりにするもの。



きせるの図 現状に見ゆるもの

げんしやう ナ。現状。いまのかたち。まのあたりのさま。
げんじゆつ ナ。幻術。まはふ。たちゝき。たちうち。
げんじゆつし ナ。幻術者。まはふをつかふもの。
げんじゆつかひ ナ。幻術遣。げんじゆつのおこなふ。
げんしよ ナ。嶮路。いはの多き道。ほそきみち。
げんしよ ナ。賢書。ちけん。けんじやう。
げんしよ ナ。厳書。きものふみ。ほんやくせのふみ。
げんしようなり ナ。懸賞。げんしようなりに同じ。勝鈴（やまし立てあけをなるゝみぞ、げんしようなるこゝろすれて、おれらはよほどは必ず見る）
げんしようふ ソ。顕証。けしようにに同じ。大鏡一（ありけれ、いふあるべらんと、おりけれど、見踏はこそありけれ）
げんしよく ナ。顕職。よせのおもきをなふうつさ。
げんじり ナ。顕尻。やとりの、さらにくはしくさるもの。下もの文を見るべし。貞丈雑記（矢の根は、げんとりと云ふ物あり。根の先な、雛の如く、三角にしたる也）
げんず ワ。カ。カ。献。まゐらす。たてまつる。
げんずる ナ。生めしないふ。大和、奈良にて。

けん

けんまる ナ。矢をすうる時の変実をいふ。西國にて。
げんすゐ ナ。元帥。いくさのきみ。そうだいしやう。
げんぜ ナ。現世。このよ。落窪四（子ども七人おれども、かく、現世、後生、うれしき目みせつるやありつる）
げんせい ナ。権威。けんの。あせい。いきほひ。
げんせい ナ。現在。このよ。げんぜに同じ。
げんせいぐえん ナ。権現院。げんせいぐえんに同じ。
げんせう ナ。懸賞。ぐらぐらにおびやかすをいふ。
げんせう ナ。減少。へりてすくなくなるないふ。
げんせき ナ。歴貫。せめ。そう。まもり。とがめ。
げんせき ナ。原籍。もとのこせき。もとのにんずう。
げんせつす ワ。タ。カ。玄説。たつ。つくる。かぎる。
げんせん ナ。見銭。たつしや。すきやかなるをいふ。
げんせんじ ソ。顕然。おぢるる。ぬぬめし。
げんそ ナ。絵租。けさしきこと。けさしきところ。
げんぞ ナ。見参。けんぶつしつゝひきんなするをいふ。おやさといへり。源川竹（深うち給ふとて、云々侍従の君、げんぞし給ふとて、ちよくさ侍ひ給ふるに、兄君たちはさしのぞきたまひて、侍従の君おほえもなく、なりけり。御座のげんぞゆるされけるなどなど）
げんそ ナ。元祖。ものゝもと。もとのもの。
げんぞく ナ。眷属。かしこきひと。人にいむはひて、その人のむすこをいふこそは、夜見さういへの語なり。
げんぞく ナ。弁別。うらやむ。枕草十（おほやけそもさ

けん

ち、げんぞくのこゝちもいつうらみけれど、身の上まで、つゆゆへらしきを恐しね（ひ）
げんぞく ソ。還俗。そうの、ぞくぐんにかゝるをいふ。
げんそこ ソ。健やか。たつしや。すこやか。
げんそん ナ。謙遜。みをつゝしみてへりくだるをいふ。
げんそん ナ。玄孫。やしご。ひまごのこ。
げんだい ナ。寛大。かけもち。これかれをかねるをいふ。
げんたい ナ。ホ。ホ。ワ。兼帯。かねてもつ。かけもちにす。
げんたいす ソ。ヒトリ。
げんだう ナ。懸賞。ほんなるをいふ。
げんだう ナ。見当。めど。めあて。こゝろあて。
げんたうし ナ。遣唐使。もろこしへつかはさるゝつかひ。
げんたん ナ。壮丁。うつくしみをいふ。西國などにて。
げんだん ナ。検断。よしあしなきらべてさばくをいふ。
げんだんしよく ナ。検断職。武家の役の名。検断の事をつかさどる役にて、後世の町奉行に似るもの。
げんち ナ。検地。なそかれ。さちのあらため。
げんちう ナ。腕網。縄物の名。からおりものの一つ。
げんちやく ナ。権籤。ふしん。いへなきをつかふをいふ。
げんちよう ナ。検使。官の名。人ちよう、鎮守府などの判撥の官にて、大政官などの奏宜のごときものなり。
げんちゆう ナ。検註。さざ。けんさん。かんさん。十訓抄九（せる者ありなればけれども、云々、陸奥守になされければ、彼の國をくだりて、検注を行ひけるに）

けん

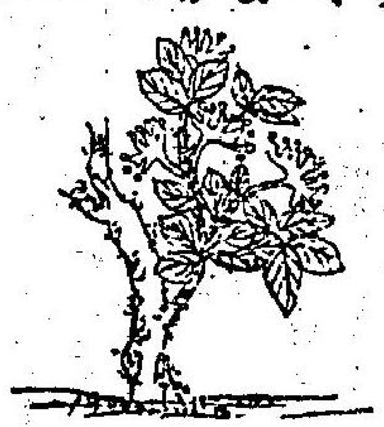
げんおゆう ナ。健剛。おかしこおとなるをいふ。
げんぢう ナ。火盛。あのをと見るべし。
げんぢうそう ナ。鉄刃鍔長。ほかうらくし。あをうなり。
げんぢゆゆに ソ。顕鏡。いちとらく。あざらかに。
げんぢゆう ナ。鉄刃鎌倉。けんのつけるてつなう。
げんつゞくふ ワ。ヒトリ。ロ。情なくいひさなる。
げんつる ワ。カ。ク。カ。弓ロ。けづるに同じ。催馬楽（奥山に木きるやをのこ、木をやれげんづる。桃やげんづる）
げんていす ワ。カ。カ。検定。きらべてさだむ。
げんてつ ナ。巻鉄。かしこきひと。すぐれさるよきひと。
げんてん ナ。圏點。くぎりなどにつくるまろきほし。
げんでう ナ。幻燈。かげゑ。ほげにうつしてみるゑ。
げんでう ナ。献灯。みあかしにさすさもしび。
げんどう ナ。賢徳。ふぢの。ともよりりこさ。
げんどう ナ。原罪。つみびとのつみをかろむるないふ。
げんどう ナ。顕曾。やぶさみにてむぼふないふ。
げんどん ナ。慳貪。けんどんそばに同じ。
げんどんそば ナ。慳貪蕎麦。そばきりに同じ。嬉遊笑覧（蕎麦の云々、慳貪そ、たゞ、俗にはおぼえさるやさしみなき意にて、一碗づゝもりさるを、食ふ人の心まゝにせて、すゝめもせざる由なり）
げんなふ ナ。献納。さしあげてまつるをいふ。
げんなん ナ。険難。かへなき事などをうくるせまがひ。
げんに ソ。現。あらそ。めのまへに。宇治二（げんにわ

けん

り。これなみよきて みづから、そくうち、みれば、まこ
とみあり。おさへしき事なしとおもひて〕
けんにん　ナ兼任。かねあるつとめ。やくのかけもち。
けんにん　ナ現任。いまのつとめ。いまつとめるやく。
けんねん　ナ懸念。きがかり。きねん。こゝろがかり。
けんのう　ナ玄能。かなづちのおほきなるもの。
けんのん　ナ險難。あやふきをいふ。東京などにて。
けんば　ナ犬馬。いぬとうま。いやしきもの。
けんば　ナ現場。まのあたり。めのまへのありさま。
けんぱく　ナ建白。かんがへをたてまつるをいふ。
けんぱう　ナ憲法。おきてなるむね。きびしきさだめ。
けんぱふ　ナ國法。みのり。くにのおきて。
けんぱふ　ナ劍法。けんじゆつのわざ。たちうちのみち。
けんばれう　ナ玄蕃寮。ほふしまらうどのつかさと同じ。
けんびき　ナ痃癖。かたのもりてひさしむをいふ。
けんびきやう　ナ顯微鏡。けびしきを見るかゞみ。
けんぷ　ナ絹布。きぬおりもの。十訓六（黄金をさきとし
て、多くの金・銀の羽、絹布やうの財物をもたせ）
けんぷ　ナ賢婦。かしこきをんな。すぐれたるをんな。
けんぷく　ナ元服。うひかうぶりをいふ。下文を見るべ
し。貞丈雜記（元服といふ事、元はかしらとよむなり、服
はきものとよむなり。かしらにきるものを、成長して、もと

けん

めて、おとなの衣服を著る事を、元服といふ也。元
服の時、加冠の役、理髪の役などいふ事あり。加冠
とは、烏帽子をとりて、かぶする人也。云々、理髪とは
子の髪の先を、紙に包て、髪の先を切す人なり）
けんぶつ　ナ見物。みもの。みものをするひと。菅原十（四
条の寺のさくら見物のとき、舞のはじまりは、春日井の
をかせ給ひて、釋迦堂の前の櫻のもとにて）
けんぶつ　ナ現物。まのあたりにあるもの。
けんぶつにん　ナ見物人。けんぶつをするひと。
けんぶん　ナ見分。みわけ。けんさ。よくしらべ。
けんぶん　ナ見聞。みきゝ。みるときく。
けんぶん　ナ原文。もとのぶん。かきあらためぬぶん。
けんぺい　ナ權柄。けんゐ。ちから。いきほひ。
けんぺい　ナ兼併。おさせて、ひとつにするをいふ。
けんぺい　ナ憲兵。けいさつのことをつかさどるへいし。
けんぺい　ナ源平。げんじとへいけ。
けんぺいたう　ナ源平桃。もゝの一種なり。木の、花の様
のごとくにて、花の紅と白とさきわけにあるもの。
けんぺいもも　ナ源平桃。げんぺいたうに同じ。
けんぺき　ナ痃癖。かたのもりてひさしむをいふ。
けんぺつに　ナ別に。わかれて。
けんぺん　ナ權變。ときをみて、かりにかはるをいふ。
けんぽう　ナ拳法。やはらのわざ。
けんぽなし　ナ枳椇。木の名。果の名。木は、えのきに似

て、葉は、えのきの葉より
も、おほきなり。夏のころ、
花をひらきて、枝に、實
をなすなり。實のさま、あ
かぎをもみたるやうにて、
まがりくねりて、岐あり。こ
の實、冬のころに、いたり
て、熟するときは、色あかみて、味ひあまきこと、あめ
のごとし。濱田草子（とま、けんぽなしといふあり）

げんぽん　ナ原本。もとのほん。もとのまゝ。
げんまい　ナ玄米。くろごめ。いまだつきしらげぬこめ。
けんまく　ナ見幕。けはしきかたち。いかりたるかほつき。
けんみ　ナ見分。ワケカ檢見。みとり。けんさ。ちやう。みがく。
けんみ　ナ撿見。みとり。けんみ、きまる、おほやけより、い
ねの、みのりよきかあしきかを、みのりをあらためみる
をいふ。騎射秘抄（大和物より云々、拾遺集の時に
射手の晴儀、矢の是非を、撿見すべし）
げんみつ　ナ嚴密。きびしく、こまかなるおほせ。
けんむ　ナ兼務。かねあるつとめ。かけもちのやくめ。
けんめい　ナ賢明。かしこく、あきらかなるをいふ。
けんめい　ナ厳命。きびしく、おごそかなるおほせ。
けんもつ　ナ献物。中務省の官人にて、大藏省、内藏等な
どの出納をかさどり、かねて、倉庫の管鑰を掌るもの。
けんもん　ナ見聞。みきゝ。みるときく。

けん

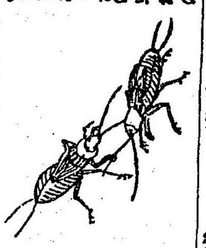
けんもん　ナ權門。くらゐたかくて、いきほひあるいへ。
けんや　ナ原野。くさの、ひろくそえあるところ。
けんやく　ナ儉約。ものゝりをひかへめにして、むだづかひや
うにするをいふ。十訓二（自餘賢事はかはれむることを、
儉約の政あるべきやう、いかにしとめでされ）
けんよ　ナ權與。おこり。もとのはじめ。
けんようす　ワタカ兼用。かねてもちふることにもちふ。
けんらう　ナ堅牢。てかたくて、おいやうぶなるをいふ。
けんらう　ナ元老。よをひたくて、つるたかきひと。
けんり　ナ權利。もとよりそなはりたるちからにて、その
ことをなすには、なすことのできるちからをいふ。
けんりつ　ナ建立。けんじよたてられるもの。
けんりやう　ナ賢良。かしこきひと。すぐれたるひと。
けんりやく　ナ權略。はかりごと。いつはりのてだて。
けんりよ　ナ賢慮。かしこきかんがへ。十訓三（つげまつらせ
さまつられける事を、賢慮、その中にあられまし、賢
慮、神のごときにすみやかなりけれ）
けんりよく　ナ權力。ちから。いきほひ。
けんれい　ナ嚴令。きびしくおごそかなるおほせ。
けんれんず　ワタ眷戀。こひしたふ。たひしくおもふ。
けんろ　ナ賢路。ことなかみずみち。
けんろん　ナ賢論。ごとも。ぞんし。ものいひ。
げんろく　ナ厳禄。くらましてそだすをいふ。
けんゐ　ナ權威。おせい。みくらゐ。いきほひ。

けも

けんゐさい　ナ健胃劑。みをつよくするくすり。
けんゑんき　ナ嫌厭。きらひとうきをいとふなり。
けんゑん　ナ嫌煙。けむりにむせぶ。
げんゑん　ナ嫌疑。あやしむこと。うたがひ。
げんをう　ナ原因。もとのゆゑ。
...
けもの　ナ獸。けだもの。四足にしてけのあるもの。
けものへん　ナ獸偏。ケモノヘン。
けやき　ナ欅。木の名。

けゆ

けもも　ナ毛桃。もゝの一種なり。木の様、實のさま、常
のもゝのごとくにて、花おほきく、實やとくして、皮は
毛のごときものあるなり。
けやかに　ソ顯やうなり。すぐれたり。源氏（質）
けやき　ナ欅。木の名。槻の木にて、おほきな
る木。二三丈あまりなるもあり。葉は、るんじゆに似
て、枝よりもおほきく、材の色あかみにして、かたく、流れ
る木目うるはしくして、滑きもの、かたくして、
似たり。家は、机、床などをつくる。
けやし　サヒ。異やうなり。すぐれたり。字拾十（太刀を
つゝなどいひて、しもとひと、みなにくさをし、けやけき
ものゑいしあるなり。脇にとりて、こにかるなるもの。
けやし　サヒ。異なり。けやけしに同じ。仁安記（光明）
と、いふ類を、おもひて）
けゆ　ナ解由。くにのかみのかはるとき、あとをひきつぐを
へるよしの文書をいふ。新任のかみ、任ぜられるものかは、ふるきよりて、まへよりかはるものへわたすをいふ。土佐日記（の四年五年はてて、例の事どもみなしをへて、げゆ
などとりて、すむ館よりいでて、船にのるべき所へ
わたる。かれこれしるしらぬおくりす）



こあたり　ナ。小當。こゝろみにふれてみるをいふ。
こあふひ　ナ。小葵。あふひの一種、からあふひのたぐひのちひさきものにて、花、葉の、おほきさまてあらし。
こあめ　ナ。小雨。こさめ。いさゝかふるあめ。
こあゆ　ナ。小鮎。あゆのこ。山家集（白なみに、小鮎ひかれて、くだる瀬に、もちまうけさる、こめのきぬあみ）
こい　ナ。故意。こゝろありてしわざをするをいふ。
こいあさぎ　ナ。濃淺葱。あゐいろのこきもの。
こいう　ナ。固有。もちまへ。もちきたり。うまれつき。
こい寒　ナ。小連翹。志やれ。いさゝかなるふうりう。
こいし　ナ。小石。ちひさきいし。いしころ。さゞれいし。
ごいし　ナ。碁石。ごにもちふる志ろとくろとのいし。
ごいしけ　ナ。碁石笥。ごいしをいるゝいれもの。後撰（ごむんいざませさまひける、ごいしけのふさに）
こいすき　ナ。樅。そりをいふ。蔵前などにて、
こいたじき　ナ。小板敷。きんちゆうの殿上にある、いたじきなりとて。千載（二條院の御時、こいたじきといふ五文字を、句の上におきて、たびのこゝろを）
こいたがもち　ナ。子寛餅。うぶやしなひのもち。
こいたどり　ナ。小虎杖。いぬいたどりをいふ。關西にて、
こいたまご　ナ。濃卵。たまごいろのこきもの。
こいち　ナ。魚の名。鱗、くちに似て、鯱よりも、鱗、口も、きさ、鯱よりもちいさし。おちすびようらず。
こいちや　ナ。濃茶。ひきちやの、こくしてたつるもの。

こいちや　ナ。濃茶。染色の名。ちやいろのこきもの。
こいつ　ナ。此奴。このやつ。こやつ。くやつ。
こいねずみ　テ。濃鼠。染色の名。ねずみいろのこきもの。
こいむらさき　テ。濃花色。染色の名。むらさきいろのこきもの。
こいえなだ　ナ。濃縹。染色の名。むなどいろのこきもの。催馬樂（淺みどりや、己以波奈太、そめかけさりとや）
こいび　ナ。小指。こゆび。路蹤二（志ろき手きしは、こいびさして、口すぼめさるかさなかきさまひて）
こいふす　ワ。ヒトリ。四。臥臥。ふしまろぶ。ふしころぶ。万廿（うつせみの、世のひとなれば、うちなびき、とこに伊布之、いふけくの、ひゞけはませば）
こいへ　ナ。小家。ちひさきいへ。榮花物（せむくて、御修法の壇など、向ひさるの小家どもとらせさまふ）
こいまろぶ　ワ。ヒトリ。四。輾轉。ふしまろぶ。ふしころぶ。万九（白雲の、箱よりいでて、とこよべに、たなびきぬれば、たちさしり、さけび袖ふり、反側、あしずりしつゝ）
こいも　ナ。小芋。おやいもにつきさるちひさきいも。
こいこし　ナ。小腰。ひしこをいふ。上總などにて、
こう　ナ。功。いさを。てがら。源夫綱（かのなごしこれ、え花こうに、御心の中に發しいづ）
こう　ナ。供養。くやうをいふ。西國などにて、
こう　ナ。乞食。かるをいふ。筑紫などにて、
こうい　ナ。厚意。あつきなさけ。ふかきこゝろざし。
こういん　ナ。後胤。志そん。ちすぢのすゑ。

こういんす　ワ。カケ。カ。拘引。つれてゆく。とらへてゆく。
こうえい　ナ。後裔。志そん。ちすぢのすゑ。
こうえき　ナ。鴻益。おほきなるえき。おほきなるまうけ。
こうえふ　ナ。紅葉。もみぢ。あかくいろづきさるこのは。
こうえん　ナ。口演。えなし。こうしやう。
こうえりすぢ　ナ。紅衿筋。こうよりすぢに同じ。
こうおん　ナ。厚恩。あつきめぐみ。ふかきいつくしみ。
こうか　ナ。後架。かはや。べんじよ。玉勝間（岡大路に、延文三年九月四日の所に、小倉殿御事云々、昨日酉剋、自後架便所、譲御之後絕入云々）古節（後架）
こうかき　ナ。紺搔。こんかきを見るべし。○一職人歌合（こうかき、たゞ、ひとしはそめよと仰せらるゝ）
こうかく　ナ。口角。くちさき。くちびし。くちのとがり。
こうがん　ナ。紅顏。あかきかほ。をさなきうつくしきかほ。
こうき　テ。口氣。ことばのようす。ものいひのさま。
こうき　ナ。公器。おほやけなるうつはもの。ろさくしなきろん。
こうぎ　ナ。公儀。おほやけ。志やうぐんけ。
こうぎ　ナ。恒例。志きさりをいふ。豐前にて、
こうきう　ナ。後宮。きさきのおはしますところ。
こうきす　ワ。ヒトリ。カ。興起。おこる。おこりさつ。
こうぎやう　ナ。興行。志ゐなどのもよほしをいふ。大友家記（豐後府内において、勸進相撲を興行す）
こうきよ　ナ。公許。おほやけのゆるし。
こうきよう　ナ。口供。くちがき。むくしやう。

こうくん　ナ。功勲。いさを。てがら。ほまれ。こうみやう。
こうくわい　ナ。公會。おほやけなるよりあひ。
こうくわい　ナ。後悔。あとまてのくい。宇拾二（にくみいやしみつる人々、こうくわいして、みなたふとみけり）
こうぐわい　ナ。口外。ことぐにいだしてかたるをいふ。
こうくわん　ナ。交換。ひきかへ。とりかへ。すりかへ。
こうげい　ナ。工藝。ものをこしらふるなどのげい。
こうげき　ナ。攻擊。せめうつをいふ。
こうげふ　ナ。功業。いさを。てがら。ほまれ。こうせき。
こうけん　ナ。後見。うしろみ。うしろだて。
こうげん　ナ。後言。志りうごと。かげごと。かげぐち。
こうけんす　ワ。カケ。カ。貢獻。みつぎとしてたてまつる。
こうけんにん　ナ。後見人。うしろみをするひと。
こうこ　ナ。江湖。よのなか。せけん。せじやう。
こうこう　ナゲキ。孤のなくこゑ。梳窶二（なんな、まさもとのきつねとなりて、こうくとないてうせぬ）
こうこう　ナゲキ。犬をよびよするこゑ。
こうこうと　ッ。嚣々。やかましく。かしがましく。
こうさい　ナ。後妻。うせなり。のちぞひ。のちのつま。
こうさい　ナ。公債。おほやけのおひめ。政府の、おほやけ用ふるために、人民よりかりさる借をいふ。
こうさい　ナ。公裁。おほやけのさばき。かみのさいばん。
こうさい　ナ。口才。くちのさい。ものをいふさい。
こうざう　ナ。構造。かまへ。つくり。こしらへ。

こうさく　ナ。耕作。なりはひ。田畑のたがへし。
こうし　ナ。公私。おほやけとさくしと。
こうし　ナ。公使。おほやけより、外國につかはされさる官人にて、そこに居る御國人の事などをあつかふもの。
こうし　ナ。犢。うしのこ。和名（犢和名古牛子也）
こうし　ナ。孔子。くじ。もろこしのたふときひじり。
こうじ　ナ。工事。こざいくみなどのするわざ。
こうじ　ナ。公事。おほやけごと。おほやけのわざ。
こうしくわん　ナ。公使館。こうしのとゞまりゐるたち。
こうしつ　ナ。後室。やもめ。たふときひとのうへにいふ。
こうじつ　ナ。口實。いひぐさ。いひごと。かこつけごと。
こうしん　ナ。功臣。いさをのありしけらい。
こうじん　ナ。後人。のちのひと。のちにうまれくるひと。
こうじん　ナ。紅塵。名香の名。らんの一種なり。
こうしや　ナ。功者。たくみなるもの。ぎやうずなるひと。
こうしやう　ナ。工匠。たくみ。だいくのたぐひをいふ。
こうじやう　ナ。口狀。ことぐ。えなし。ものいひ。
こうしやく　ナ。公爵。侯爵。華族の格式の名にて、公侯をせけていへば、公爵は第一等にて、侯爵は第二等なり。
こうしゆう　ナ。公衆。おほやけざちさるあまたのひと。
こうしゆう　ナ。古酒。こしゆをいふ。攝津、伊丹などにて、
こうしよ　ナ。口書。くちがき。こうきよう。
こうしようにん　ナ。公證人。おほやけよりさだめおかれさる證人にて、土地のうりかひなどに、政府と人民とのあひだにたちて、そのあつかひをするもの。

こうず　ワ。ヒトリ。カ。困。なやむ。こまる。くるしむ。空穂忠乞（むくちせめられこうじて、かのたむかりごとをきこうず）
こうず　ワ。ヒトリ。カ。嗅。さぶらふ。かしこまりてゐる。公事根源（弓箭を帶して、御殿の孫廂に候じて）
こうずる　ナ。洪水。おほみづ。やまみづ。梅松論（廿三日の暮より、翌日廿四日まで、大雨にて、大洪水なり）
こうせい　ナ。後世。のちのよ。すゑのよ。
こうせい　ナ。構成。かまへ。つくり。こしらへ。
こうせい　ナ。公正。たゞしくてひずみなきをいふ。
こうせき　ナ。口迹。ことぐ。ものいひ。こうじやう。
こうせき　ナ。功績。いさを。てがら。ほまれ。こうげふ。
こうせつ　ナ。巷説。ちまたのうはさ。よのひやうばん。
こうせん　ナ。口錢。くちぜに。あきなひのまうけ。
こうせん　ナ。公選。さくしなきえらび。
こうせん　ナ。攻戰。せめあひてのたゝかひ。
こうせん　ナ。公然。おほやけ。おもてむき。あらはれて。
こうそ　ナ。公訴。おもてむきのうつたへ。
こうそ　ナ。控訴。うへのさいばんしよへのうつたへ。始審裁判所の裁判に服せずしてすることなり。
こうぞめ　ナ。紅染。紅色の名。こぞめに同じ。
こうた　ナ。小唄。さうか。うられめなどのうたふうた。

とうだい ナ。後代。のちのよ。すゑのよ。源氏(よろづの事よりハ、柳花苑なん、まことに、こうだいの例ともなりぬべくみえ侍りし)と云々と見えたり。

とうだい ナ。燈臺。あぶらをもちふるもの。[illegible] 相鉄、安居、上紙、下紙、武頭などあり。

とうだいどころ ナ。[illegible]所。ひるめしをいふ。上臈下繕まで[illegible] 勘定なする役人をいふ事あり。中務内侍日記(くさんのちやうへ、とうだいどころへまゐる)

とうたう ナ。勾當。こうたうのないしに同じ。[illegible]

とうたうのないし ナ。勾當内侍。女官の名。下文を見るべし。貞丈雑記(掌侍ハ四人あり。四人の内、第一の掌侍を、勾當の内侍といふ。勾當内侍の居らるる役所の名を長橋局といふ。残り三人の掌侍ハ、上に、氏を付けて、源内侍、藤内侍などいふ也。四人の内[illegible] 女蔵人をいふ。勾當内侍[illegible] 新内侍[illegible] 沙門、長者等の官位など[illegible] 勾當内侍の奉書[illegible] 上臈へ申し傳ふる也)

とうたつ ナ。公達。おほやけよりあらする[illegible]

とうたん ナ。降誕。たんじやう。貴子などの御上に申す。

とうぢ ナ。小路。こみち。せまくちひさきみち。[illegible]

[illegible] 夜の御[illegible] 散木(長和[illegible])

とうち ナ。[illegible] 散木[illegible]

の、葉うつをみて、[illegible]

とうぢやう ナ。小[illegible] [illegible]

とうぢしろ ナ。[illegible]

とうちん ナ。口[illegible]

とうちや ナ。[illegible]

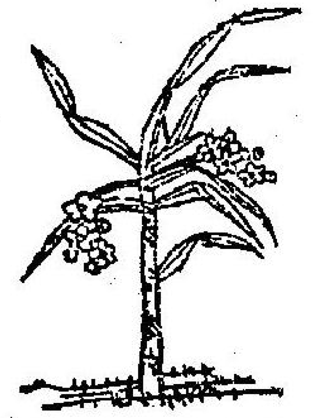
とうぢよ ナ。紅女。[illegible]

とうぢゆう ナ。口中。くちのうち。くちのなか。

とうぢやう ナ。工[illegible]

とうづ ワ。[illegible]

とうづくさ ナ。紅[illegible]



とうづる ナ。[illegible]草の名。[illegible]

とうでい ナ。[illegible]

とうでん ナ。功田。[illegible]

とうどう ナ。[illegible]

とうとく ナ。功徳。[illegible]

とうなん ナ。[illegible]

とうねん ナ。後年。のち。のちのとし。[illegible]

とうのう ナ。功能。きゝめ。くすりなどのきゝめ。

とうのへ ナ。後[illegible] のちのひと。つぎのひとなどいふ。

とうばい ナ。紅梅。うめの一種にて、花のあかきもの。[illegible]

とうばい ナ。紅梅。[illegible]

とうばいがさね ナ。紅梅[illegible]

とうばいいろ ナ。紅梅色。[illegible]

とうばいたす [illegible]

とうばいにほひ ナ。紅梅匂。かさねの色目の名。[illegible]

とうばく ナ。紅白。あかとしろと。

とうばう ナ。興亡。おこるとほろぶると。

とうばいやう [illegible]

とうばく [illegible]

とうふう ナ。公[illegible]

とうふん [illegible]

とうひ ナ。口[illegible]

とうひい ナ。[illegible]

とうびん ナ。後便。のちのびん。のちのたより。

とうびやう [illegible]

とうふ ナ。公布。[illegible]

とうふく ナ。口腹。くちとはらと。

とうふす [illegible]

とうふん ナ。紅粉。[illegible]

とうふんさい ナ。[illegible]

とうへい ナ。公平。[illegible]

とうへい ナ。工兵。[illegible]

とうへん ナ。公[illegible]。おほやけ。[illegible]

とうほ ナ。[illegible]

とうぼく ナ。[illegible]

とうぼしや ナ。[illegible]

とうまつ [illegible]

とうみやう ナ。功名。[illegible]

とうむ ナ。公務。おほやけのつとめ。[illegible]

とうめ ナ。小[illegible]

とうもん ナ。肛門。しりのあな。[illegible]

とうや ナ。[illegible]

とうやく ナ。口約。くちやくそく。[illegible]

とうやのおんな [illegible]

とうやめん [illegible]

とうよう ナ。功用。[illegible]

とうよう ナ。公用。おほやけのよう。[illegible]

とうようす [illegible]

とうら ナ。[illegible]

とうらい ナ。[illegible]

とうらう ナ。功勞。いさを。てがら。[illegible]

とうらん ナ。[illegible]

とうり ナ。[illegible]

とうりう [illegible]

とうりう [illegible]

とうりやう [illegible]

とうりにん ナ。小[illegible]

とうろくさん [illegible]

とうろん ナ。[illegible]

とうゑん [illegible]

とうゑん ナ。公園。[illegible]

とうゑん ナ。[illegible]

とえ ナ。[illegible]

とえだ [illegible]

とえつぼ [illegible]

とえんかう [illegible]

とえんぷ ナ。[illegible]

つゝ、ごえふもよし、そなれ、ひとへなるよし)

ごえふのまつ　ナ。五葉松。まつの一種なり。葉ほそくみじかく、まことにやはらかにして、葉すぢの五つゝあるもの。

こえまつ　ナ。肥松。まつの、やにのおほくあるもの。

ごえん　ナ。後宴。のちのさかもり。男踏歌などありて後にあることなり。源花宴(その日は、後宴の事ありて、まぎれくらし給ひつ。さうの琴つかうまつりたまふ)

こえらかなり　サ。肥。こえたり。ふとりたり。

こえらかに　ソ。肥えて。ふとりて。五代帝王物語(こえらかに、ゆゝしき僧の著座しければ、誰ならむと思ひて)

こえる　ワ。ヒトリ。シ一。肥。ふとくなる。こゆを見るべし。

こえる　ワ。ヒトリ。シ一。越。すぎてゆく。こゆを見るべし。

こえをけ　ナ。肥桶。こえをいれたるをけ。

ごおん　ナ。呉音。からもじの音の一種。支那の南方の音をつたへたるもの。漢音にむかへていふ語なり。

ごおんぞ　ナ。小御衣。ちひさきとのゐもの。下文を見るべし。貞丈雑記(ごおんぞといふは、こねまきの事なり。常の小袖の形にて、ゆきたけをながくするなり)

こおよび　ナ。小指。こゆび。手足の、それぞれにあるちひさきゆび。和名(季指和名古於與比小指、第五指也)

こか　ナ。古歌。ふるきうた。いにしへびとのうた。

こが　ナ。古雅。いにしへぶりのみやびやかなるをいふ。

こが　ナ。桶。をけをいふ。上總、下總、武蔵などにて、

こが　ナ。許我。地名。下總にあり。万葉(まくらがの、許我の渡の、からかぢの、音高しもな、ねなへ子ゆゑに)

ごかい　ナ。五戒。いつゝのいましめ。佛家にていふ語にて、殺生、偸盗、邪婬、妄語、飲酒のいつゝの戒をいふ。源若菜(いむことのちからにもやとて、御いたゞきしるしばかりはさみて、五戒ばかりうけさせ奉りたまふ)

ごかい　ナ。誤解。ときあやまり。かんがへそこなひ。

ごかう　ナ。五更。とらのとき。よるのなゝつどき。

ごかう　ナ。御幸。おりゐのみかどのいでまし。下文を見るべし。貞丈雑記(天子の御出を行幸といひ、院の御出を御幸といふ。行幸も、御幸も、すべてみゆきといふ)

こがうし　ナ。紅格子。くれなゐの地に、碁盤の目のごとき、たてよこのすぢをおりいだしたるもの。貞丈雑記

こかく　ナ。古格。いにしへのあと。むかしのさだめ。

こがく　ナ。古學。いにしへまなび。あんさうのがくもん。

ごかく　ナ。牛角。ちからのまさりおとりなきをいふ。

ごかく　ナ。語格。ことばづかひ。ことばのもちひかた。

ごがく　ナ。語學。ことばづかひのまなび。

ごかくご　ナ。御格勤。武家の役の名。下文を見るべし。貞丈雑記(御格勤といふは、同朋より上なる。公方様へ、御膳を參らするとき、御末より、御格勤、御膳を持參して、御供衆へわたしけるなり)

ごがくしや　ナ。語學者。ことばのみちのがくしや。

こがくる　ワ。ヒトリ。シ二。木隠。こかげにかくる。古今(君が代は、逢坂山の、岩清水、こがくれたりと、思ひける哉)

こがくれ　ナ。木隠。きのかげ。千載(ゆふづくよ、いるさの山の、こがくれに、ほのかになのる、ほとゝぎすかな)

こかげ　ナ。木陰。きのかげ。堀川次郎(思ふどち、このもかのもに、むれゐつゝ、夏は木陰ぞ、たちうかりける)

こがし　ナ。麥粉。むぎこがしをいふ。東國などにて、

こがしの　ナ。焦篦。矢の篦の、くろくこがしたるもの。

こかす　ワ。カケ。四。倒。たふす。ねせしむ。

こがす　ワ。カケ。四。焦。こがれしむ。後撰(なみだにも、思ひのきゆる、我ならば、いとかく胸は、こがさゞらまし)

こかぜ　ナ。微風。いさゝかなるかぜ。和名(微風古加世)

こがたな　ナ。小刀。ちひさきかたな。かみなどをきるにもちふるもの。散木(こがたなの、つかのまにぞ、あそむやと、おもふ身をしも、さやいさく(ぞき))

こがね　ナ。黄金。きん。きいろのかね。万五(しろかねも、金もたまも、なにせんに、まされるたから、子にしかめやも)和名(金云々、和名古加禰、金之最有光澤也)

こがねいろ　ナ。金色。こがねのごとくひかるいろ。

こがねぐさ　ナ。金草。草の名。きくの異名。

こがねづくり　ナ。金装。こがねにてよそほひたるもの。太刀などのこしらへにいふ。太平十四(くれなゐのたしに、かいらぎのこがねづくりの太刀をそく)

こがねのきぎす　ナ。金雉。たからのとき、たからのとりさるめすのきじをいふなるぞ。夫木(つれもなき、人の心を、とりとむは、こがねのきゞす、つけえてしがな)

こがねのたがらす　ナ。金烏。こがねにてつくりたるみつあしのからす。中務内侍日記(こがねのたがらすとて、足のみつある鳥みゆと云々、日の中に、さんぞくの烏あり。月の中には、六足のうさぎありときゝしも)

こがねのもじ　ナ。金文字。きんでいにてかきたるもじ。続世継二(治暦元年九月二十五日、高陽院にて、こがねの文字の御經、みかど、御みづからかゝせ給ひて)

こがねばな　ナ。金花。かざそみをいふ。筑紫にて、

こがねむし　ナ。金虫。虫の名。たまむしのたぐひにて、甲くろくかゞやきして、よつの足とふたつの角あり。

こがねめどり　ナ。金鳥。こがねのきぎすに同じ。

ごかのこゑ　ナ。琴にいふ語。ごかのしらべを見るべし。空穂俊蔭(せちぜの琴を、ごかの聲にしらべて)

ごかのしらべ　ナ。琴にいふ語にて、搔手、片垂、水字瓶、蒼海波、雁鳴調をいふいつゝのしらべをいふとぞ。源若菜(きんは、ごかのしらべ、あまたの手の中に、こゝろとゞめて、かならずひきたまふべき五六のこちを、いとおもしろくすましてひきたまふ)

こがのみこ　ナ。蜾。獣の名。さるの異名。藻塩草

こがはでら　ナ。粉河寺。てらの名。紀伊國の那賀の郡にあり。玉葉(みるたびに、そでをぬらして、すぐるかな、おやのなかれの、こがそとおもへば)

ごかばん　ナ。五箇番。武家の役の名。殿中にて、番をつとむる人の、五番にわけたるをいふとぞ。貞丈雑記

こがひ　ナ。蚕飼。かひこのやしなひ。拾遺(年もよし、こがひもえたり、大國の、里たのもしく、おもほゆる哉)

こがひ　ナ。子飼。ちひさきときよりやしなひたるもの。枕草二(心ときめきするもの、雀の子がひ)

こがひのき　ナ。木の名。たぶのきをいふ。長門などにて、

ごかん　ナ。沍寒。さえとほるきびしきさむさ。

こがめ　ナ。小瓶。ちひさきかめ。古今(たまだれの、こがめやいづら、こよろぎの、いそのなみわけ、おきにいでにけり)和名(瓻瓶、一名、陸瓶、和名古加米　小瓶也)

こがめ　ナ。鼈。すつぽんをいふ。四國などにて、

こがら　ナ。小雀。鳥の名。かささぎ、やまがらに似てちひさく、背と腹とはくろくして、翅と尾とはくろし。よくさへづる鳥なり。拾玉(啼きても、みよくしひとの、やまぶきの、こがらむれゐる、うめのたちえを)

こがら　ナ。魚の名。かさごをいふ。讃岐などにて、

こがらかす　ワ。カケ。四。焦。こがす。こがれしむ。方言留

こがらけ　ナ。木枯。そのなき志むをいふ。伊勢にて、

こがらし　ナ。木枯。きをふきからすはやきかぜ。秋のすゑより、冬にかけてふく風をいふ。六帖一(木枯の、秋の山風、ふきぬるを、などか雲居に、雁の聲せぬ)

こがらし　ナ。木枯。すりこぎをいふ。女の詞なり。女重宝記

こがらしのもり　ナ。木枯森。地の名。駿河にあり。後撰(木枯の、森の下草、風早み、人の嘆は、おひそめにけり)

こがらす　ナ。小鴉。平家のたからもののかたな。

こがらめ　ナ。小雀。こがらに同じ。山家集(並びゐて、ともな離れぬ、こがらめの、ねぐらにたのむ、椎の下枝)

こがる　ワ。ヒトリ。シ二。焦。やけてくろくなる。おもひにもゆ。こひしたふ。この語は、地方によりては、こがれるといふ。下一段にいふ。夫木八(あさもみぢ、秋もまたなく、いろづくは、てる夏の日に、こがれるかも)源木吾(かれ、をさなしもおもひたれず、そりく、ひとふりならねむねこがるゝゆふべもあらんとおぼえさる)

こがれいろ　ナ。焦香。そめいろの名。うすくれなゐに、黄色をくはへて染めたる色をいふ。抄　装飾　また、織色の名にて、經緯ともに、濃き香なるをいふ。服色部類

こがれじに　ナ。焦死。やけじに。おもひじに。

こがれる　ワ。ヒトリ。シ一。焦。こがるを見るべし。

こき　ナ。古記。ふるきかきもの。いにしへのかきもの。

こぎ　ナ。小木。ちひさききき。萬葉(小木のおひいでて、萬代の老木にならんまでの、心をよませ給ふに)

ごき　ナ。御器。おもののさら。紫花漬さの(御車に、かうじ、たちばな、ごき、ひとつ、むかり、みなくろに(いれて))

ごき　ナ。五畿。みかどのおはしますめぐりのくにぐにて、山城、大和、河内、和泉、攝津のいつゝの國をいふ。

こきあけ　ナ。濃緋。あかねと紫草とにてそめたるいろ。

ごきあらひむし　ナ。蚊蟲。まひくむしをいふ。薩摩にて、

こきある　ナ。濃藍。あゐと黄蘗とにてそめたるいろ。

こきあをに　ナ。濃青丹。かさねの色目の名。表黑、ともに、

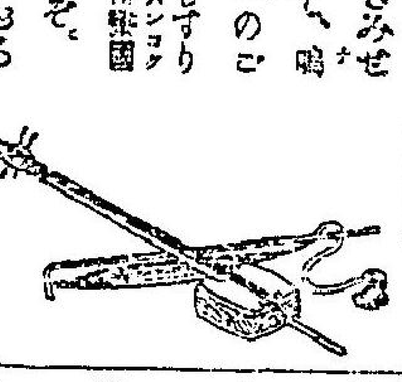
黄いろの濃くして、すこしあをみをふくめるもの。色葉字類抄

こきいた ナ。羽子板。こぎのこ。こぎいたに同じ。

こぎいづ ワ。カタ。シニ。漕出。こぎていづ。拾玉（汁漑気……けりしけれども、漕出でゆき、舟人は、いさまらせん）

こきいろ ナ。濃色。こきむらさき。桃花蘂葉・氏照装抄（……）て、濃紫、なるは、濃き紫なるをいふ。胡曹抄、西三條装束抄

こきう ナ。胡弓。樂器の名。形、さみせんに似るちひさきものにて、おしすりらすまれ、などる毛の、弓の弦のごとくかけたるものにて、……でならす。もと、この樂器は、南蠻國よりわたりきたるものなりとぞ。



こきおろす ワ。カタ。サ。扱下。こきておろす。むしりておとす。堀川百首（つゆのみを、おもひけるる我もこそ……紅葉こきおろす、名もこそありけれ）

こきかう ナ。濃香。かさねの色目の名。表濃き、裏も同じ。紅梅なるものをいふ。胡曹抄

ごきかぶり ナ。虫の名。あぶらむしをいふ。肥後

こきくわがし ナ。濃褐子。襲の名。くれなゐをこくしきて濃くそめたるをいふ。装束

ごきくらむし ナ。虫の名。あぶらむしをいふ。伊勢、土佐

ごきし ナ。御器。ごきしに同じ。垂仁紀（什器）

こきし ソ。幾許。こゝだく。そこばく。古事記（うぎのなき、……こきしひゑね、たちそ……ぎのみの、なけくな、許紀志比ゑね）

こぎす ワ。ヒトリ。カ。漕越。うちかつ。うちかびてたからや。

こきだ ソ。幾許。こゝだく。古事記（うぎのたなきは云、……許紀志比ゑね）

こきだく ソ。幾許。こゝだく。こゝだく。万二（御笠山、野ゆゆく道は、こきだくも、しげくあれたるか、ひさにあらなくに）

こきだし サ。カ。幾許。こゝだくなり。（許多比能曾許曾我美夜許……）

こぎたむ ワ。カタ。マ。漕廻。こぎめぐる。万一（いづくにか、船泊すらむ、安礼の崎、こぎたみゆきし、棚なし小舟）

こきたる ワ。カタ。ラ。扱垂。古今（山姫の、かすみの袖に、……花こきまぜて、春の錦ぞありける）

こきちらす ワ。カタ。サ。扱散。むしりちらす。古今（こきちらす、滝の白玉ひろひおきて、世のうき時の涙にぞかる）

ごきない ナ。五畿内。うちつくにのうち。

こぎのこ ナ。羽子板。こきいたに同じ。世諺問答（こぎのことは、木練子などを……つけたり。これな、板にてつきあぐれば、おつる、時を、えぼうかくりのやうなり。さて、奴なおそれしめんため……）

こきのこう ナ。小玉。草の名。……一種にて、……

こきふくみ ソ。幾許。こゝだく。そこばく。万十（……）

こきぶ ナ。呼吸。いきのかよひ。

ごぎぶつ ナ。古佛。ふるきほとけ。

こぎまぜ ワ。カタ。シニ。扱交。かきまぜる。古今（みわたせば、やなぎさくらを、こきまぜて、みやこぞ春の、にしきなりける）

こきみ ナ。虫の名。……元服……

こきみ ナ。小君。なつかしき子。……源氏（……小君……）

こきみ ナ。小君。なにがしのうらら。……

ごきやう ナ。五經。……易經、書經、詩經、禮記、春秋の五部の書をいふ。

ごきやう ナ。五行。木火土金水のいつつのものをいふ。

ごきやう ナ。御形。草の名。はゝこぐさ。……

こきん ナ。古今。……

ごぎやくざい ナ。五逆罪。いつつのおほきなるつみ。傍訓にていふ事にて、父を殺し、母を殺し、佛の身より血をいだし、阿羅漢を殺し、和合僧を破るをいふ。

ごぎやくす ワ。カタ。カ。沽却。うりもらふ。うりわたす。

こきやす ワ。カタ。シニ。扱落。かきおとす。清正集（春風に、やたつ波の、色はさて、いろこきやす。井田の山吹）

こきりこ ナ。筑子。ようさけのじとほきもの。ちかぎうをもいて見るべし。放下僧の、手にもてるものそれなり。七一職人歌合（ちろ、月みつ、うちふもるの、こきりこの、竹の夜毎の、すみさるるな）

こきれる ワ。カタ。シニ。扱入。こきいれてやる。万十（油火に、影さへみえて、吹付ぐ、あしびの花を、袖に扱入れつ）

こぎる ワ。カタ。ロ。扱切。ねぎる。あたひをまけしむ。

こぎれ ナ。小切。物のなどのきれはし。

こく ナ。穀。たなつもの。こめむぎのたぐひ。字拾十三（五穀をたてて年来はなり幼云々、こくだち、衆年……）

こく ナ。斛。もののはかりをなるうとして、一斛とはいへ、一斗を十あつめたる名目をいふ。

こく ワ。カタ。シニ。扱。むしる。かきおとす。古今（みわたせば、やなぎさくらを、こきまぜて、みやこぞ春の、にしきなりける）

こく ワ。ヒトリ。シニ。倒。たふる。ふす。……のびてこくひとありをみせるまひて）

こく ワ。ヒトリ。シニ。扱。やす。かゝく。……（……あまりたけすぎて、……侍るをいふを）

こぐ ワ。カタ。カ。漕。ろをこぐ。かぢなつる。ふねをやる。万十（さよふけて、堀江漕ぐなる、松浦船、かぢの音たかし、みをはやみかも）後撰（……）

こぐ ワ。ヒトリ。シ。焦。こがる。やけてくろくなる。

こく ナ。曲。きよく。うたのふし。

こく ナ。玉。たま。拾遺（……）

こく ナ。獄。ひとや。つみびとをいれおくところ。

こく ナ。極。きはめてこのうへなし。

こくい ナ。黒衣。くろきころも。

こくう ナ。虚空。そら。おほぞら。

こくう ナ。穀雨。……

こくうん ナ。國運。くにのうん。

こくおん ナ。國恩。くにのおん。くにのめぐみ。

こくが ソ。國衙。國司の、政務をとるところ。

こくがく ナ。國學。……

こくがく ナ。國學。……

こくがくせい ナ。國學生。……

こくかん ナ。……

こくし ナ。國司。……

こくし ナ。國師。……

こくし ナ。國史。……

こくしゆ ナ。國主。……

こくじ ナ。國字。……

こくせい ナ。國政。……

こくたい ナ。國體。……

こくど ナ。國土。……

こくふ ナ。國府。……

こくこ ナ。國庫。くにのかねぐら。みかどのかねぐら。

ハ

ハ

ハ

こけ ナ。苔。あらなをいふ。豊前、豊後などにて、
こけ ナ。鱗。うろこをいふ。東京などにて、
こげ ナ。焦。こがれ。やけて、くろくなりたるところ。
ごけ ナ。後家。やもめ。やもを。著聞廿(くさんの後家がありさまふるまひを、むかしよりかきあらはして)
ごけい ナ。御禊。まつりのときの御みそぎ。榮花日蔭のかつら(大嘗会御禊など、いみじう、世はゐきさわぎたり)
こけいろ ナ。苔色。染色の名。もえぎのこきものをいふ。西三條装束抄
草 萌黄まて、鶏の色目にて、表は香のくろずみたるにて、裏のふさあゐなるものをいふ。
ごけたふし ナ。稲扱。いなごきをいふ。畿内などにて、
こげちや ナ。焦茶。染色の名。くろずみたるちやいろ。
こけつす サ。ヒトリ。カ。固結。かたまる。こりてかたまる。
ごけなかせ ナ。稲扱。いなごきをいふ。越後などにて、
ごけにん ナ。御家人。將軍家のいへのこにて、守護地頭などをもすべていふ。竹崎五郎絵詞(筑後の國の御けにん、みつとも又二郎、くびの任ねを射とほさる)
こけのいほ ナ。苔庵。ふるさとのふるきいほ。やまずみのひとのすむいほ。続千(あれにけり、さがふるさとの、こけのいほ、みし世のままは月にすめども)
こけのころも ナ。苔衣。やまずみのひとのきたるころも。ほうしのきたるころも。後撰(世をそむく、こけの衣は、たゞひとへ、かさねばうとし、いざふたりねん)
こけのした ナ。苔下。むかしのあと。千載(鳥部山、君たづねきても、くちそてて、苔の下には、とふべきらまし)
こけのたもと ナ。苔袂。こけのころも。千載(嬉しさもなかへすぐも、つらがき、苔の袂の、狭くもある哉)
こけのまくら ナ。苔枕。やまずみのひとのふしどなり。壬生二品集(よしのやま、すゞのしのゝめ、ふきあらし、こけのまくらは、春ぞおぼめく)
こけのむしろ ナ。苔筵。こけの、あをくとして、しきたるごとくみゆるところ。やまずみのひとのゐるむしろ。土御門院御集(あさはきて、こけのむしろの、つゆけきは、みやこみ紀目の、なみだなりけり)
こけむす ナ。魚の名。あゆむつをいふ。東國などにて、
こげん ナ。古言。ふるきことば。いにしへのことば。
ごけん ナ。誤見。みそこなひ。おもひちがひ。
ごけんちゆう ナ。御殿頭。ゐのとちをいふ。貞丈雑記
こけもも ナ。苔桃。木の名。いぬなしに同じ。
こけら ナ。柿。きのけづりくづ。まさ、きの、うすくそぎたるもの。著聞廿(只今ちりたるこけらやありけるにて、前にちりつもりたるなし。これ、大きなる際は候ふ)和名(柿和名古介良、削柿也、韻會木之柿所出細片曰柿也)
こけらげ ナ。柿毛。たかはいふことぞ。鷹の、せづらふをきたつる、かしらのけをいふとぞ。和訓栞
こけらぶき ナ。柿葺。こけらにてふきたるや根。著聞(堂を修理しけるに、もと、こけらぶきにてありけるが)
こげる ワ。ヒトリ。シ一。倒。たふるゝをいふ。四國などにて、
こげる ワ。ヒトリ。シ一。焦。こがる。やけてくろくなる。
ここ カへ。此所。このところ。枕草子(うづちの木のよらんきりておろせ。こゝはめずぞなどいひて)
ここ ナ。古語。ふるきことば。いにしへのことば。
ごご ナ。午後。ひるすぎ。うまのときよりのち。
ごご ソ。少女。こむすめをいふ。肥前、長崎にて、
ごご ナ。飯。めしをいふ。東國などにて、
ここう ナ。餬口。くちすぎ。みすぎ。よわたり。
ここう ナ。股肱。もゝとひぢと。たのみとすべきもの。
ここう ナ。虎口。とらのくち。あやふきところ。
ここう ナ。戸口。いへのかず。かどのかず。
こごえじに ナ。凍死。さむさにこごえてしぬるをいふ。太平十七目録(北国下行路こごえじにの事)
こごえる ワ。ヒトリ。シ一。凍。さむさにかじく。
ここかしこ カへ。此所彼所。このところかのところ。源桐壺(あまりうちしきるをりくは、うちはしわたどの、こゝかしこのみちには、あやしきわざをしつゝ)
ここく ナ。故國。ふるさと。こきやう。もとのくに。
ごこく ナ。五穀。いつゝのたなつもの。宇拾十二(ひさしく、久しくおこなふ上人ありけり。五穀をたちて、年来になりぬ。帝きこしめして、神泉苑にあがめすゑて)
ごこく ナ。後刻。のち。のちほど。すこしのち。
こごごと ソ。呻きて。うめきて。宇拾三(かへしせんとおもひて、とかくとうめきけれどえせざりけり)

ごごさま ナ。御様。ひきのつまをいふ。陸前、仙臺にて、
こごし ナ。小腰。こしをすこしかゞむるをいふ。
こごし サ。フ。險。けはし。やまの、いはほなどありて、ゆきゞきところをいふ。万三(せんすべの、たづきをしらず、石がねの、許凝敷みちを、石床の、ねをはゆる門を)
こごし サ。フ。大らかなり。蓬生一(こごしければ、ちゃうさしとおもひて)源少女(こごしうつくしげなる事になほ、大殿まゐおよぶまじかりけり)
ここだ ソ。幾許。こゝばく。そこばく。万五(妹が家に、雪かもふると、みるまでに、許々陀も、まがふ、梅の花かも)
ここだく ソ。幾許。こゝばく。そこばく。万廿(天離る、鄙とも著るく、許己太久も、繁き戀かも、なぐる日もなく)
ここち ナ。心地。こゝろもち。貫之集(大空は、くもらざりけり、神無月、しぐれごこちは、われのみぞする)
ここちあやまる ワ。ヒトリ。四。心地たがふ。こゝろもち、つねのごとくならず。源若菜(けさのゆきに、こゝちあやまりて、いとなやましくさぶらへば)
ここちおくる ワ。ヒトリ。シ二。心地おくる。源蜻蛉(まめやかの、さすがに、こゝろとゞめてものがたりするこそ、こゝろおくれさらんひとはくるしけれ)
ここちそこなふ サ。ヒトリ。四。心地とろくなる。
ここちたがふ ワ。ヒトリ。四。心地、つねのごとくならず。源總角(こゝちもたがひて、いと悩ましうおぼえさせ給ふ)
ここちなう ソ。無心地。こゝろなく。源浮舟(すべて、この子は、こゝちなうさしすぐしてなむ)
ここちまどふ ワ。ヒトリ。ロ。心地、つねのごとくならず。こゝちなやましくなる。伊勢(あさなきしほどに、さとはいともしなくてありければ、こゝちまどひにけり)
ここちゆく ワ。ヒトリ。ロ。心地はれやかになる。源絵合(鳥の囀る程、こゝちゆき、めでたき朝ぼらけなり)
ここと ソ。硬きもののふるゝおと。万廿(机の島の、小螺を、いひろひもち来て、石もちて、つゝきやぶり、早川に、あらひすゝぎ、からしほに、こゝともみ)
こごと ナ。小言。ひとりごとをつぶやくをいふ。
ここに ソ。茲。このところは。古今(こゝに、古の事をも、詞の心をも知れる人、わづかに、一人二人なりき)
ここともすび ナ。興台産霊。あまのこやねの命の御子。
ここにおいて ツナギ。於是。このときに。このゆゑに。
ここぬか ナ。九日。やうかのつぎのひ。和泉式部集(君が代ん、千代の始の、長月の、けふ九日の、菊をこそつめ)
ここのかさね ナ。九重。こゝのへに同じ。古今(こゝのかさねの、うちにても、あらしの風は、きかざりき)
ここのしな ナ。九品。ごくらくの名。源夕顔(さてこそ、こゝのしなのかみにも、さはりなくうまれたまはめ)
ここのそぢ ナ。九十。よそぢのくじふ。玉葉(老の波、なほ静なれ、君が代を、こゝのそぢまで、みつの濱風)
ここのつ ナ。九。いつゝは、ようをあはせたるかず。
ここのつ ナ。九時。こゝのつどき。うまのとき。ねのとき。
ここのつどき ナ。九時。うまのとき。ねのとき。
ここのへ ナ。九重。おほうち。きんちゆう。詞花(いにしへの、ならの都の、八重櫻、けふ九重に、にほひぬる哉)
ここのへびと ナ。九重人。おほみやびと。くものうへびと。てんじやうびと。夫木(くものたつ、やへやまぶきの、をなぎり、こゝのへびとは、をらせてしかな)
ここば ソ。幾許。こゝばく。そこばく。万十五(秋の夜を、長みにかあらん、なぞ許己波、いのねらえぬも、獨ぬればか)
ここばく ナ。幾許。こゝだく。いくらともなくあまたなるをいふ。万廿(ながきけは、あちむらさわぎ、島廻には、こぬれ花さき、許己波久も、みのさやけきか)
こごむ サ。ヒトリ。日。跼。せぐくまるに同じ。
ここん ナ。古今。いにしへといまと。
こごめ ナ。小米。こめの、つくときくだけたるもの。
こごめざくら ナ。小米櫻。灌木やうの木にて、ひさうの枝より、あまたの木のつ、葉は、まろくあつく、花は、豆のごとくにして、花の頭すこしくぼし。また、花は、まろくして、咲きみつときは、雪のつもりたるがごとし。
こごめばな ナ。小米花。こごめざくらをいふ。畿内にて。
こごめやなぎ ナ。小米柳。いぬやなぎに同じ。
こごめゆき ナ。小米雪。こごめのごときちひさきゆき。
ここもと ナ。此許。このところ。源松風(頭、くまなうまろうちしげけは、こゝもとこそ、すこしかくれさりけれど、みゆるところなう、あざくとうつくしげに)

こご

こごもり　ナ。忍子。このもされてあるもの。

こごゆ　ワ。ヒトリ。シ二。凍。さむさにかじく。さむさにすくむ。太平記（馬ども、こゞやかじとはこじれおにて）

ここら　ナ。幾許。こゝそく。そこそく。亭子院歌合（寢もなく、ちりなん物を、櫻花、こゝら久しく、待せつる哉）

ここら　ナ。此等。これら。これほど。このくるか。

こごらす　ワ。カナ。ロ。凝。こほらす。こほらしむ。

ここり　ナ。心。こゝろに同じ。万廿（むらきもの、こゝろに街さし、かくめとし、妹が去々見へ、よくなかるる）

こごり　ナ。凝魚。にこゞり。四條流庖丁書（こゞりの事、小鮒を用ふべし。その外ハ、何魚なりとも用ふべし）

こごりどうふ　ナ。氷豆腐。こほりどうふに同じ。

こごる　ワ。ヒトリ。ロ。凍。凝。こほる。かたまる。万一（なへの穂は、よるの霜ふり、いそことも、河の氷凝、さゆる夜を、やすむことなく、かよひつゝ、つくれる家に）

こころ　ナ。心。情。なさけ。おもひ。かんがへ。古今（思ひども、身をなしとげねバ、日にみえ、こゝろを君に、たぐへてぞやる）後撰（とどなつは、おもひそめてハ、ひとしれね、こゝろの色ハ、色はみえなん）

こころあがり　ナ。心上。こゝろの、たかくおもひあがりゐるをいふ。枕草三（草ハ、三や、もきなるも、名のおかしきなり。こゝろあがりしけんとおもふに）

こころあて　ナ。心當。こゝろのあて。こゝろにてつくるめあて。古今（こゝろあてに、をらばやをらん、はつしもの、おきまどはせる、しらぎくの花）

こころあひのかぜ　ナ。心を交ゆすかぜ。こゝろをあるかぜ。こゝろしりのかよふかぜ。催馬樂（みちのくち、たけふのこふに、われわりと、おやにまうしたべ、こゝろあひのかぜ、やさきんだちや）

こころあやまり　ナ。心もちの、つねのごとくならぬをいふ。伊勢（こゝろあやまりやしたりけん。御子たちのつかはさせけるひとをあひいへりけり）

こころあらため　ナ。心改。こゝろをおもひなほるをいふ。

こころいき　ナ。意氣。こゝろざ。こゝろもち。

こころいそぎ　ナ。心急。こゝろのせかるゝをいふ。

こころいつはりに　ソ。心のまゝ。おもふまゝ。

こころいられ　ナ。心急。こゝろぜき。こゝろのいそぎ。源。末摘（かの御ゆるしなくてもさてたのまるゝ。こゝろいられし、うくてあるもてなしにはあらじ）

こころいれ　ナ。心入。おもひこみ。こゝろのもちひ。

こころう　ワ。カナ。シ二。心得。こゝろはうけとる。この詞れ地方にかよりて、こゝろえるを下一段にいふ。狹衣二（つらきかたにおもひなるとこゝろえて）

こころうし　サ。ヒ。心憂。こゝろうし。源。若紫（惜しと思ひきんが、おなじひとぞとて、憐かれて）

こころうごき　ナ。心動。こゝろさき。むなさはぎ。

こころうつり　ナ。心移。こゝろのうつりゆくをいふ。

こころえ　ナ。心得。さとり。りやう。こゝろえ。狹衣四（おほかたの國土人などのこゝろえにはしつ、あきらかにみらせしあやきどもさへ、さるもの得て）

こころえがたく　ソ。心得難。こゝろえがたきこと。

こころえがほ　ナ。心得顏。こゝろえたるかほのさま。

こころえる　ワ。カナ。シ二。心得。こゝろうを見るべし。

こころおき　ナ。心置。こゝろの遠慮。けねん。まんねい。こゝろおき。

こころおきて　ナ。心掟。こゝろのおきて。かねてのこゝろぐみ。浜松（むげにうるはしき方のこゝろおきてかなりさまふ）

こころおく　ワ。ヒトリ。ロ。心置。こゝろのまゝにならぬをいふ。狹衣三（かうまで、こゝろおくれ、おもひやりなきにはまたさまぐ）

こころおくれ　サ。ヒ。心鈍。こゝろにぶし。源。總角（おぼつかなくおもひつゝすぐすこゝろおくれの、あまりをこがましうもあるなとおもひつゞけられど）

こころおごり　ナ。心驕。こゝろ、おごりたかぶるをいふ。夜寐（まされ、おとりまさりけるまのおぼえて、こゝろおごりすれなどあはなくうらみて）

こころおひ　ナ。心生。おひたち。こゝろのおひたつさま。空穗上吹（草木など、こゝろおひたるをいふ）

こころおぼえ　ナ。心覺。つまりし。ひすれぬおもひ。

こころおもし　サ。ヒ。心重。こゝろかろくしからず。空穗國讓（御こゝろ、おもくおもしますにはあらねど）

こころがかり　ナ。心懸。けねん。まんねい。きがかり。

こころがく　ワ。カタ。シ二。心懸。こゝろにとゞむ。ひすれやしておもふ。世の中ハ、地方にかよりて、こゝろがけるを下一段にいふ。狹衣（年ならへて、こゝろがけるる女の、今年ならなぐと、まちつくせとはいはるると）

こころがけ　ナ。懸心。ようい。こゝろしむ。

こころがける　ワ。カナ。シ二。懸心。こゝろがくを見るべし。

こころがはり　ナ。心變。へんしん。こゝろうつり。多武峯少將物語（ぜんじの君など、かくハのさまふ。御心がはりやしまるるとのさまは、まきなきさまに）

こころがまへ　ナ。心構。ようい。こゝろがけ。狹衣三（かはなくこそ侍るへけれとのきまるを、つれなの御心がまへやと）

こころがへ　ナ。心替。こゝろのとりかへ。古今（こゝろがへ、する物にもが、片戀ハ、苦しき物と、人にしらせん）

こころから　ソ。自心。こゝろより。御堂關白集（色誘き、垣根の花の、なでしこの、心からみや、色ハますらん）

こころがろし　サ。ヒ。心輕。こゝろかろし。こゝろやすし。こゝろがらなり。伊勢（いでていなば、こゝろかるしと、いひやせん、世のありさまを、人ハしらねど）

こころがら　ナ。心柄。こゝろから。こゝろがて。

こころぎえ　ナ。心際。こゝろのきは。こゝろのほど。拾遺（人々、なき物のこゝろぎえなりと、ほめけりとぞ）

こころぎも　ナ。心肝。こゝろとおなじ。宇津保俊蔭（かるをちをみつることと云々、ひとハ、こゝろぎもやすからぬことと、こそハなきさまふなれ）

こころくし　サ。ヒ。心苦。こゝろくるし。万廿

こころくだく　ワ。ヒトリ。シ二。心碎。こゝろもくだくくて、つらく悲しければ、ひとしれず、音をのみぞなく

こころくばり　ナ。心配。まんねい。こゝろのもちひ。

こころぐみ　ナ。心組。ようい。こゝろぐみ。

こころぐるし　サ。ヒ。心苦。こゝろやまし。狹衣

こころくらべ　ナ。心競。こゝろのくらべ。

こころげさう　ナ。心假粧。こゝろづかひ。

こころごと　ナ。心殊。こゝろことなること。

こころごはし　サ。ヒ。心強。こゝろづよし。

こころざし　ナ。志。こゝろむけ。おもひこみ。

こころざし　ナ。贈物。おくりもの。

こころざす　ワ。カナ。ロ。志。こゝろをむく。おもひとむ。

こころさだめ　ナ。心定。こゝろのさだまり。

こころさま　ナ。心樣。こゝろのさま。

こころさむし　サ。ヒ。心寒。こゝろぼそし。

こころさわぎ　ナ。心騷。こゝろさわぎ。むなさわぎ。

こころしづかに ソ。心靜。こころをおちつけて。
こころしらひ ナ。用意。ようい。こゝろがまへ。蒲薩一（こゝろしらひのようい すぎて、いとさかしらなり）
こころしり ナ。心知。たがひに、こゝろをしりあひたるどちなどいふ。空穂國譲（くらうどの少將、こゝろしりの御めのとのもとにいひおこせたまふ）
こころしりに ソ。心知。こゝろをしりゐて。源若菜（大將は、こゝろしりは、あやしとみつる御簾のすきかげ、おもひいづる事やあらんとおもひたまふ）
こころす ワ。ピトリ。カ。心をとどむ。こゝろをもちふ。
こころせき ナ。心急。こゝろのいそぐるゝをいふ。
こころぞへ ナ。心添。こゝろをそへてたすくるをいふ。
こころだかし サ。ヒ。心高。きぐらゐたかし。源合（兵衛の大君のこゝろぐらゐなどはすこしかなはれど）
こころたがひ ナ。心違。こゝろのたがひ。源柏木（例の御こゝろたがひはや、くるしきこともいでこん）
こころだくみ ナ。心匠。こゝろのたくみ。かんがへのちから。山家集（やまくづす、そのちからでは、かたくとも、こゝろだくみをそへてこそはせめ）
こころだつ ワ。ピトリ。ロ。心起。こゝろをおこす。おもひたつ。源若菜（いよく、御こゝろだゝせ給ひて、まづ、かの辨してぞ、かつぐ案内つたへきこえさせたまひける）
こころだて ナ。心立。こゝろだて。こゝろもち。
こころだましひ ナ。心魂。こゝろ。たましひ。いきたるこゝち。源明石（ほのほもえあがりて、らうれやけぬ。こゝろさきもひなくて、あるかぎりまどふ）
こころだらひに ソ。心足。こゝろのたるまでは。こゝろはあくまでは。万六（このみゆる、くもほびこりて、とのぐもり、あめもふらぬか、許己呂太良比爾）
こころちる ワ。ピトリ。四。心散。こゝろせられくはなる。源若菜（花のつゆも、いろく、目うつろひ、心ちりて）
こころづかひ ナ。心遣。こゝろくばり。きんむい。枕草一（女房などの云々、うされじと用意して、常は、うしろをこゝろづかひしさるけしきもなつしきは）
こころづから ソ。心自。こゝろから。後撰（風なさば、まちてぞ花の、ちりなまし、心づからは、移ろふがうさ）
こころづきなし サ。ヒ。無情。おもひやりなし。枕草十二（心づきなきもの、物へゆき、寺へもまうづる日の雨）
こころづく ワ。ピトリ。四。心附。こゝろはさとる。源東屋（いときやうざくはつかうまつらまほしと、心づきておもひきこえしかど云々、まゐりもつかうまつらぬを）
こころづく ワ。カケ。シニ。心附。さとらしむ。こゝろづかしむ。
こころづくし ナ。心盡。こゝろのかぎり。こゝろのありさけ。古今（木の間より、もりくる月の、かげみれば、こゝろづくしの、秋は来にけり）拾千（しらせばや、たのむるよひの、松の戸は、ふけゆく月の、心づくしを）
こころづくろひ ナ。心繕。こゝろがまへ。こゝろのようい。狹衣一（こゝろことなるべき夜の御あそびと、こゝろづくろひしつゝ、とみには、手もふれたまはで）
こころづけ ナ。心附。きづけ。さとし。こゝろざし。
こころづける ワ。カケ。シ。心附。さとらしむ。こゝろづかしむ。
こころづま ナ。心妻。おもひづま。万八（あしびきの、山下とよみ、なく鹿の、ことともしくも、わが情都末）
こころづよし サ。ヒ。心強。こゝろこはし。なさけなし。つれなし。拾遺集（陸奥の、あだちの原の、まゆみこそ、こゝろづよくも、みゆる君かな）空穂あて（かく参りきたまひぬとも、かぎりをおもさじと、こゝろづようおもひて）
こころてい ナ。大概。こゝろぶとは同じ。七一番人歌合（こゝろぶとうり、うらぼんの、なかの秋の、よもすがら、月ぞすますや、わがこころてい）
こころど ソ。自心。こゝろより。元真集（風はのみ、おほせつれども、櫻花、けふわれ心を、ちりそてぬべし）
こころどきめく ワ。ピトリ。ロ。心うごく。むなさわぎす。源総角（中納言は、ひとりふしたまへるを、さるこゝろしけるはやとうれしくて、心ときめきしたまふ）
こころとく ワ。ピトリ。シ二。心解。こゝろやはらぐ。拾遺（きみこふる、なみだのこほる、冬の夜は、こゝろとけたる、いやはねらるゝ）雄略紀（解盤）
こころどもなし サ。ヒ。無利心。ときごころもなし。こゝろするどくなし。万廿（いでゐん、ちからをなみと、こもり居て、きみはこふるは、許己呂度母奈思）
こころどり ナ。心取。きげんとり。源宿木（道の草も、すこし打拂はせ侍らんとし、心とりはきこえ給へど）

こころながし サ。ヒ。心長。こゝろのどやかなり。こゝろゆるやかなり。新古（ふけゆけば、あまつそらなる、くもまなし、こゝろながくぞ、月はみるべき）
こころなぐ ワ。ピトリ。四。心和。こゝろなごむ。こゝろなぐさむ。万廿（そこゆゑは、情奈具やと、あきづけば、むきさきにほふ、いはせ野は、馬たぎゆきて）
こころなぐさに ソ。心慰。こゝろのなぐさめは。万十八（わぎもこが、許己呂奈具佐爾、やらんため、沖津島なる、白玉もがも）同八十（いでてこし、月日よみつゝ、なげくらん、心奈具佐爾、ほとゝぎす、來なく五月の）
こころなし ナ。無心。おもひやりなきひと。源若紫（例の心なしの、かゝるわざをして、さいなまるゝこそ）
こころなし サ。ヒ。無心。なさなし。なさけなし。おもひやりなし。拾玉（山里の、さびしさの音の、なりせば、こゝろなき身も、なりぞてなまし）源紅葉賀（こゝろにくき人はあらじ云々、こゝろなげなるわざしてきこゆるになど、さぶらふひとぐもきこえあへり）
こころならず ソ。心ならず。こゝろやすからず。續後拾（沖津波、よせくる磯の、村千鳥、こゝろならずや、浦つたふらん）拾玉（いなおおろす、清瀧川の、をしかも、こゝろならずや、床をたつらん）
こころならひ ナ。心習。こゝろのならひ。こゝろのならはし。千載（かへりても、いりぞわずらふ、まきの戸を、まどひいでまし、こゝろならひは）
こころにあふ ワ。ピトリ。四。適心。こゝろはかなふ。枕草二（なほ、世はものなげかしう、世の中、心はあそぬこゝちして、すきぐしき心ぞ、かゝるなるまでぞあるべき）
こころにあまる ワ。ピトリ。四。餘心。こゝろはおもひあまる。源早蕨（心はあまる事なら、きさ、誰はされかさらなんとおぼしけびて、兵部卿の宮の御方はまゐり）
こころにいる ワ。ピトリ。四。適心。こゝろはかなふ。万代（梓弓、春の心は、いる物か、たかまど山の、櫻なりけり）
こころにかかる ワ。ピトリ。四。懸心。こゝろはそはれずしておもはる。堀川百首（かみやまの、けやのあるしの、あふひぐさ、こゝろはかゝる、かざしなりけり）源若木（おほすことのみこゝろはかゝりさまへれど）
こころにかく ワ。カケ。シニ。懸心。こゝろはとゞむ。こゝろはわすれずしておもふ。續拾（窓の月、のきの花の、をりく、こゝろはかけて、身をやたのまん）
こころにくし サ。ヒ。心憎。おくゆかし。玉葉上櫻（式部卿の君よりも、こゝろにくゝ、をもしげはものしたまへり）伊勢（むかしこそ、こゝろにくゝもつくりけれ。いまれうちとけて、てづから、いひがひとりて）
こころにとむ ワ。カケ。シ二。留心。こゝろはとめおく。こゝろはいれおく。新千（忘られじな、おやのかふこの、ひきまゆの、こゝろはこむる、おもひありとぞ）
こころにのる ワ。ピトリ。四。乘心。こゝろはさかふ。万二（あづまどの、のざきのまきの、竹の緒は、いもが情爾、乘はけるかも）後拾（秋ぎりの、たつ野の駒を、ひくときは、こゝろはのりて、きみぞこひしき）
こころにもあらで ソ。心ならずも。後拾（心にも、あらでうき世は、ながらへば、戀しかるべき、よはの月かな）
こころね ナ。心根。こゝろのそこ。こゝろのおく。おもひのおく。和泉式部集（こゝろねの、ほどをみするぞ、あやめぐさ、くさのゆかりは、ひきうけぬとも）
こころのいづみ ナ。心泉。こゝろよりわきいづるもの。よみいだすうたなどをいふ。千載ル（しきしまの道もさかりはおこりて、こゝろのいづみ、いにしへよりもふかく、ことばのはやし、むかしよりも茂げし）
こころのおに ナ。心鬼。わがこゝろから、わがこゝろをくるしむるもの。枕草七（かきたらいふく、心の鬼いできて、いひにくゝ侍りなんものをといへど）
こころのきは ナ。心際。こゝろのそこ。こゝろのかぎり。源幻（すくせのほども、みづからのこゝろのきはも、のこりなくみえて、こゝろやすきは）
こころのくま ナ。心隈。こゝろのへだて。こゝろのうちとけぬところ。和泉式部集（いづくまの、來てもかくれん、へだてつる、心のくまの、あらばこそあらめ）
こころのこり ナ。心殘。きがゝり。こゝろののこり。
こころのし ナ。心師。こゝろのちしやう。こゝろななしへみちびくもの。新六（おろかなる、こゝろの師とれ、なりぬ

さも、おもふおもひは、身をなやませし)

こころのしるべ ナ.心指南。こころのまどひ。こころのみちびき。源氏 澪標(たがふべくもあらぬこころのしるべを、おもはずにもおぼめい給ふかな)

こころのすさび ナ.心遊。こころのすさみ。源氏(こころのすさびにまかせて、かくすきずきしきすなり)

こころのすぢ ナ.心筋。おもひのすぢ。玉葉(筆蹟の、わのすさびは、あはれなり、これも心のすぢにみえつつ)

こころのせき ナ.心關。こころの名。肥前にありといふ。六百番歌合(夜をかさね、こころのせきのかたきかな、まされつまりの、そらぬなれねど)

こころのたけ ナ.心丈。こころのありたけ。こころはおもふかぎり。山家集(ものおもふ、こころのたけぞ、あはれなる、よふかく月を、ながめあかして)

こころのたま ナ.心珠。こころのうちのたま。また、こころのつきをいふ。夫木抄(月みれば、やがてたまとの、ねるらむ、こころのたまや、水をさるらん)

こころのつき ナ.心月。さとりたるこころ。佛語にていふことなり。閑花(いさぎよき、こころの月を、あらはして、やみはまどろむ、ひとなからなん)

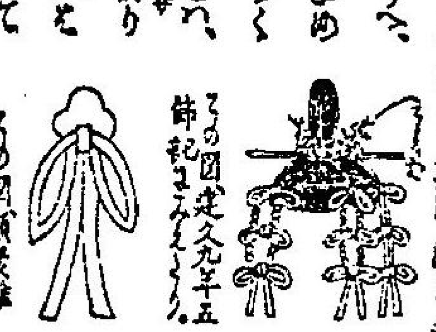
こころのなし ナ.心成。おもひなしに同じ。源氏 宿木(こころのなしにやあらん、今すこしおもおもしく、やんごとなげなるけしきさへそひてまさりてみゆ)

こころのままに ツ.心儘。おもふままに。新古(秋の面に …

こころのみづ ナ.心水。こころをいふ。すみもし、にごりもするなりといふ。新古(…きよきこころの、みづをすまして、…)

こころのやみ ナ.心闇。こころのまよひ。後撰(人の親の、心は闇に、あらねども、子を思ふ道に、まどひぬるかな)

こころば ナ.心葉。かんむりのうへ、まさにかざしの花のむすびめのところ。飾りにつくるつくりもの。されど、後には、つくりものならでも、すべて、飾りにつくる物をいふ。



その圖

こころばしり ナ.心走。こころさわぎ。むなさわぎ。源氏 浮舟(のどかにおもふことのするなき、むなさわぎに、いますこしなりなましものを…)

こころばせ ナ.意。こころ。こころやり。古今(…)まつ間も、日ごろの…こころばせある人を…宇治拾遺(こころばせある人…)天武紀(意)

こころばせびと ナ.意ある人。なさけある人。源氏 夕霧(ことなる事なきこころばせびとなりて…)

こころばへ ナ.意。こころ。こころもち。蜻蛉(八月つごもりに、…そのほどのこころばへしも、ねんごろなるやうなりけり)

こころばづかし サフ.心恥。こころはづかし。すぐれたるひとにあひたるときのこころもちにいふことばなり。源氏(…)

こころひとつ ナ.心一。こころひとつ。後撰(あひみても、心ひとつを…)

こころふかし サヒ.心深。こころふかし。なさけあり。源氏(…)

こころぶと ナ.太凝菜。海草の名。ところてん。歌ふるなぎさ…

こころぼそ サ.心細。こころぼそし。

こころぼそし サヒ.心細。たのみすくなし。この語は、今の語にもいふ。古今(…)源氏…

こころまかせ ナ.任心。こころのままにするをいふ。

こころまちに ツ.心待。こころのうちにまちて。

こころまどひ ナ.心惑。こころのまよひ。後撰(思ひやる、…)

こころみ ナ.試。ためし。和泉式部日記(…)

こころみえ ナ.心見。こころのみえ。後拾(世の常に…)

こころみかし サヒ.心憂。きみわろし。

こころみに ツ.試。ためしに。古今(…)

こころみる ワ.カナ.試。こころむに同じ。紫式部日記(…)

こころむ ワ.カナ.試。ためす。古今(…)

こころむけ ナ.心向。おもひ。こころのむけ。源氏(…)

こころもうせて ツ.心失。こころもきえて。

こころもしのに ツ.心萎。こころもなえて。万葉(…)

こころもち ナ.心持。こころにおぼゆるありさま。

こころもとなし サ.無心許。こころもとなし。

こころもとなげ ナ.こころもとなきさま。

こころやすし サヒ.心安。まさし。むつまじ。

こころやすだて ナ.心安立。…

こころやすめ ナ.心安。…

こころやぶる …

こころやまし サフ.心疾。こころのうちやましき。

こころやむ …

こころやり ナ.遣心。こころをやること。

こころやる ワ.ヒトリ.遣心。こころをやる。

こころゆく ワ.ヒトリ.遣心。こころなぐさむ。万葉(…)

こころゆるび ナ.心緩。こころのゆるみ。

[illegible]

榮花松の下枝（東宮おましませば、ときどき御こゝろは、こゝろゆるびなくくるしとおぼしめしたる）

こゝろようい ナ。心用意。こゝろのようい。こゝろがまへ。

こゝろよし ナ。心鈍。こゝろのにぶきひと。

こゝろよし サ。ヒ。快。こゝちよし。おもしろし。土佐（ゑひどとは、こゝろよげなることをしていでゝけり）

こゝろよせ ナ。心寄。のぞみ。ねがひ。こゝろむけ。空穂樓上（やく、かの御方は、こゝろよせにてありし、大和介なる人をめしいでゝ）宇拾二（いざかいもちひせんといひけるを、このちご、こゝろよせにきゝけり）

こゝろよりほかに ソ。心外。こゝろをいでゝほかに。源帚木（されど、この子もいとをさなし。こゝろよりほかにちりもせば、かろぐしき名さへとりそへん）

こゝろよる ワ。ヒトリ。四。心寄。こゝろむかふ。玉之栞（最上川瀬の白糸くる人の、心よらぬはあらじとぞ思ふ）

こゝろよわし サ。ヒ。心弱。なまけふかくして、こゝろをれやすし。元眞集（ひずるやと、まだしかなおりは、まのぶるは、こゝろよわきは、なみぞなりけり）

こゝろをさく ワ。ヒトリ。シニ。別心。こゝろをさくつ。これをおもひ、かれをおもふ。源蓬生（たゞいまは、兵部卿の御姫よりほかは、心さけきまふかたもなかりけり）

こゝろをおく ワ。ヒトリ。四。置心。きをおく。ゑんりよす。

こゝろをくむ ワ。ヒトリ。四。汲心。おしはかる。續古（諫ぎみさらし川の、底ふかく、心をくみて、誰かはしるらん）

こゝろをどり ナ。心踊。こゝろのをどり。萬葉一（おなかまにおちくぼの君はきくすな。こゝろをどりせんものぞ。かやうのものは、くせはせてたくぞよき）

こゝろをとゞろかす サ。ヒトリ。四。殺心。こゝろをおさへつく。こゝろをなきものにす。元眞集（あひみねは、あはべきものを、あまりぬれば、心をさへぞ、ころしてつる）

こゝろをとる ワ。ヒトリ。四。取心。きげんをとる。金葉（盗人と、いふも理、小夜中に、君が心を、とりに來されど）

こゝゐ ナ。小聲。ちひさきこゑ。かすかなるこゑ。

こさ ナ。蝦夷人の語にて、風の名なりとも、笛の名なりともいへれどさだかならず。夫木廿（こさふかば、曇りもぞする、陸奥の、えぞにはみせじ、秋の夜の月）

こざ ナ。圖。ねやをいふ。下總などにて。

ござ ナ。御座。おまし。おましどころ。源桐壺（くせんざの御座、ひきいれのおとゞの御座、御前にあり）

ござ ナ。御座。おほのなどにておりさるむしろにて、そなさなど、そのたぐひおほし。七一職人歌合（むしろうち、てしまむしろかひさまへ。ござも候ふぞ）

ござい ナ。御座。やらさぶねをいふ。大阪などにて。

ござい ナ。後妻。うそなり。のちぞひ。のちのつま。

ござい ナ。北東風。なつの土用のころふく北東の風を志摩の鳥羽の船人、伊豆の船人などの語なり。

こさいに ソ。巨細。いさいに。くはしく。つまびらかに。

ごさいぞ ナ。ボの名。おでるをいふ。山城などにて。

ごさいゑ ナ。御齋會。正月八日より十四日まで、禁中にて、御斎會は、最勝王經といふを講ぜらるゝ公事。公事根源

こさう ナ。故造。こゝろありて、ことさらにするをいふ。

ござう ナ。五臓。いきものの、むらのなかにあるもの。肝、心、脾、肺、腎のいつゝ。和名（五臓、肝、心、脾、肺、腎也）

こさうじ ナ。小障子。ちひさきしやうじ。源野分（東のこさどのの、小障子のかみより、妻戸のあきたる隙を）

こざうりとり ナ。小草履取。ざうりとり。

こさか ナ。小坂。ちひさきさか。夫木九（水もなき、小坂をおつる、ゆふだちの、たきつ瀬うつる、本の谷川）

こさかし サ。フ。小賢。すこしさかし。さかしだちてみゆ。本久記（あなさぶらひの、一人、御ともに候ひけるが、こざかしく、まやうみやうをすゝめてまつる）

こざかな ナ。小魚。ちひさきうを。

こざき ナ。小前。さきおひをいふ。下文を見るべし。枕草子（上達部のさきども、殿上人のはみじかければ、大さき小さきとききつけてさわぐ。その聲ども、皆きゝしられて、それぞかれぞといふに、又あらずなどいへば、人してみせなどするに）

こさく ナ。小作。ひとの田をかりてたがやすひと。

こさぐ ワ。カク。四。刮。こそぐ。こすりてけづる。

こさくにん ナ。小作人。ひとの田をかりてたがやすひと。

こざけ ナ。醴。あまざけ。ひとよざけ。年中行事歌合（幾千代も、たえずそなへん、みなづきの、けふのこざけも、

君がまにゝ）和名（醴 和名古佐介 一日一宿酒也）

こさごさ ソ。些細なるものごとをいふ。

こざさやま ナ。小笹山。山の名。山城にあり。堀川百首（白露の、櫻坂山を、越くれば、小笹峯に、雪ふりにけり）

こさす ワ。カケ。シニ。來るやうにす。新古（山里は、ひとこさせじと、思はねど、とはるゝ事ぞ、うとくなりゆく）

こさつ ナ。故殺。こゝろありてころすをいふ。

こさとへん ナ。小里偏。からもじの偏の名にて、阜の字を、阝の如くにしるるもの。限、陣、陸、降など。

ござのま ナ。御座間。つねにおましますところ。

こさふく ワ。ヒトリ。四。蝦夷人の語にて、こさといふ風のふくなりとも、また、こさといふ笛をふくなりともいへれどさだかならず。夫木廿（こさふかば、くもりもぞする、みちのくの、えぞにはみせじ、秋の夜の月）

こざふしき ナ。小雜色。ときどきさぶしき。十訓一（堀川右府の御許に參りて、囲碁をうちけり。いつも小雜色一人めしり云々、からはしきに居たりけり）

ござぶね ナ。御座船。たふときひとののるやらさぶね。

こさむらひ ナ。小侍。武家の役の名。かくごに同じ。

こさむらひどころ ナ。小侍所。小侍のゐる役所にて、宿直をそしめて、供奉の人の事などを沙汰するところ。

こさん ナ。古參。ふるくよりまゐりたるもの。

こさん ナ。故山。ふるさと。こきやう。もとすみしところ。

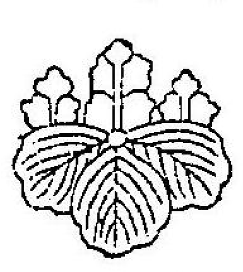
ござん ナ。五山。禪宗の寺にて、京都と鎌倉とにあり。京都の五山は、天龍寺、相國寺、建仁寺、東福寺、万壽寺の五寺をいひ、鎌倉の五山は、建長寺、圓覺寺、壽福寺、淨智寺、淨妙寺の五寺をいふ。

ござん ナ。誤算。ふんちやうちがひ。かぞへぞこなひ。

ござんちく ナ。五三竹。たけの一種。ちひさきものにて、節の、いつゝ、または、みつづゝつらなれるもの。

こさんなれ ワ。こそあるなれ。長門平家（ふしぎの事こさんなれとて、さらば、かのひとの來さらんとき）

ござんのきり ナ。五三桐。もんどころの名。きりの花と葉とをゑがきたるものにて、中の花はいつゝ、左右の花はみつづゝあるゆゑに、五三といふ。



こさめ ナ。小雨。いさゝかふるあめ。万六十（いやひこの、おのれ神さび、青雲の、たなびく日すら、小雨そほふる）

こざら ナ。小皿。ちひさきさら。

こざる ワ。ヒトリ。四。御座在。あり。おはします。

こし ナ。腰。せのまさのところ。宇拾七（年おいて、こしいたくて、庭の拜えずまじければ、えまうでまじきを、雨ふらば、庭の拜もあるまじければ參りなん）

こし ナ。輿。かごのごとくにして、かきあげてかきゆくもの。いまごしなどそのたぐひあり。榮花月宴（香のこし、火のこしなど、みなあるさまなり）

こし ナ。越。ほくこく。越前、越中、越後などのくにぐにをすべていふ。千載（みよし野の、えなのさくらを、けふみれば、こしの志らねに、春風ぞふく）

こし サ。ヒ。濃。いろふかし。あつし。古今（うちつけに、こしとや花の、いろをみん、おくしらつゆの、そむるばかりを）躬恒集（さつしぐれ、ふりそめしより、きくのえな、こかりしいろぞ、まさりける）

こじ ナ。故事。ふること。むかしありしこと。

こじ ナ。居士。おほやけにつかへず、すぐれさるひとの、みづからよぶとなへ。また、戒名の信士のたぐひ。

こじ ナ。巾子。かんむりの、もとゞりをさしいるゝところ。宇拾五十（蝗より、かんむりのこじばかりみえて）

こじ ナ。兀子。こしかけ。志やうぎのたぐひ。建武年中行事（内辨、宣陽殿の兀子につきて、ちさむらをめす）

ごし ナ。五師。僧職の名。源玉鬘（ごしとて、むかし、おやの御かたはらに、大徳のなれるをよびとりて）

ごじ ナ。午時。ひる。まひる。うまのとき。

ごじ ナ。語次。ことぞのつゐで。ことぞのたより。

こしあて ナ。腰當。こしにあつるもの。下文を見るべし。貞丈雜記（腰當といふは、著服の類にあらず。毛皮にて、敷皮のごとくつくり、緒をつけて、うしろ腰にあてて、緒を結ぶなり。これを、引敷をいふなり）

こしあぶら ナ。金漆。こがねいろをつけさるうるし。和名（金漆、開元式云、台州有金漆樹 金漆和名古之阿布良）

こしいた ナ。腰板。こしまなどのこしにつくるいた。

こしいれ ナ。奥入。たゞときひとのよめいり。

ひいらぎ　名。木の名。葉にとげがある。

ひいらぎもち　名。鳥の名。もずの一種。

ひいらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらげる　動。物音をしずめる。

ひいらす　動。物音をしずめる。

ひいらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらめく　動。物音がしずまる。

ひいらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらめる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやか　形。物音がしずまっている。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぐ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやげる　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやす　動。物音をしずめる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやぶ　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやめく　動。物音がしずまる。

ひいらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらやらや

ゐ

ゐ（助）（文語）…である。…だ。（断定の助動詞「なり」の連用形）

さいかち　名　豆科の落葉喬木（初夏の頃、小黄白色の蝶形花を開く。莢果は長さ一尺内外で、内に種子を含む。莢果は洗濯用に、また薬用にする。皂莢）

さいかちあみ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた網。

さいかちいろ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた色。

さいかちぐさ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた草。

さいかちぞめ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めること。

さいかちだけ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた竹。

さいかちづつ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた筒。

さいかちのき　名　皂莢の木。

さいかちのこ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた子。

さいかちのしる　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた汁。

さいかちのみ　名　皂莢の莢果。

さいかちのみのしる　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた汁。

さいかちのみのしるぞめ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めること。

さいかちのみのしるぞめのあみ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた網。

さいかちのみのしるぞめのいと　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた糸。

さいかちのみのしるぞめのこ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた子。

さいかちのみのしるぞめのつつ　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた筒。

さいかちのみのしるぞめのひも　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた紐。

さいかちのみのしるぞめのふで　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた筆。

さいかちのみのしるぞめのまき　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた巻。

さいかちのみのしるぞめのまきもの　名　皂莢の莢果の煎汁で染めた巻物。

さいかちのみのしるぞめのまきものにする　動　皂莢の莢果の煎汁で染めた巻物にする。

さいかちのみのしるぞめのまきものにせる　動　皂莢の莢果の煎汁で染めた巻物にした。

さいかちのみのしるぞめのまきものにせん　動　皂莢の莢果の煎汁で染めた巻物にしよう。

さいかちのみのしるぞめのまきものにせず　動　皂莢の莢果の煎汁で染めた巻物にしない。

さいかちのみのしるぞめのまきものにすれば　動　皂莢の莢果の煎汁で染めた巻物にすれば。

さいかちのみのしるぞめのまきものにすれども　動　皂莢の莢果の煎汁で染めた巻物にするけれども

さいかち　ナ豆科の落葉喬木。（中略）
さいかち　ナ豆科の落葉喬木。（中略）
さいかち　ナ豆科の落葉喬木。（中略）

ぬ
ぬいとり　ぬいとり
ぬいとり　ぬいとり
ぬいとり　ぬいとり

ぬかご　ナ名。葉の腋に生ずる珠芽（むかごとも）

ぬかずく　ナ動。地に頭をつけて礼をする。

ぬかづく　ナ動。額を地につけて礼をする。

ぬかぼし　ナ名。木の名。外国の産で、木の皮を煎じて服すると、花柳病の毒を去るといふ。

ぬかみそ　ナ名。糠に塩を加へて発酵させたもの。漬物に用ゐる。

ぬかみそづけ　ナ名。糠味噌に漬けた漬物。

ぬかよろこび　ナ名。一時だけの喜び。

ぬかりなく　ナ副。油断なく。

ぬかりなし　ナ形。油断がない。

ぬかるみ　ナ名。雨などで地面がどろどろになつた所。

ぬかるむ　ナ動。雨などで地面がどろどろになる。

ぬかるんだ　ナ連体。ぬかるむの連体形。

ぬかるんで　ナ連用。ぬかるむの連用形。

ぬかるんでいる　ナ連体。ぬかるんでゐる。

ぬかるんでゐる　ナ連体。雨などで地面がどろどろになつてゐる。

ぬかるんでゐる　ナ連体。ぬかるんでいる。

ぬかるんだ　ナ連体。ぬかるむの連体形。

ぬかるんで　ナ連用。ぬかるむの連用形。

ぬかるんでいる　ナ連体。ぬかるんでゐる。

ぬかるんでゐる　ナ連体。雨などで地面がどろどろになつてゐ

（ゆ）ゆうべ　ゆうべ　昨夜

（ゆ）ゆうべ　ゆうべ　昨夜

（ゆ）ゆうべ　ゆうべ　昨夜

ひえがわ　十武蔵・相模を流れる川。

ひえぶね　十冷房のために氷を入れておく箱。

ひえまち　十武蔵・相模を流れる川。

ひえもち　十小麦粉などを水でこねて蒸したり焼いたりした食物。

ひえる　ア冷たくなる。

ひえわたる　十冷たくなる。

ひおうぎ　十射芸の的に用いる檜の薄板。

ひおおい　十日覆い。

ひおけ　十氷桶。

ひおこし　十火を起こすこと。

ひおどし　十鎧の威の一種。

ひおり　十火縄銃の火縄を挟む金具。

ひおんな　十火事の多い女。

ひかい　十非会員。

ひかいきょう　十非会員。

ひかいこう　十非会員。

ひかいしゃ　十非会員。

ひかいしゅ　十非会員。

ひかいてき　十非会員。

ひかいとう　十非会員。

ひかいにん　十非会員。

ひかいほう　十非会員。

ひかいめん　十非会員。

ひかいりょう　十非会員。

ひかいろん　十非会員。

ひかえ　十控え。

ひかえい　十控え。

ひかえいた　十控え。

ひかえうち　十控え。

ひかえおり　十控え。

ひかえがき　十控え。

ひかえかべ　十控え。

ひかえかん　十控え。

ひかえきょり　十控え。

ひかえくち　十控え。

ひかえこう　十控え。

ひかえこうじょ　十控え。

ひかえこうじょう　十控え。

ひかえこうじょう　十控え。

ひかえこうじょう

ひらく　木の名。やまざくらの一種。

ひらぐわ　木製の鍬。

ひらのかき　柿の木にあらじと思ふこそ（古今集）

ひらのかき　柿の木にあらじと思ふこそ（古今集）

ひらのかき　柿の木にあらじと思ふこそ（古今集）

ゐ
ゐ（井）ゐ（居）ゐ（猪）ゐ（藺）ゐ（亥）ゐ（射）ゐ（鋳）ゐ（鋳）ゐ（鋳

ゆうべ　ゆうべ　ゆうべ　

ふかいこと　ふかいこと　ふかいこと

ふかいこと　ふかいこと　ふかいこと

ふかいこと　ふかいこと　ふかいこと

ひえる ＊動 冷える。冷たくなる。
ひえわり ＊名 冷割 冷たい水で割ること。
ひえんきょう ＊名 肥厚 皮膚などが厚くなること。
ひおい ＊名 日覆い 日光を遮るために張る幕。
ひおおい ＊名 日覆い 日光を遮るために張る幕。
ひおけ ＊名 桶 水を入れる桶。
ひおこし ＊名 火熾し 火を起こすこと。
ひおこし ＊名 火熾し 火を起こすこと。
ひおこし ＊名 火熾し 火を起こすこと

ねこ　名　猫。ネコ科の哺乳動物。
ねこあし　名　猫足。猫の足のように、先が丸く曲がっていること。また、その形。
ねこいらず　名　猫いらず。猫を殺すために用いる毒薬。
ねこかわいがり　名　猫かわいがり。猫を可愛がるように、甘やかして可愛がること。
ねこぎ　名　根こぎ。草木を根ごと引き抜くこと。
ねこぐるま　名　猫車。土砂などを運ぶ、一輪の手押し車。
ねこじゃらし　名　猫じゃらし。エノコログサの別名。
ねこぜ　名　猫背。背中が丸く曲がっていること。また、その人。
ねこそぎ　名　根こそぎ。残らず全部。
ねこだまし　名　猫だまし。相撲で、相手の目の前で手を打ち鳴らして驚かせる技。
ねこなで　名　猫なで。猫なで声。
ねこなでごえ　名　猫なで声。甘えるような声。
ねこのこ　名　猫の子。子猫。
ねこのした　名　猫の舌。猫の舌のようにざらざらしていること。
ねこのて　名　猫の手。猫の手のように、ちょっとした助け。
ねこのひたい　名　猫の額。猫の額のように、非常に狭いこと。
ねこばば　名　猫ばば。拾ったものや預かったものを、こっそり自分のものにすること。
ねこばばあ　名　猫ばばあ。猫ばばをする女。
ねこばばり　名　猫ばばり。猫ばばをすること。
ねこまた　名　猫又。年を経た猫が化けるという妖怪。
ねこやなぎ　名　猫柳。ネコヤナギ科の落葉低木。
ねこんだ　名　根こんだ。根こんだ汁の略。
ねこんだじる　名　根こんだ汁。
ねさがり　名　根下がり。
ねさげ　名　根下げ。
ねざし　名　根差し。
ねざす　動　根差す。
ねざめ　名　寝覚め。
ねざめがち　名　寝覚めがち。
ねざめる　動　寝覚める。
ねじ　名　捩子。
ねじあい　名　捩じ合い。
ねじあう　動　捩じ合う。
ねじあげる　動　捩じ上げる。
ねじあやめ　名　捩じ菖蒲。
ねじあわせる　動　捩じ合わせる。
ねじいれる　動　捩じ入れる。
ねじえ　名　捩じ絵。
ねじおり　名　捩じ織り。
ねじおる　動　捩じ折る。
ねじかえす　動　捩じ返す。
ねじかえる　動　捩じ返る。
ねじかける　動　捩じ掛ける。
ねじかた　名　捩じ方。
ねじがね　名　捩じ金。
ねじきる　動　捩じ切る。
ねじくち　名　捩じ口。
ねじくる　動　捩じ曲る。
ねじこ　名　捩じ子。
ねじこむ　動　捩じ込む。
ねじこめる　動　捩じ込める。
ねじさく　名　捩じ錠。
ねじしき　名　捩じ敷き。
ねじしめる　動　捩じ締める。
ねじすえる　動　捩じ据える。
ねじすてる　動　捩じ捨てる。
ねじたおす　動　捩じ倒す。
ねじだし　名　捩じ出し。
ねじだす　動　捩じ出す。
ねじたてる　動　捩じ立てる。
ねじつける　動　捩じ付ける。
ねじつぶす　動　捩じ潰す。
ねじとおす　動　捩じ通す。
ねじとばす　動　捩じ飛ばす。
ねじとめる　動　捩じ止める。
ねじなおす　動　捩じ直す。
ねじのぼる　動　捩じ上る。
ねじはずす　動　捩じ外す。
ねじはな　名　捩じ花。
ねじばね　名　捩じ発条。
ねじばり　名　捩じ針。
ねじぶえ　名　捩じ笛。
ねじふせる　動　捩じ伏せる。
ねじまき　名　捩じ巻き。
ねじまげる　動　捩じ曲げる。
ねじまわし　名　捩じ回し。
ねじまわす　動　捩じ回す。
ねじめ　名　捩じ目。
ねじめる　動　捩じ目る。
ねじもどす　動　捩じ戻す。
ねじやま　名　捩じ山。
ねじゆがむ　動　捩じ歪む。
ねじゆがめる　動　捩じ歪める。
ねじゆるむ　動　捩じ緩む。
ねじゆるめる　動　捩じ緩める。
ねじる　動　捩じる。
ねじれ　名　捩じれ。
ねじれる　動　捩じれる。
ねじろ　名　根城。
ねすごす　動　寝過ごす。
ねすごし　名　寝過ごし。
ねすごす　動　寝過ごす。
ねすごせる　動　寝過ごせる。
ねすごせる　動　寝過ごせる

あいかぎ　名　合い鍵。
あいかた　名　相方。
あいがも　名　合鴨。
あいきょう　名　愛嬌。
あいくち　名　合口。
あいこ　名　相子。
あいさつ　名　挨拶。
あいじょう　名　愛情。
あいず　名　合図。
あいそ　名　愛想。
あいそう　名　相場。
あいだ　名　間。
あいだがら　名　間柄。
あいて　名　相手。
あいどく　名　愛読。
あいにく　名　生憎。
あいのこ　名　合の子。
あいば　名　相場。
あいびき　名　逢引。
あいぶ　名　愛撫。
あいぼう　名　相棒。
あいま　名　合間。
あいよく　名　愛欲。
あう　動　合う。
あえて　副　敢えて。
あえん　名　亜鉛。
あおい　形　青い。
あおぐ　動　仰ぐ。
あおじろい　形　青白い。
あおぞら　名　青空。
あおだいしょう　名　青大将。
あおば　名　青葉。
あおむく　動　仰向く。
あおむけ　名　仰向け。
あおもの　名　青物。
あおり　名　煽り。
あおる　動　煽る。
あか　名　赤。
あかい　形　赤い。
あかじ　名　赤字。
あかす　動　明かす。
あかつき　名　暁。
あかぬける　動　垢抜ける。
あかり　名　明かり。
あかるい　形　明るい。
あき　名　秋。
あきかん　名　空き缶。
あきない　名　商い。
あきらか　形　明らか。
あきらめる　動　諦める。
あきる　動　飽きる。
あく　動　開く。
あくしゅ　名　握手。
あくせく　副　あくせく。
あくび　名　欠伸。
あくま　名　悪魔。
あくまで　副　飽くまで。
あくまでも　副　飽くまでも。
あくる　連体　明くる。
あくる　動　明ける。
あくる　動　開ける。
あくる　動　空ける。
あくる　動　飽ける

ほうき　ホウキグサの茎を束ねて作った掃除用具。

ほうきぐさ　ホウキグサ。ヒユ科の一年草。

ほうきぼし　ホウキのような尾を引く彗星。

ほうこう　ホウコウ。方向。

ほうこく　ホウコク。報告。

ほうこくしょ　ホウコクショ。報告書。

ほうさく　ホウサク。豊作。

ほうし　ホウシ。帽子。

ほうしゃ　ホウシャ。放射。

ほうしゃせん　ホウシャセン。放射線。

ほうしゃのう　ホウシャノウ。放射能。

ほうしゅう　ホウシュウ。報酬。

ほうじょう　ホウジョウ。豊穣。

ほうせき　ホウセキ。宝石。

ほうそう　ホウソウ。放送。

ほうそうきょく　ホウソウキョク。放送局。

ほうそく　ホウソク。法則。

ほうたい　ホウタイ。包帯。

ほうちょう　ホウチョウ。包丁。

ほうちょうがき　ホウチョウガキ。包丁書き。

ほうちょうがみ　ホウチョウガミ。包丁紙。

ほうちょうぶみ　ホウチョウブミ。包丁文。

ほうちょうもち　ホウチョウモチ。包丁持ち。

ほうちょうわたし　ホウチョウワタシ。包丁渡し。

ほうてい　ホウテイ。法廷。

ほうどう　ホウドウ。報道。

ほうどうかん　ホウドウカン。報道官。

ほうどうきょく　ホウドウキョク。報道局。

ほうどうしゃ　ホウドウシャ。報道者。

ほうどうじん　ホウドウジン。報道人。

ほうどうせん　ホウドウセン。報道戦。

ほうどうぶ　ホウドウブ。報道部。

ほうどうぶちょう　ホウドウブチョウ。報道部長。

ほうどうぶん　ホウドウブン。報道文。

ほうどうぶんがく　ホウドウブンガク。報道文学。

ほうどうぶんがくしゃ　ホウドウブンガクシャ。報道文学者。

ほうどうぶんがくてき　ホウドウブンガクテキ。報道文学的。

ほうどうぶんがくてきこうかん　ホウドウブンガクテキコウカン。報道文学的交換。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃ　ホウドウブンガクテキコウカンシャ。報道文学的交換者。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたち　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチ。報道文学的交換者たち。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだ　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダ。報道文学的交換者たちの間。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそく　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソク。報道文学的交換者たちの間の約束。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごと　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴト。報道文学的交換者たちの間の約束事。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつ　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つ。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとして　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとして。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげる　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲル。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげる。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべき　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべき。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきこと　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコト。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきこと。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがら　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがら。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつ　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つ。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとして　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえる　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエル。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考える。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべき　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべき。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきこと　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコト。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきこと。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがら　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがら。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつ　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つ。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとして　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえる　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエル。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考える。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべき　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべき。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきこと　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコト。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきこと。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがら　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがら。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつ　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つ。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとして　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえる　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエル。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考える。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべき　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべき。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきこと　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコト。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきこと。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがら　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがら。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつ　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つ。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとして　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえる　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエル。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考える。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべき　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべき。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきこと　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコト。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきこと。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがら　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがら。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつ　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つ。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとして　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえる　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエル。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考える。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべき　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべき。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきこと　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコト。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきこと。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがら　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがら。

ほうどうぶんがくてきこうかんしゃたちのあいだのやくそくごとのひとつとしてあげるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつとしてかんがえるべきことがらのひとつ　ホウドウブンガクテキコウカンシャタチノアイダノヤクソクゴトノヒトツトシテアゲルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツトシテカンガエルベキコトガラノヒトツ。報道文学的交換者たちの間の約束事の一つとしてあげるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つとして考えるべきことがらの一つ。

ゐ

ゐあひ　ア。名。ゐあひのき　ア。名。
ゐあひのき　ア。名。ゐあひ　ア。名。
ゐいだこ　ア。名。
ゐいだこ　ア。名。
ゐいだこ

ゐかき　名・ゐの字の書き方。

ゐかく　名・ゐの字の書き方。

ゐかた　名・ゐの字の書き方。

ゐかたち　名・ゐの字の形。

ゐかたな　名・ゐの字の形。

ゐかたぢ　名・ゐの字の形。

ゐかたぢな　名・ゐの字の形。

ゐかたぢなし　名・ゐの字の形。

ゐかたぢなしの　名・ゐの字の形。

ゐかたぢなしのも　名・ゐの字の形。

ゐかたぢなしのもの　名・ゐの字の形。

ゐかたぢなしのものの　名・ゐの字の形。

ゐかたぢなしのものの　名・ゐの字の形。

ゐかたぢなしのもの

ちゃくしゅ　着手　（囲碁で）最初の一手を打つこと。

ちゃくしょく　着色　色をつけること。

ちゃくすい　着水　飛行機などが水面に降りること。

ちゃくせき　着席　席につくこと。

ちゃくそう　着想　考えを思いつくこと。また、その考え。

ちゃくそう　着装　服装をととのえること。

ちゃくそう　着床　受精卵が子宮壁に付着すること。

ちゃくち　着地　①空中から地面に降りること。②体操競技の一つ。

ちゃくちゃく　着々　物事が順調に進むようす。

ちゃくちゃくすう　着着数　囲碁で、相手の石を取るために打つ手の数。

ちゃくちゅう　着中　的に当たること。

ちゃくてい　着底　①船が海底に着くこと。②株価などが最低の値段になること。

ちゃくてん　着点　①着陸する地点。②囲碁で、次に打つ場所。

ちゃくどう　着道　囲碁で、相手の石を取るために打つ手の道筋。

ちゃくにん　着任　任地に着いて仕事につくこと。

ちゃくばらい　着払い　荷物の受取人が運賃を払うこと。

ちゃくばん　着番　囲碁で、打つ順番。

ちゃくふく　着服　①衣服を身につけること。②他人のものを自分のものにすること。

ちゃくぶん　着文　囲碁で、相手の石を取るために打つ手。

ちゃくもく　着目　①目をつけること。②注目すること。

ちゃくもくてん　着目点　①注目すべき点。②囲碁で、次に打つ場所。

ちゃくよう　着用　衣服を身につけること。

ちゃくりく　着陸　飛行機などが地上に降りること。

ちゃくりくたい　着陸帯　飛行機が着陸するための地帯。

ちゃくりくよく　着陸翼　飛行機の着陸装置。

ちゃくりゅう　着流し　和服で、羽織を着ないこと。

ちゃくれき　着暦　囲碁で、打った手の順番を記録すること。

ちゃくわ　着話　囲碁で、打ちながらする雑談。

ちゃこし　茶こし　茶をこすための網状の器具。

ちゃさい　茶菜　茶と菓子。

ちゃさじ　茶さじ　茶をすくうための小さいさじ。

ちゃしつ　茶室　茶の湯をするための部屋。

ちゃしぶ　茶渋　茶の渋み。

ちゃしゃく　茶杓　茶をすくうための竹製のさじ。

ちゃじゃく　茶じゃく　茶をすくうための小さいさじ。

ちゃじゅ　茶樹　茶の木。

ちゃしゅ　茶種　茶の種。

ちゃしゅ　茶主　茶の湯をもてなす主人。

ちゃしゅう　茶臭　茶のにおい。

ちゃしゅう　茶集　茶の湯の会。

ちゃしょう　茶匠　茶の湯の師匠。

ちゃしょく　茶食　茶菓子。

ちゃしん　茶心　茶の湯の心得。

ちゃすい　茶水　茶の湯に用いる水。

ちゃせき　茶席　茶の湯をするための席。

ちゃせん　茶せん　茶をかきまぜるための竹製の道具。

ちゃだい　茶代　①茶の湯の代金。②チップ。

ちゃだな　茶だな　茶道具をしまうための棚。

ちゃだんす　茶だんす　茶道具をしまうためのたんす。

ちゃちゃ　茶々　①茶の湯。②じゃまをすること。

ちゃちゃいれ　茶々入れ　じゃまをすること。

ちゃつぼ　茶つぼ　茶を入れるための陶器の容器。

ちゃつみ　茶つみ　茶の葉をつむこと。

ちゃつみうた　茶つみ歌　茶つみをするときに歌う歌。

ちゃつみば　茶つみ場　茶の葉をつむ場所。

ちゃつみやま　茶つみ山　茶の葉をつむ山。

ちゃつみをんな　茶つみ女　茶の葉をつむ女。

ちゃづる　茶づる　茶の木のつる。

ちゃどう　茶道　茶の湯。

ちゃどうぐ　茶道具　茶の湯に用いる道具。

ちゃどころ　茶どころ　茶の産地。

ちゃどんや　茶どん屋　茶屋。

ちゃのき　茶の木　茶の葉をとるための木。

ちゃのこ　茶の子　①茶菓子。②朝食前に食べる軽い食事。

ちゃのこさい　茶の子さい　朝飯前。

ちゃのこせき　茶の子石　囲碁で、簡単に取れる石。

ちゃのこぜき　茶の子石　囲碁で、簡単に取れる石。

ちゃのこぜん　茶の子膳　朝食前に食べる軽い食事。

ちゃのこぞめ　茶の子染め　薄い色に染めること。

ちゃのこぞめ　茶の子染め　薄い色に染めること。

ちゃのこぞめ　茶の子染め　薄い色に染めること

そらいろ　名・形動　空の色のような薄い青色。また、その色をしているさま。

そらいろのつき　名　陰暦二月の異称。

そらうた　名　空を題材にした和歌。

そらおそろし　形シク　(「そらおそろしい」とも)　なんとなく恐ろしい。

そらおぼえ　名・自サ変　(「そらおぼえする」とも)　記憶にないことを、あるように言うこと。

そらおぼれ　名・自サ変　(「そらおぼれする」とも)　本心を隠して、知らないふりをすること。

そらおもて　名　空の表面。

そらおもはゆし　形ク　(「そらおもはゆい」とも)　なんとなく気恥ずかしい。

そらおもひ　名　(「そらおもいする」とも)　(1)上の空で思うこと。(2)思いやり。

そらおもひ　名・自サ変　(「そらおもいする」とも)　(1)上の空で思うこと。(2)思いやり。

そらかき　名　(「そらかきする」とも)　(1)上の空で思うこと。(2)思いやり。

そらかきくらす　動サ四　空一面を曇らせる。

そらかきくらす　動サ四　空一面を曇らせる。

そらがき　名　(「そらがきする」とも)　(1)上の空で思うこと。(2)思いやり。

そらがきくらす　動サ四　空一面を曇らせる。

そらがく　名　(「そらがくする」とも)　(1)上の空で思うこと。(2)思いやり。

そらがくくらす　動サ四　空一面を曇らせる。

そらがくする　動サ変

かいこう ＊開業 ものの売買を始めること。

かいこう ＊開港 外国との貿易のために港を開くこと。

かいこう ＊開校 学校を開くこと。

かいこう ＊開講 講義を始めること。

かいこう ＊開口 口

さか

さかあがり　逆上がり　鉄棒などにぶらさがった姿勢から、体を前方に回転させて上がること。

さかあがる　逆上がる　逆上がりをする。

さかあし　逆足　①左右の足のうち、ふだんあまり使わない方の足。②逆方向に進む足。

さかいし　境石　境界のしるしとして置いた石。

さかいめ　境目　①境界のあたり。②物事の変わり目。

さかうち　逆打ち　①逆の順序で打つこと。②逆の方向から打つこと。

さかえ　栄え　栄えること。繁栄。

さかえる　栄える　①勢いが盛んになる。繁栄する。②美しく目立つ。

さかおとし　逆落とし　①高い所から逆さまに落とすこと。②急な坂を一気に下ること。

さかおり　逆織り　織物で、通常とは逆の方向に織ること。

さかがき　逆書き　①逆の順序で書くこと。②逆さまに書くこと。

さかがり　逆刈り　稲などを、通常とは逆の方向に刈ること。

さかき　榊　神事に用いる常緑樹の総称。

さかぎり　逆切り　①逆の順序で切ること。②逆の方向から切ること。

さかく　逆く　逆らう。

さかくだり　坂下り　坂を下ること。

さかげ　逆毛　①逆立った毛。②逆なでするような態度。

さかごと　逆言　①道理に反した言葉。②逆さまに言うこと。

さかさ　逆さ　①逆の状態。②逆の順序。

さかさかい　逆さ飼い　動物を逆さまにして飼うこと。

さかさがき　逆さ書き　①逆の順序で書くこと。②逆さまに書くこと。

さかさかぜ　逆さ風　逆風。

さかさき　逆さ木　①逆さまに植えた木。②逆さまに書いた文字。

さかさぎり　逆さ霧　霧が下から上へ立ち昇ること。

さかさごと　逆さ事　①道理に反したこと。②逆さまにすること。

さかさごと　逆さ言　逆言。

さかさじま　逆さ縞　織物で、通常とは逆の方向に縞を織ること。

さかさず　逆さ図　①逆さまに描いた図。②逆の順序で描いた図。

さかさつき　逆さ月　①逆さまに見える月。②陰暦の月の終わり。

さかさづり　逆さ吊り　逆さまに吊ること。

さかさて　逆さ手　①逆の手。②逆さまにした手。

さかさに　逆さに　①逆さまに。②逆の順序で。③反対に。

さかさぬい　逆さ縫い　①逆の順序で縫うこと。②逆さまに縫うこと。

さかさね　逆さ寝　①逆さまに寝ること。②逆の方向に寝ること。

さかさの　逆さの　①逆さまの。②逆の順序の。

さかさのぼり　逆さ上り　逆さまに上ること。

さかさばら　逆さ腹　①逆さまに生まれた子。②逆子。

さかさびき　逆さ引き　①逆の順序で引くこと。②逆さまに引くこと。

さかさぶね　逆さ船　①逆さまに進む船。②逆風。

さかさまつ　逆さ松　①逆さまに植えた松。②逆さまに書いた文字。

さかさまつげ　逆さまつげ　逆さまに生えたまつげ。

さかさまつり　逆さ祭り　①逆の順序で行う祭り。②逆さまにする祭り。

さかさまに　逆さまに　①逆さまに。②逆の順序で。③反対に。

さかさまの　逆さまの　①逆さまの。②逆の順序の。

さかさまもの　逆さまもの　①逆さまにしたもの。②逆さまに書いた文字。

さかさまわざ　逆さまわざ　①逆の順序で行うこと。②逆さまにすること。

さかさみち　逆さ道　①逆の方向に進む道。②逆さまに書いた道。

さかさめ　逆さ目　①逆さまの目。②逆の順序。

さかさもの　逆さもの　①逆さまにしたもの。②逆さまに書いた文字。

さかさや　逆さ矢　①逆さまに射る矢。②逆風。

さかさゆき　逆さ雪　①逆さまに降る雪。②逆さまに見える雪。

さかさよみ　逆さ読み　①逆の順序で読むこと。②逆さまに読むこと。

さかさわざ　逆さわざ　①逆の順序で行うこと。②逆さまにすること。

さかし　賢し　①賢い。②利口だ。③生意気だ。

さかしい　賢しい　賢し。

さかしがる　賢しがる　賢そうに振る舞う。

さかしげ　賢しげ　賢そうなさま。

さかしさ　賢しさ　賢いこと。

さかしだち　賢しだち　賢そうに振る舞うこと。

さかしら　賢しら　①賢いこと。②利口ぶること。③生意気なこと。

さかしらがる　賢しらがる　賢しがる。

さかしらごと　賢しらごと　①賢しらな言葉。②利口ぶること。

さかしらだち　賢しらだち　賢しだち。

さかしらびと　賢しらびと　①賢しらな人。②利口ぶる人。

さかしらぶる　賢しらぶる　賢しがる。

さかしらめく　賢しらめく　賢しがる。

さかしらもの　賢しらもの　①賢しらな人。②利口ぶる人。

さかしらわざ　賢しらわざ　①賢しらな行為。②利口ぶること。

さかしらをする　賢しらをする　賢しがる。

さかしらをやく　賢しらをやく　賢しがる。

さかしらをやける　賢しらをやける　賢しがる。

さかしらをやめる　賢しらをやめる　賢しがるのをやめ

かなかなし　ナ形　悲しくてたまらない。

かなかなぜみ　名　セミの一種。

かなかなと　副　カナカナと鳴くセミの声。

かなかなと　副　カナカナと鳴くセミの声。

かなかなぜみ　名　セミの一種。

かなかなし　ナ形　悲しくてたまらない。

かなかなぜみ　名　セミの一種

ものがたり　名・他サ　物語。

ものがたりぶみ　名　物語。

ものがたりまき　名　物語。

ものがたりめく　動カ四　物語のようである。

ものがたる　動ラ四　物語る。

ものがち　名・形動ナ　物がち。

ものがなし　形ク　物がなしい。

ものがなしさ　名　物がなしさ。

ものがなしげ　形動ナ　物がなしげ。

ものがなしさ　名　物がなしさ。

ものがなしび　名　物がなしさ。

ものがなしむ　動マ四　物がなしむ。

ものがなしめく　動カ四　物がなしげである。

ものがなしやか　形動ナ　物がなしげ。

ものがら　名　物柄。

ものがらし　名　物がらし。

ものがらす　動サ四　物がらす。

ものがらす　動サ四　物がらす。

ものがらす　動サ四　物がらす

ものがたり　ア・ナレーション。物語ること。また、その話。

ものがたる　ア・他。物語る。

ものがなしい　ア・形。悲しい感じがする。

ものがら　ア・名。人の性質。

ものぐさ　ア・形動。めんどうがって、なまけること。

ものごい　ア・名。人にものをもらうこと。

ものごし　ア・名。人に対する態度。

ものごと　ア・名。事柄。

ものさし　ア・名。物の長さを測る道具。

ものさびしい　ア・形。なんとなく寂しい感じがする。

ものしずか　ア・形動。静かなこと。

ものしり　ア・名。物事をよく知っていること。

ものずき　ア・名。変わったことを好むこと。

ものすごい　ア・形。恐ろしい感じがする。

ものたりない　ア・形。満足できない。

ものまね　ア・名。他人の言動をまねること。

ものもらい　ア・名。まぶたにできる小さな腫れもの。

ものやわらか　ア・形動。物腰がやさしいこと。

ものわかれ　ア・名。別れること。

ものわかり　ア・名。物事の道理を理解すること。

ものわかれ　ア・名。別れること。

ものわすれ　ア・名。物事を忘れること。

ものわらい　ア・名。笑いもの。

もはや　ア・副。すでに。

もはん　ア・名。模範。

もふく　ア・名。喪服。

もみ　ア・名。植物の名。

もみあう　ア・他。互いに争う。

もみあげ　ア・名。耳の前の髪の毛。

もみがら　ア・名。籾の殻。

もみじ　ア・名。秋に葉が赤くなること。また、その葉。

もみじがり　ア・名。紅葉を見に行くこと。

もみじばな　ア・名。紅葉の美しい花。

もみじまんじゅう　ア・名。菓子の名。

もみじやま　ア・名。紅葉の美しい山。

もみすり　ア・名。籾を玄米にする機械。

もみだす　ア・他。心を乱す。

もみで　ア・名。植物の名。

もみのき　ア・名。植物の名。

もみまち　ア・名。陰暦十六夜の月。

もみゆ　ア・自。紅葉する。

もめごと　ア・名。争いごと。

もめる　ア・自。争いが起こる。

もめん　ア・名。綿糸で織った布。

もも　ア・名。植物の名。また、その実。

ももいろ　ア・名。桃の花のような色。

ももくさ　ア・名。植物の名。

ももくさのかみ　ア・名。古語。

ももしき　ア・名。宮中。

ももたろう　ア・名。昔話の主人公。

ももとせ　ア・名。百年。

ももとり　ア・名。鳥の名。

ももにく　ア・名。太ももの肉。

ももひき　ア・名。下着の一種。

ももまつ　ア・名。植物の名。

ももやま　ア・名。桃の実のような形の山。

もや　ア・名。霧のようなもの。

もやう　ア・他。船をつなぐ。

もやし　ア・名。豆などを発芽させたもの。

もやす　ア・他。燃やす。

もやもや　ア・副。はっきりしないさま。

もよう　ア・名。模様。

もよおし　ア・名。催し。

もよおす　ア・他。催す。

もよおす　ア・他。感じる。

もより　ア・名。近所。

もらい　ア・名。受け取ること。

もらいご　ア・名。貰い子。

もらいて　ア・名。貰い手。

もらいなき　ア・名。貰い泣き。

もらいび　ア・名。貰い火。

もらう　ア・他。受け取る。

もらす　ア・他。漏らす。

もり　ア・名。守ること。

もり　ア・名。森。

もり　ア・名。魚を突く道具。

もりあがる　ア・自。盛り上がる。

もりあげる　ア・他。盛り上げる。

もりあわせ　ア・名。盛り合わせ。

もりあわせる　ア・他。盛り合わせる。

もりかえす　ア・他。盛り返す。

もりかえる　ア・他。盛り返す。

もりかえる　ア・自

ねいしょう　名　年齢。よわい。

ねいしょう　名　年齢。よわい。

ねいしょう　名　年齢。よわい。

ゐこじ　名　(植物)　ヒユ科の一年草。茎は赤く、葉は卵形で互生する。秋に穂状の花を開く。

ゐこつ

あいうえお　十五音の名。あいうえおの順。

あいうえおじゅんばん　十五音の順番。

あいうえおじゅんばんひょう　十五音の順番表。

あいうえおじゅんばんひょうをつくる　十五音の順番表を作る。

あいうえおじゅんばんをつける　十五音の順番をつける。

あいうえおじゅんばんをつけるしごと　十五音の順番をつける仕事。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをする　十五音の順番をつける仕事をする。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしている　十五音の順番をつける仕事をしている。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところ　十五音の順番をつける仕事をしているところ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところです　十五音の順番をつける仕事をしているところです。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよね　十五音の順番をつける仕事をしているところですよね。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおい　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおい。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばん　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばん。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおい　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおい。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばん　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばん。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおい　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおい。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばん　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばん。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおい　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおい。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばん　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばん。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおい　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおい。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえお　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえお。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばん　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばん。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょう。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくる。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごと。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをする。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしている。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところです。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよ。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね　十五音の順番をつける仕事をしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよね。

あいうえおじゅんばんをつけるしごとをしているところですよねえおいうえおじゅんばんひょうをつくるしごとをしているところですよねえおいうえおじ

ゐ（井）ナ名 ㊀井戸。㊁井戸のように、地面を掘り下げてつくったもの。㊂井戸のように、まわりを囲んだもの。㊃井戸のように、まわりを囲んだもの。㊄井戸のように、まわりを囲んだもの。

ゐ（猪）ナ名 ㊀いのしし。㊁いのしし。

ゐ（居）ナ名 ㊀すわること。㊁すわること。

ゐ（藺）ナ名 ㊀いぐさ。㊁いぐさ。

ゐ（亥）ナ名 ㊀いのしし。㊁いのしし。

ゐ（位）ナ名 ㊀くらい。㊁くらい。

ゐ（威）ナ名 ㊀おどし。㊁おどし。

ゐ（為）ナ名 ㊀ため。㊁ため。

ゐ（意）ナ名 ㊀こころ。㊁こころ。

ゐ（医）ナ名 ㊀いしゃ。㊁いしゃ。

ゐ（異）ナ名 ㊀ことなること。㊁ことなること。

ゐ（遺）ナ名 ㊀のこすこと。㊁のこすこと。

ゐ（慰）ナ名 ㊀なぐさめること。㊁なぐさめること。

ゐ（緯）ナ名 ㊀よこいと。㊁よこいと。

ゐ（衣）ナ名 ㊀ころも。㊁ころも。

ゐ（依）ナ名 ㊀よること。㊁よること。

ゐ（偉）ナ名 ㊀えらいこと。㊁えらいこと。

ゐ（維）ナ名 ㊀つなぐこと。㊁つなぐこと。

ゐ（違）ナ名 ㊀ちがうこと。㊁ちがうこと。

ゐ（囲）ナ名 ㊀かこむこと。㊁かこむこと。

ゐ（委）ナ名 ㊀ゆだねること。㊁ゆだねること。

ゐ（為）ナ名 ㊀ため。㊁ため。

ゐ（胃）ナ名 ㊀いぶくろ。㊁いぶくろ。

ゐ（尉）ナ名 ㊀じょう。㊁じょう。

ゐ（謂）ナ名 ㊀いうこと。㊁いうこと。

ゐ（移）ナ名 ㊀うつること。㊁うつること。

ゐ（萎）ナ名 ㊀しおれること。㊁しおれること。

ゐ（椅）ナ名 ㊀いす。㊁いす。

ゐ（彙）ナ名 ㊀あつめること。㊁あつめること。

ゐ（畏）ナ名 ㊀おそれること。㊁おそれること。

ゐ（倚）ナ名 ㊀よること。㊁よること。

ゐ（蔚）ナ名 ㊀しげること。㊁しげること。

ゐ（磯）ナ名 ㊀いそ。㊁いそ。

ゐ（鬱）ナ名 ㊀しげること。㊁しげること

まいあさ　名　毎朝。
まいおち　名　毎落。
まいかい　名　毎回。
まいかげつ　名　毎月。
まいかた　名　毎方。
まいかたち　名　毎形。
まいかたまり　名　毎塊。
まいかたむき　名　毎傾。
まいかたよる　名　毎偏。
まいかたり　名　毎語。
まいかたる　名　毎語。
まいかたわら　名　毎傍。
まいかたん　名　毎嘆。
まいかたんする　名　毎嘆。
まいかたんず　名　毎嘆。
まいかたんせず　名　毎嘆。
まいかたんせる　名　毎嘆。
まいかたんせん　名　毎嘆。
まいかたんそ　名　毎嘆。
まいかたんそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそくず　名　毎嘆。
まいかたんそくせず　名　毎嘆。
まいかたんそくせる　名　毎嘆。
まいかたんそくせん　名　毎嘆。
まいかたんそくそ　名　毎嘆。
まいかたんそくそう　名　毎嘆。
まいかたんそく　名　毎嘆。
まいかたんそくする　名　毎嘆。
まいかたんそく

べ、野邊のをなはや、みぞれのひなん）

さしはさむ　ワ。カナ四。挿。挾。さしてはさむ。あひだにさしてもつ。土佐（ひやゝさんを、あるもの、夜の間とて、ふなやかたにさしはさめりけれど）

さしはなつ　ワ。カナ四。差放。はなつに同じ。源空蝉（あさ、かゝきなりとも、みてはうちとされぬべきさまのしさまれば、えさしはなちへまはず）

さしはへ　ツ。故さらに。ことさらに。大和（女は、京に來なけり。さしはへ、いつこともなくて來ざれど）

さしはへたる　サ。故さらなる。ことさらなる。源空蝉（さしはへたる御文にはあらで、たゞ、手ならひのやうに）

さしはへて　ツ。故さらに。ことさらに。拾遺（玉江こぐ、菰刈船の、さしはへて、波間もあらば、よらんとぞ思ふ）

さしひかふ　ワ。ヒトリ。シ二。差扣。つつしむに同じ。この語は、地方によりては、さしひかへるを下一段にいふ。

さしひかへ　ナ。差扣。とがめ。つゝしみ。

さしひかへる　ワ。ヒトリ。シ一。差扣。さしひかふを見るべし。

さしひき　ナ。差引。ますとひくと。又、かけひきをいふ。

さしひびき　ナ。差響。えいきやうを見るべし。

さしぶ　ナ。木の名。さしぶのきに同じ。字鏡（烏草樹（佐之夫））

さしぶのき　ナ。烏草樹。木の名。木の狀、なとし、ひさかきに似て、ちひさき實をむすぶ。實は熟するときは、黑くむらさきだちといふ。和名（烏草樹佐之夫乃紀）

さしまかなふ　ワ。カナ四。差賄。まかなふに同じ。

さします　ワ。カナ四。差増。ますに同じ。葉花海々の（よろづさしましつゝ。おそれに添すれど）

さしまねく　ワ。カナ四。差招。さしてまねく。

さしまはす　ワ。カナ四。差廻。めぐらす。つかはす。

さしみ　ナ。刺身。料理にいふことば。魚の肉の、うすくすきゝりにきりたるもの。庖丁聞書（かつをのさしみ）

さしみづ　ナ。差水。ほかよりさしいりたるみづ。

さしむかひ　ナ。差向。たゞ、ふたりのみにてむかひゐるをいふ。源夕顏（六條わたりにも、なにごころもなきさしむかひを、あはれとおぼすまゝに）

さしむかふ　ワ。ヒトリ。ロ。差向。さしむかひにてあり。源玉鬘（うらがなしくもとほく來にけるかなとうたふをきくまゝに、ふたりさしむかひてなきけり）

さしむき　ソ。差向。さしあたり。まのあたりに。

さしむく　ワ。ヒトリ。ロ。差向。そのかたにむく。

さしめ　ナ。尺目。ものさしにきざしたるめ。

さしも　ナ。草の名。よもぎに同じ。夫木抄（下野や、しめぢが原の、草隠、さしもはなしに、もゆるおもひぞ）

さしも　ソ。然りとも。さやうにも。源朝顏（さぶらふひとゞの、さしもあらぬきはのことをさへ）

さしもぐさ　ナ。艾名。よもぎに同じ。後拾（かくとだに、えやは伊吹の、さしも草、さしもしらじな、燃ゆる思ひを）

さしもつる　ワ。ヒトリ。シ二。差縺。いりくむ。あらそひとなる。

さしもつれ　ナ。差縺。ごたく。ものあらそひ。

さしもの　ナ。刺物。ぬりをつきさして縫ふもの。

さしもの　ナ。指物。いくさのとき、鎧の背のところにさす、小旗のたぐひにて、めじるしにもちふるもの。

さしもの　ナ。指物。はこのたぐひのさいく。

さしものざいく　ナ。指物細工。さしものをするさいく。

さしものし　ナ。指物師。さしものを、業とするひと。

さしものや　ナ。指物屋。さしものを、業とするいへ。

さしや　ナ。差矢。矢の名。下文を見るべし。貞丈雜記（差矢矢といふは、篦を、矢箆にして、羽は、鴨の第二の羽にてはぐ。根は、木にてつくる。まきわら矢のごとし。この矢は、三十三間堂の通矢などにもちふるなり）

さじやう　ナ。座上。座のうへ。まとゐのむしろ。

さしやる　ワ。カナ四。差遣。つきやる。おしやる。源紅葉賀（かきあはせばかりひきてさしやりたまへれば、えゑじもはてず、いとうつくしうひきたまふ）

さしよく　ナ。坐食。ゐぐひを見るべし。

さしよる　ワ。ヒトリ。ロ。差寄。よる。ちかよる。源末摘花（かきをらひさしとおもひて、さしよりてきこゆ）

さしわく　ワ。カナ四。差別。とりわく。源若紫（人をしもさしわきて、そらごひをしつゝかくのたまふを）

さしわたし　ナ。直徑。すぐにさしたるへだゝり。

さしわたる　ワ。ヒトリ。四。棹渡。さをさしてわたる。源浮舟（ちひさき船にのり給ひて、さしわたり給ふほど）

さしゑ　ナ。挿繪。ふみのうちに、ところどころにかきたるゑ。

さす　ナ。朸。あふこをいふ。四國などにて。

さす　ワ。カナ四。刺。螫。插。鎖。つきいる。つきこむ。さしはさむ。とざす。千載（ときはなる、かみなび山の、さかき葉を、さしてぞいのる、よろづ代のため）催馬樂（みかどのかひも、とざしも、あらばこそ、そのとのと、われさゝめ、おしひらいて來ませ）和名（教訓、佐須、鎖蹈蹻行也）

さす　ワ。カナ四。指。そのむきにむかふ。土佐（二十七日、おほつより、浦戸をさしてこぎいづ）

さす　ワ。カナ四。點。つく。ともす。源夕顏（ちそくさしてまゐれ。ずゐじんも、つるうちして、たえずこゑづくれ）

さす　ワ。カナ四。差。つかはす。竹取（ちよくし、少將高野のおほくにといふひとをさして）

さす　ワ。カナ四。翳。かざす。後撰（さしてこそ、思ひしものを、三笠山、かひなく雨の、もりにけるかな）

さす　ワ。カナ四。棹。ふねのさををつかふ。土佐（竿させど、そこひもしらぬ、わたつみの、深き心を、君にみえつゝ）

さす　ワ。カナ四。刺。おもせばひにはふ。万六（からくにの、虎ちふ神を、いけどりに、やつとりもち來、その皮を、たゝみに刺、やへだゝみ、へぐりのやまに）

さす　ワ。カナ四。鎖。むすぶ。かまへなす。万十（あしからの、をてもこのもに、佐須わなの、かなるましづみ、ころあれひもとく）鎖花（いほりさす、ならの木蔭に、もる月の、くもるとみれば、しぐれふるなり）

さす　ワ。カナ四。鬪。たゝかはす。將棊にいふことばなり。守武獨吟千句（さやうさささず）

さす　ワ。カナ四。獻。たてまつる。酒盛の時の盃にいふ語なり。伊勢（歌よみて、盃はさせをのさまひければ）

さす　ワ。ヒトリ。四。映。ひかりうつりきたる。拾遺（名のみして、山は三笠も、なかりけり、朝日夕日の、さすをいふなる）玉葉（朝日のなゝめにさしたるは、前栽の露もこぼるばかりぬれかゝりたるもいとをかし）

さす　ワ。ヒトリ。四。生。いでく。草木のうへにいふことばなり。枕草（二葉にて、またひきうゑし、まつの木の、えださすまでは、あひにけるかな）

さす　ワ。ヒトリ。四。潮。満ちてきたる。潮にいふことばなり。

さす　ワ。カケ。シ二。令爲。なさしむ。この語は、地方によりては、させるを下一段にいふ。枕草（袖をとらへて、とうさいをさせず）字拾も（ものいはせ、事さすときくぐ、げに、とく出でてあそばせたる女人なと）

さす　ワ。タスケ。ワ。レ二の令爲。さむ。作用言を、命令のこゝろ崇徴のこゝろにいふにもちふ。また、この語は、地方によりては、させるを下一段にいふ。新古（やまざとは、ひとを來させじと、ほどねど、とはるゝ事ぞ、うとくなりゆく）金葉（後三條院、かくれさせおはしましまして）

さす　ワ。ワ。四の中止。なかばにしてさしおく。伊勢（おのく親ありければ、包みて、いひさしてやみにけり）

ざす　ナ。座主。比叡山延暦寺の長たる僧にて、天台宗のすべての事をすぶる職なり。されば、おほくは、法親王をもて補せられたり。源若菜（山の座主よりはじめて、御いむことのあざり、三人さぶらひて）

さす　ナ。魚の名。さばをいふ。加賀などにて。

さすえ　ナ。棬。まげものゝたぐひなり。木をまげてつくりたるものなりといへり。和名（棬、孫愐切韻云、器似斗、屈木爲之、楊氏漢語抄云、棬、佐須江、盃類也）

さすが　ナ。刺刀。こがたなをいふ。いにしへは、つねに、ひうちにそへたりとぞ。後撰（みちのくにへまかりける、人に、ひうちをつゝむすとて、をりくに、うちてたく火の、煙あらば、心さすがを、しのべとぞおもふ）

さすが　ツ。然りすがに。さりながらも。さやうにはいふものの。新古（くまの川、くだすはやせの、みなれざをさすがみなれぬ、なみのかよひ路）

さすがに　ツ。然りすがに。さりながらも。さやうにはいへどものの。伊勢（あまぐもの、よそにもひとの、なりゆくか、さすがに目には、みゆるものから）

さすがね　ナ。鎖金。かけがねに同じ。源夕霧（このさよりこそ、さすがねなどもあれ。いとをりなくて、あらくしくれ、えひきあくべくもあらぬものしたまはねど）

さすがは　ツ。然りすがは。さすがには。

さすがり　ナ。八道行成。やさすかりをいふ。信濃にて、

さずき　ナ。假庪。さじき。神代紀（假庪、此云佐受枳）

さすたけの　マクラ。刺竹之。きみ、みや、とねりなどにかけていへど、そのよしさだかならず。推古紀（親なしに、

あいかた　名　相方。
あいかぶ　名　相棒。
あいかわらず　副　変わらず。
あいきょう　名　愛嬌。
あいくち　名　短刀。
あいこ　名　同じ。
あいさつ　名　挨拶。
あいず　名　合図。
あいそ　名　愛想。
あいそう　名　相場。
あいだ　名　間。
あいだがら　名　間柄。
あいて　名　相手。
あいにく　副　生憎。
あいのこ　名　混血児。
あいびき　名　逢引。
あいぼう　名　相棒。
あう　動　会う。
あえて　副　敢えて。
あおい　形　青い。
あおぐ　動　仰ぐ。
あおじろい　形　青白い。
あおぞら　名　青空。
あおむく　動　仰向く。
あおむけ　名　仰向け。
あおもの　名　青物。
あか　名　垢。
あかい　形　赤い。
あかじるし　名　赤印。
あかす　動　明かす。
あかつき　名　暁。
あかぬける　動　垢抜ける。
あかり　名　灯。
あかるい　形　明るい。
あき　名　秋。
あきかぜ　名　秋風。
あきない　名　商い。
あきらか　形　明らか。
あきらめる　動　諦める。
あきる　動　飽きる。
あく　動　開く。
あくしゅ　名　握手。
あくせく　副　あくせく。
あくび　名　欠伸。
あくま　名　悪魔。
あくまで　副　飽くまで。
あくる　動　明ける。
あくる　連体　明くる。
あけがた　名　明け方。
あけぼの　名　曙。
あける　動　明ける。
あげる　動　上げる。
あご　名　顎。
あさ　名　朝。
あさい　形　浅い。
あさがお　名　朝顔。
あさって　名　明後日。
あさひ　名　朝日。
あさましい　形　浅ましい。
あさめし　名　朝飯。
あさゆう　名　朝夕。
あざやか　形　鮮やか。
あし　名　足。
あじ　名　味。
あしおと　名　足音。
あしくび　名　足首。
あしもと　名　足元。
あす　名　明日。
あずかる　動　預かる。
あずける　動　預ける。
あせ　名　汗。
あせる　動　焦る。
あそこ　代　あそこ。
あそび　名　遊び。
あそぶ　動　遊ぶ。
あたい　名　値。
あたえる　動　与える。
あたかも　副　恰も。
あたたかい　形　暖かい。
あたたまる　動　暖まる。
あたま　名　頭。
あたらしい　形　新しい。
あたり　名　辺。
あたる　動　当る。
あちこち　名　あちこち。
あつい　形　暑い。
あつい　形　厚い。
あつかう　動　扱う。
あつまる　動　集まる。
あつめる　動　集める。
あつらえる　動　誂える。
あて　名　宛。
あてる　動　当てる。
あと　名　後。
あとかた　名　跡形。
あとつぎ　名　跡継。
あとで　副　後で。
あとまわし　名　後回し。
あな　名　穴。
あなた　代　あなた。
あに　名　兄。
あね　名　姉。
あの　連体　あの。
あばれる　動　暴れる。
あびる　動　浴びる。
あぶない　形　危い。
あぶら　名　油。
あぶる　動　炙る。
あふれる　動　溢れる。
あまい　形　甘い。
あまど　名　雨戸。
あまやかす　動　甘やかす。
あまり　副　余り。
あみ　名　網。
あめ　名　雨。
あやまる　動　謝る。
あやまる　動　誤る。
あやまる　動　過る。
あやまる　動　誤る。
あやまる　動　謝

さいかち ㊥ 豆科の落葉高木。
さいかん ㊥ 才幹。
さいき ㊥ 才気。
さいきょ ㊥ 才女。
さいく ㊥ 細工。
さいくつ ㊥ 採掘。
さいくん ㊥ 細君。
さいけい ㊥ 才芸。
さいけつ ㊥ 採決。
さいけん ㊥ 債権。
さいげん ㊥ 際限。
さいこ ㊥ 在庫。
さいこう ㊥ 採鉱。
さいこう ㊥ 採光。
さいこう ㊥ 最高。
さいこう ㊥ 再考。
さいこう ㊥ 再興。
さいこう ㊥ 再校。
さいこう ㊥ 再稿。
さいこう ㊥ 再講。
さいこう ㊥ 再航

そ

そいね　名　苧麻の根。

そいん　名　苧麻の糸。

そうえ　名　苧麻の衣。

そうか　名　苧麻の花。

そうきん　名　苧麻の布巾。

そうこ　名　苧麻の古布。

そうしょく　名　苧麻の織物。

そうせん　名　苧麻の糸。

そうぞく　名　苧麻の着物。

そうぞく　名　苧麻の着物。

そうぞく　名　苧麻の着物

神はそなふるこゝろぞへなり。枕草十（さむがしきもの云々、板屋のうへにて、烏の、斎のさばくらふ）塵芥三（木曾の、散飯の外には、何ものこさずくひをそん（ぬ）

さぞ　ナ。婆娑。ちやぶ。ひとのよのなか。源若菜（さぞの外の岸にいさりて、とくおひみん事をおぼせ）

さぞ　ナ。然らあらば。新古（身はかへて、いざさば秋を、をしみみん、さらでももろき、露のいのちを）

さぞあららぎ　ナ。澤蘭。草の名。高さ二三尺ぞかり、茎は、赤くむらさきぞみて、よつの稜あり。葉は、すこし、薄荷の葉に似て、秋のはじめ、まろくむらさきぞみたる花をひらく。花のさま、まさ、すこし、薄荷に似たり。和名（澤蘭 和名、佐波阿良々木、一云阿加末久佐 生澤傍、故以名之）

さぞい　ナ。差配。きごとをうけてうけもつをいふ。

さぞいにん　ナ。差配人。かしやのとりしまりするもの。

さぞかり　ソ。然ぞかり。後撰（雲居にも、かよふこころの、あるければ、さぞかりとこそ、思ひやらるれ）

さぞき　ナ。捌。さきほどき。うりさらひ。

さぞきやう　ナ。澤桔梗。草の名。葉のさま、ひめゆりの葉に似てみじかくして、夏のをはじめ、葉のあひだに、桔梗に似たるむらさきのちひさき花さく。

さぞききやう　ナ。澤桔梗。なぎをいふ。畿内にて。

さぞく　ワ。カ。四。捌。ときほどく。ときさらつ。うりさらふ。壬生二品家（かふりびの、おやせはくさず、うらひぶね、まぞくたななの、かげぞみぞるゝ）

さぞく　ワ。ヒトリ。シニ。捌。とけほどく。さぞくごとくなる。

さぞくる　ナ。カゲ。四。捌。ときほどく。白文廿（拆白髮）

さだくる　ワ。カゲ。四。手弄。もてあそぶ。まさぐる。拾遺十（縄をひきて、菖蒲の鉾などをさぞくりつるを）

さへさへ　ソ。滑りなく。さらくと。拾聞十（馬飼には、草一把もおらす。さゝくとおもせてぞありける）

さぞしがき　ナ。簓。あぞしがきに同じ。

さぞしる　ワ。ヒトリ。四。走。あぞしるに同じ。万五（春さればこきの里の、河門には、鮎子さばしる、君まちがてに）

さぞす　ワ。カゲ。四。酬。あぞすに同じ。

さぞだ　ナ。澤田。みづた。ふかだ。母丹（ねぜりつむ、春の澤田は、おりたちて、衣のすその、ぬれぬ日ぞなき）

さぞだがは　ナ。澤田川。さいばらの律の曲の名。催馬楽（さぞだ川、そでつくばかり、あさけれど、はれ、あさければ、くにの宮人や、たかはしわたす）

さぞなり　サ。多。おほし。あまたなり。

さぞに　ソ。多。おほく。あまた。万三（鳥がなく、東の国に、高山は、左波爾あれども、ふた神の、たふとき山の）

さぞひこめ　ナ。霜。志もの異名。神祇抄（さぞひこめ、おくとが宿の、籬の内は、河原雀は、うるてかれなり）

さぞふ　ナ。作法。さくさ。きさま。ぎしき。源法御（いかめしきさぞふなれど、いとなるけぶりにて）

さぞふし　サ。フ。作法のごとし。枕草五（みやうじめのさふらしく、こまいぬ、大床子などもてまゐりて）

さぞへ　ナ。五月蠅。たうゑごろのはへ。蠅は、田植のころ殊におほきゆゑにかくいへり。神代紀（如五月蠅）

さぞへなす　マクラ。如五月蠅。さぞへは、たうゑごろの蠅にて、さぞへなすは、五月蠅のごとくといふ意なり。さて、田植のころは、蠅の、殊にむらがりさわぐものなれば、さはぐにかけていふ。万三（五月蠅成、騒騒とねりは、ころさへは、ころもとりきて）

さぞへのかみ　ナ。五月蠅神。さぞへのごとくあらびさわぐかみ。五社百首（みそぎする、麻のたちえの、青にぎて、さぞへの神も、なびけとぞおもふ）

さぞほくり　ナ。浮木履。深田におりたつときなくむきものにて、土佐の人の、よくもちふるものなり。玉勝間

さぞみづの　マクラ。澤水之。さはの水は、あさきものなれば、あさにかけていふ。新葉集（さぞれ石の、上ゆかくれぬ、さはみづの、あさましくのみ、なりまさる哉）

さぞめく　ワ。ヒトリ。四。騒めく。さぞくしくさわぎみだるゝをいふ。熊神紀（騒此云作縻娶玖）

さぞやけ　ナ。黄菜。さうさい。こぼねなどのもやしないふ。空穂祭使（くりやめ、くろきこぞひけにいれて、さそやけの汁るしてもてきたり）和名（温菘、味辛、是人作黄菜、常所噉者也 黄菜、俗云、毛佐良、一云佐波夜介）

さぞら　ナ。馬鮫。魚の名。頭ほそく、日おほきくして、身に、鱗なく、色すこし青ぞみて、背にまろき紋あり。

さぞら　ナ。椹。木の名。さはらぎに同じ。

さぞらかなり　サ。疎。さぞらかにあり。狭衣三（おむらかなるさかりむなど、あてやかになまめかし）

さぞらかに　ソ。疎。まばらに。あらくに。枕草二（髪のうるはしきが、すそさぞらかに、聲おかしうて）

さぞらぎ　ナ。椹。木の名。

ひのきのたぐひなり。葉は、檜の木の葉に似て、木は、樅に似たり。常に、桶などにつくり、また、屋根のふきいたなどにももちふ。

さぞり　ナ。陟。あさり。さしつらへ。万廿（みなとわりの、葦分小舟、障おほみ、今こんわれを、よどむと思ふな）

さぞり　ナ。月水。けがれ。つきのもの。女の月ごとにあるけがれをいふ。和名（月水 俗云、佐波利）

さぞる　ワ。ヒトリ。四。障。ふれあたる。さまさげとなる。さしつかへとなる。土佐（みなぞこの、月のうへより、こぐ船の、竿にさはるは、かつらなるべし）

さぞれ　ソ。然あらばあれ。さもあらばあれ。落窪一（いかせんとせびあまへは、さばれあけさまへ）

さび　ナ。錆。古色。かねのくさり。ふるびたるいろ。

さび　ナ。鐵。ゑぼしのきせ。下文を見るべし。貞丈雑記（ゑぼしに、さびといふ事あり。ゑぼしのきせの事なり。大さび、横さび、柳さびなどいろくあり）

さびいろ　ナ。錆色。くろがねのさびたるごときいろ。

さびえ　ナ。佐比江。地の名。攝津國の八田部の郡にあり。後撰（としをへて、にごりだにせぬ、さびえには、たまもかへりて、いまぞすむべき）

さびごろも　ナ。古衣。ふるきころもにや。續古（山彦の、でふらる宿の、さび衣、せかうつ音や、外にきくらん）

さびし　サ。フ。寂寥。さづかなることをなぞべし。さゝろはそきまでさづろなり。この詞は、今は、さびしいと、いひをそへていふ。拾遺（うづみびの、ひかりもみひは、つきもてて、さびしくひゞく、かねの音かな）

さびしい　サ。寂寥。さびしを見るべし。

さびしらに　ソ。寂寥。さびしく。万代（山陰や、園野をかけて、すむ庵の、ものさびしらに、うづらなくなり）

さびた　ナ。鯉の左鰭をいふ。料理にいふ詞なり。貞丈雑記

さびを　ナ。鯛。魚の名。さどうならず。字鏡（鯛佐比）

さびづる　ワ。ヒトリ。四。轉。さへづるに同じ。万六十（あまてるや、日のけにほして、佐比豆留や、唐のうすにつき）

さびづるや　マクラ。囀哉。ことさへぐを見るべし。万六十（佐比豆留夜、辛碓につき、にはにたつ、からうすにつき）

さびづゑ　ナ。鋤。くさをかるだうぐ。すきのたぐひ。空穂物語（おとゞ、くれのあしさゞき、さびづゑつきて、布のひされきて立ち給へり）和名（鐵漢語抄云、鋤属也 佐比都恵）

さひやうゑふ　ナ。左兵衛府。ひやうゑふを見るべし。

さびる　ワ。ヒトリ。カニ。錆。ふるびつく。ふるきいろになる。ひかりくもる。山家集（いせじまや、月のひかりの、さびるうらは、あかしにも似ぬ、かげぞすみける）

さびる　ワ。ヒトリ。シニ。寂寥。さびしくなる。

さびろなり　サ。緊りなくて、ぞうとしたるをいふにや。長明無名抄（題の歌は、さもときこゆるこそよけれ。あまりさびろなりとなんぞ）

さびゑぼし　ナ。錆烏帽子。さびをつけたるゑぼし。さなのあるじ（おほくや、むかしは云々、このごろこそ、さびゑぼし、きらめきゑぼしなど、をりくかゞりて侍るめれ）

さふ　ナ。左府。左大臣をいふ唐名なり。

さふ　ワ。カゲ。四。塞。支。ふさぐ。へだつ。万廿（あまなみの、立塞みちを、たゞ心、いとほしとらも、たゞさらりけん）

さふ　ワ。カゲ。シニ。塞。支。ふさぐ。へだつ。土佐（業平の君の云々、うさなんおぼゆるもし、海邊にてよまましかば、波たちさへて、いれずもあらなんともよみてまし）

さぶ　ワ。ヒトリ。シニ。障。ふれあたる。枕草九（あさましきもの、さしぐしみがくほどに、物にさへて折れたる）

さぶ　ワ。ヒトリ。カニ。荒。あなむざしくなる。さびしくなる。ふるめかしくなる。万一（さゝなみの、國津御神の、うら佐備て、あれたるみやこ、みればかなしも）月清集（さよふるき、あらしの音に、山さびて、木の間の月の、かげのさむけさ）伊勢（おきなさび、ひとなとがめそ、かりごろも、けふばかりとぞ、たづも鳴くなる）

さぶ　ワ。ヒトリ。カニ。佐。さぶに同じ。万四（まそかゞみ、見あかぬ君に、おくれてや、朝夕に、佐備つゝをらん）

そ　ア・ア・ア・

そえ　ナ・副。添。物のほかにつけ加えること。

そえうた　ナ・名。連歌・俳諧で、発句に対する脇の句。

そえがき　ナ・名。本文の理解を助けるために、本文の中に書き添えた文章。

そえぎ　ナ・名。飾りのために物に添えるもの。

そえぎょう　ナ・名。(おうぎの)骨の数を増すために、親骨の外側に添えた骨。

そえぐし　ナ・名。(三本で一万)天の部屋で、数えるのに使った算木。

そえぐち　ナ・名。主屋に対して、脇に設けた入口。

そえこと　ナ・名。琴・三味線などで、伴奏の楽器。

そえごと　ナ・名。(人の)死後、その人の徳をたたえるために書き添えた文章。

そえじ　ナ・名。(人の)姓名の下に添えて敬意を表す語。

そえじょう　ナ・名。(人の)姓名の下に添えて敬意を表す語。

そえしょ　ナ・名。(人の)姓名の下に添えて敬意を表す語。

そえしょう　ナ・名。(人の)姓名の下に添えて敬意を表す語。

そえしょく

さんいん ㊥山陰 ①山の北側の地方。②中国地方の日本海に面する地方。鳥取・島根・山口の三県の北部。

さんいんどう ㊥山陰道 ①山陰地方の古い呼び名。②旧国名。丹波・丹後・但馬・因幡・伯耆・出雲・石見・隠岐の八国。

さんえき ㊥算易 ①筮竹を使って占う易。②筮竹を使って占う人。

さんえん ㊥山猿 ①山にすむ猿。②山の中に住む人。

さんおう ㊥山王 ①山の神。②日吉神社の祭神。

さんおく ㊥三億 ①数の名。億の三倍。

さんおくえん ㊥三億円 ①三億の金額。

さんおくえんじけん ㊥三億円事件 ①昭和五十年十二月に東京で起こった、三億円の現金輸送車が強奪された事件。

さんおくえんじけんはんにん ㊥三億円事件犯人 ①三億円事件の犯人。

さんおくえんじけんようぎしゃ ㊥三億円事件容疑者 ①三億円事件の容疑者

そんえ

そんえ　名　三方の面のうち、西南の方角。

そんえい　名　三方の面のうち、西北の方角。

そんえいこうじん　名　三方荒神。陰陽道で、三方の面（四人の神）。

そんえき　名　損益。そこなうことと利益。

そんえきこうじょう　名　三業荒神。陰陽道で、三方の面（四人の神）。

そんえきこうじょうのず　名　三業荒神の図。陰陽道で、三方の面（四人の神）。

そんえきこうじょうのず　名　三業荒神の図。陰陽道で、三方の面（四人の神）。

ちゃいろ　ナ・名　茶の葉をいれるのに用いる陶器。

そらいろ　空色　青色。

そらおそろし　空恐ろし　天変地異などに対する恐れ。

そらおぼえ　空覚え　記憶にないのに覚えているようにいうこと。

そらごと　空言　嘘。

そらだのめ　空頼め　あてにならない約束。

そらだきもの　空薫物　衣服に香をたきしめること。

そらだのみ　空頼み　あてにならない頼み。

そらつかい　空使い　用事にかこつけて外出すること。

そらとぼける　空とぼける　知らないふりをする。

そらなき　空泣き　嘘泣き。

そらね　空寝　寝たふりをすること。

そらまめ　蚕豆　豆科の一年草。莢が蚕の形に似ているのでいう。

そらみつ　虚見つ　大和の枕詞。

そらみつやまと　虚見つ大和　大和の国。

そらめ　空目　見間違い。

そらもの　空者　嘘つき。

そらもよう　空模様　天候の状態。

そらやく　空役　名ばかりの役。

そらやとい　空雇い　名ばかりの雇い。

そらよい　空酔い　酔ったふりをすること。

そらわらい　空笑い　嘘笑い。

そり　反り　そること。

そり　橇　雪の上を滑らせて荷物を運ぶ道具。

そり　剃り　剃ること。

そり　橇　雪の上を滑らせて荷物を運ぶ道具。

そり　剃り　剃ること。

そり　反り　そること。

そりあし　反り足　そった足。

そりあし　橇足　橇の足。

そりいた　反り板　そった板。

そりいた　橇板　橇の板。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そりかえる　反り返る　そりかえる。

そりかえる　橇返る　橇がひっくりかえる。

そのしんかん　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

そのたいし　名　神田の名まだらの同じ。

ゑひ　ア。酔い。酒に酔うこと。

ゑひしれる　ア。酔いしれる。酒に酔って正体がなくなる。

ゑひどれ　ア。酔っぱらい。

ゑひもの　ア。酒。

ゑぶり　ア。笑い。笑うこと。

ゑぼし　ア。烏帽子。昔、男子が冠の代わりにかぶった帽子。

ゑぼしおや　ア。烏帽子親。元服の時に烏帽子をかぶせる役の人。

ゑぼしぎ　ア。烏帽子着。元服の時に烏帽子をかぶること。

ゑぼしだんす　ア。烏帽子箪笥。烏帽子を入れる箪笥。

ゑぼしなり　ア。烏帽子形。烏帽子の形。

ゑぼしのこ　ア。烏帽子の子。烏帽子親の子。

ゑぼしをる　ア。烏帽子折。烏帽子を折ること。

ゑまし　ア。笑い。笑うこと。

ゑまひ　ア。笑い。笑うこと。

ゑまふ　ア。笑う。

ゑみ　ア。笑い。笑うこと。

ゑみかほ　ア。笑い顔。

ゑみがほ　ア。笑い顔。

ゑみくぼ　ア。笑窪。笑うとできるくぼみ。

ゑみこぼす　ア。笑いこぼす。

ゑみさかえる　ア。笑い栄える。

ゑみさかゆる　ア。笑い栄える。

ゑみさかゆる　ア。笑い栄える。

ゑみさかゆ

そ

そうあん　ア・ア・ア・

まかす　ナ他　負かす。
まかせる　ナ他　任せる。
まかない　ナ名　賄い。
まかなう　ナ他　賄う。
まがる　ナ自　曲がる。
まき　ナ名　巻き。
まき　ナ名　薪。
まきえ　ナ名　蒔絵（漆工芸の一種。漆で絵を描き、金銀の粉を蒔いて磨き出したもの）
まきがい　ナ名　巻き貝。
まきじゃく　ナ名　巻き尺。
まきつく　ナ自　巻き付く。
まきば　ナ名　牧場。
まきもの　ナ名　巻き物。
まく　ナ名　幕。
まく　ナ名　膜。
まく　ナ他　蒔く。
まく　ナ他　巻く。
まく　ナ他　負く。
まくら　ナ名　枕。
まくらぎ　ナ名　枕木。
まくらもと　ナ名　枕元。
まぐろ　ナ名　鮪。
まげ　ナ名　髷。
まげる　ナ他　曲げる。
まご　ナ名　孫。
まごころ　ナ名　真心。
まごつく　ナ自　まごまごする。
まごまご　ナ副　まごまごと。
まこと　ナ名　誠。
まことに　ナ副　誠に。
まさか　ナ副　まさか。
まさつ　ナ名　摩擦。
まさる　ナ自　勝る。
まざる　ナ自　混ざる。
まし　ナ名　増し。
ましな　ナ形動　増しな。
ますます　ナ副　益々。
まぜる　ナ他　混ぜる。
また　ナ副　又。
また　ナ名　股。
まだ　ナ副　未だ。
まだい　ナ名　真鯛。
まだら　ナ名　斑。
まち　ナ名　町。
まち　ナ名　待ち。
まちあいしつ　ナ名　待合室。
まちあわせる　ナ他　待ち合わせる。
まちがい　ナ名　間違い。
まちがう　ナ自　間違う。
まちがえる　ナ他　間違える。
まちどおしい　ナ形　待ち遠しい。
まつ　ナ名　松。
まつ　ナ他　待つ。
まつ　ナ他　末。
まつげ　ナ名　睫毛。
まっすぐ　ナ形動　真っ直ぐ。
まったく　ナ副　全く。
まつり　ナ名　祭り。
まつる　ナ他　祭る。
まど　ナ名　窓。
まとまる　ナ自　纏まる。
まとめる　ナ他　纏める。
まなぶ　ナ他　学ぶ。
まにあう　ナ自　間に合う。
まにあわせる　ナ他　間に合わせる。
まぬがれる　ナ他　免れる。
まね　ナ名　真似。
まねく　ナ他　招く。
まねる　ナ他　真似る。
まひ　ナ名　麻痺。
まぶた　ナ名　瞼。
まぶしい　ナ形　眩しい。
まほう　ナ名　魔法。
まま　ナ名　儘。
まもる　ナ他　守る。
まゆ　ナ名　眉。
まゆげ　ナ名　眉毛。
まよう　ナ自　迷う。
まよなか　ナ名　真夜中。
まるい　ナ形　丸い。
まるで　ナ副　丸で。
まわす　ナ他　回す。
まわり　ナ名　回り。
まわる　ナ自　回る。
まん　ナ名　万（百の百倍）
まんいち　ナ名　万一（万分の一の意から、ごくまれな場合）
まんいん　ナ名　満員。
まんが　ナ名　漫画。
まんげつ　ナ名　満月。
まんじゅう　ナ名　饅頭。
まんせい　ナ名　慢性。
まんてん　ナ名　満点。
まんねんひつ　ナ名　万年筆。

みえ　ナ名　見え。
みえる　ナ自　見える。
みおくる　ナ他　見送る。
みかく　ナ名　味覚。
みかた　ナ名　味方。
みかん　ナ名　蜜柑。
みぎ　ナ名　右。
みぎて　ナ名　右手。
みぎり　ナ名　砌（季節・時候を表す語の下に付いて）
みごと　ナ形動　見事。
みじかい　ナ形　短い。
みじたく　ナ名　身支度。
みず　ナ名　水。
みずいろ　ナ名　水色。
みずうみ　ナ名　湖。
みずぎ　ナ名　水着。
みずぐすり　ナ名　水薬。
みずさし　ナ名　水差し。
みずたまり　ナ名　水溜り。
みずっぱな　ナ名　水っ洟。
みずぶくれ　ナ名　水脹れ。
みずみずしい　ナ形　瑞々しい。
みせ　ナ名　店。
みせる　ナ他　見せる。
みそ　ナ名　味噌。
みそか　ナ名　晦日。
みそこなう　ナ他　見損なう。
みそしる　ナ名　味噌汁。
みだし　ナ名　見出し。
みだす　ナ他　乱す。
みだら　ナ形動　淫ら。
みだれる　ナ自　乱れる。
みち　ナ名　道。
みち　ナ名　未知。
みちがえる　ナ他　見違える。
みちしるべ　ナ名　道標。
みちのく　ナ名　陸奥（東北地方の古称）
みちばた　ナ名　道端。
みつ　ナ名　蜜。
みつ　ナ名　三つ。
みつかる　ナ自　見つかる。
みつける　ナ他　見つける。
みっしゅう　ナ名　密集。
みっせつ　ナ名　密接。
みつど　ナ名　密度。
みつばち　ナ名　蜜蜂。
みつもり　ナ名　見積り。
みつもる　ナ他　見積る。
みつやく　ナ名　密約。
みつゆ　ナ名　蜜柚。
みつりょう　ナ名　密猟。
みつりょう　ナ名　密漁。
みつろう　ナ名　蜜蠟。
みてい　ナ名　未定。
みとおし　ナ名　見通し。
みとおす　ナ他　見通す。
みとめる　ナ他　認める。
みとり　ナ名　看取り。
みとる　ナ他　看取る。
みな　ナ名　皆。
みなおす　ナ他　見直す。
みなす　ナ他　見做す。
みなと　ナ名　港。
みなみ　ナ名　南。
みなもと　ナ名　源。
みなもと　ナ名　源（源氏）
みなれる　ナ自　見慣れる。
みにくい　ナ形　醜い。
みぬく　ナ他　見抜く。
みね　ナ名　峰。
みのがす　ナ他　見逃す。
みのる　ナ自　実る。
みはらし　ナ名　見晴し。
みはらす　ナ他　見晴す。
みぶり　ナ名　身振り。
みぶるい　ナ名　身震い。
みぶるいする　ナ自　身震いする。
みぼれ　ナ名　見惚れ。
みぼれる　ナ自　見惚れる。
みまい　ナ名　見舞い。
みまう　ナ他　見舞う。
みまもる　ナ他　見守る。
みみ　ナ名　耳。
みみかき　ナ名　耳掻き。
みみず　ナ名　蚯蚓。
みみたぶ　ナ名　耳朶。
みやげ　ナ名　土産。
みやこ　ナ名　都。
みやこおち　ナ名　都落ち。
みやこどり　ナ名　都鳥。
みやこわすれ　ナ名　都忘れ。
みやこわすれ　ナ名　都忘れ（菊の一種）
みやび　ナ名　雅。
みやびやか　ナ形動　雅やか。
みやぶる　ナ他　見破る。
みょう　ナ形動　妙。
みょうあん　ナ名　妙案。
みょうじ　ナ名　名字。
みょうじょう　ナ名　明星。
みょうにち　ナ名　明日。
みょうねん　ナ名　明年。
みょうばん　ナ名　明礬。
みょうみ　ナ名　妙味。
みょうやく　ナ名　妙薬。
みょうり　ナ名　名利。
みょうりょう　ナ名　妙料。
みょうれい　ナ名　妙齢。
みらい　ナ名　未来。
みりょう　ナ名　未了。
みりょう　ナ名　魅了。
みりょく　ナ名　魅力。
みる　ナ他　見る。
みる　ナ他　診る。
みる　ナ他　観る。
みる　ナ他　視る。
みるからに　ナ副　見るからに。
みるみる　ナ副　見る見る。
みわく　ナ名　魅惑。
みわける　ナ他　見分ける。
みわたす　ナ他　見渡す。
みんかん　ナ名　民間。
みんしゅ　ナ名　民主。
みんしゅう　ナ名　民衆。
みんしゅく　ナ名　民宿。
みんしゅく　ナ名　民俗。
みんぞく　ナ名　民族。
みんぽう　ナ名　民法。
みんよう　ナ名　民謡。

むいか　ナ名　六日。
むいか　ナ名　六日（月の）
むいしき　ナ名　無意識。
むいみ　ナ名　無意味。
むえき　ナ名　無益。
むえん　ナ名　無縁。
むかい　ナ名　向い。
むかう　ナ自　向う。
むかえる　ナ他　迎える。
むかし　ナ名　昔。
むかしなじみ　ナ名　昔馴染。
むかしばなし　ナ名　昔話。
むかつく　ナ自　むかつく。
むかむか　ナ副　むかむか。
むかんしん　ナ名　無関心。
むき　ナ名　向き。
むき　ナ名　無機。
むきず　ナ名　無傷。
むきゅう　ナ名　無休。
むきょう　ナ名　無教養。
むく　ナ名　無垢。
むく　ナ他　剥く。
むくち　ナ名　無口。
むくむく　ナ副　むくむく。
むくむく　ナ副　むくむく。
むくわれる　ナ自　報われる。
むげ　ナ名　無下。
むげん　ナ名　無限。
むこ　ナ名　婿。
むこう　ナ名　向う。
むこうずね　ナ名　向う脛。
むこうみず　ナ名　向う見ず。
むこがね　ナ名　婿養子。
むごたらしい　ナ形　むごたらしい。
むごん　ナ名　無言。
むさべつ　ナ名　無差別。
むさぼる　ナ他　貪る。
むし　ナ名　虫。
むし　ナ名　無視。
むしあつい　ナ形　蒸し暑い。
むしかえす　ナ他　蒸し返す。
むしかえす　ナ他　蒸し返す。
むしかえす　ナ他　蒸し返す

天命（てんめい）人の力ではどうすることもできない、天から与えられた運命。

天文（てんもん）日月星辰の運行や、それによって現れる自然現象。

天文学（てんもんがく）天体の位置・運動・構造などを研究する学問。

天文台（てんもんだい）天体観測のための施設。

天文暦（てんもんれき）天体の運行を基にして作った暦。

天理（てんり）天地自然の道理。

天理教（てんりきょう）中山みきを教祖とする宗教。

天竜（てんりゅう）①天を飛ぶという竜。②静岡県西部を流れる川。

天領（てんりょう）江戸時代、幕府の直轄地。

天涼（てんりょう）夏の暑さがやわらぎ、涼しくなること。

天麩羅（てんぷら）魚介や野菜に衣をつけて油で揚げた料理。

天幕（てんまく）テントのこと。

天満宮（てんまんぐう）菅原道真を祭った神社。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

天満屋（てんまんや）①菅原道真を祭った神社。②百貨店の名。

天満祭（てんまんまつり）大阪天満宮の夏祭り。

天満橋（てんまんばし）大阪市を流れる大川にかかる橋。

天満焼（てんまんやき）大阪天満宮付近で焼かれた陶器。

さいかち　トゲのある落葉高木（豆科）

さいかち　トゲのある落葉高木（豆科）

さいかち　トゲのある落葉高木（豆科）

そうあん　ソウアン　草庵　草ぶきの小さな家。

そうい　ソウイ　創意　新しい考え。

そうい　ソウイ　相違　ちがうこと。

そういん　ソウイン　総員　全員。

そうえん　ソウエン　荘園　大きな領地。

そうおう　ソウオウ　相応　ふさわしいこと。

そうおん　ソウオン　騒音　さわがしい音。

そうおん　ソウオン　送恩　恩を送ること。

そうおん　ソウオン　創業　新しく事業をはじめること。

そうかい　ソウカイ　総会　全員の会。

そうかい　ソウカイ　壮快　さかんで気持のよいこと。

そうかい　ソウカイ　爽快　さわやかで気持のよいこと。

そうかい　ソウカイ　滄海　あおい海。

そうかい　ソウカイ　桑海　桑畑と海。

そうかい　ソウカイ　創開　新しくひらくこと。

そうかい　ソウカイ　創改　新しくあらためること。

そうかい　ソウカイ　総会　全員の会。

そうかい　ソウカイ　壮快　さかんで気持のよいこと。

そうかい　ソウカイ　爽快　さわやかで気持のよいこと。

そうかい　ソウカイ　滄海　あおい海。

そうかい　ソウカイ　桑海　桑畑と海。

そうかい　ソウカイ　創開　新しくひらくこと。

そうかい　ソウカイ　創改　新しくあらためること。

そうかく　ソウカク　総角　昔の子どもの髪の結び方。

そうがく　ソウガク　総額　全部の金額。

そうがく　ソウガク　総覚　全部をさとること。

そうがく　ソウガク　総額　全部の金額。

そうがく　ソウガク　総覚　全部をさとること。

そうかつ　ソウカツ　総括　まとめること。

そうかつ　ソウカツ　総括　まとめること。

そうかん　ソウカン　壮観　さかんなながめ。

そうかん　ソウカン　壮観　さかんなながめ。

そうかん　ソウカン　送還　送りかえすこと。

そうかん　ソウカン　送還　送りかえすこと。

そうかん　ソウカン　創刊　新しく本を出すこと。

そうかん　ソウカン　創刊　新しく本を出すこと。

そうかん　ソウカン　総監　全体を監督すること。

そうかん　ソウカン　総監　全体を監督すること。

そうかん　ソウカン　相関　関係があること。

そうかん　ソウカン　相関　関係があること。

そうき　ソウキ　早期　はやい時期。

そうき　ソウキ　早期　はやい時期。

そうき　ソウキ　送気　空気を送ること。

そうき　ソウキ　送気　空気を送ること。

そうき　ソウキ　創業　新しく事業をはじめること。

そうき　ソウキ　創業　新しく事業をはじめること。

そうきょ　ソウキョ　壮挙　さかんな行い。

そうきょ　ソウキョ　壮挙　さかんな行い。

そうきょ　ソウキョ　送去　送りさること。

そうきょ　ソウキョ　送去　送りさること。

そうきょく　ソウキョク　総局　全体の局。

そうきょく　ソウキョク　総局　全体の局。

そうきん　ソウキン　送金　金を送ること。

そうきん　ソウキン　送金　金を送ること。

そうきん　ソウキン　送金　金を送ること

そこ

そこ

そこ

そたう　ナ・副・形　そのとおり。そのとおりだ。

そたうかた　ナ・下一　そのかぎり。（副詞「そう」を受ける）

そたうかたい　ナ・形　そのとおりだ。

そたうかたいの　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのた　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのだ　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのです　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでした　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせう　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうか　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうね　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうよ　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうわ　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうを　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうに　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうへ　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうと　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうが　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうの　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうも　ナ・連体　そのとおりの。

そたうかたいのでせうや

まだ

まだいた ㊥下駄のうらにつける木。

まだいわし ㊥鰯の一種。

まだおび ㊥下駄をはくとき、ふんどしのようにしめる布。

まだおもて ㊥下駄のうらにつける皮。

まだかぜ ㊥下駄をはくとき、足の指にあたる鼻緒。

まだがた ㊥人をたよりにしてくらすこと。

まだがし ㊥歯のよわい人などのために、水飴（ほしたもち米のこなに麦芽をまぜて煮つめたもの）。

まだがしら ㊥下駄のまえのほう。

まだがね ㊥下駄のうらにつける金具。

まだがまち ㊥下駄のかかとのうしろの部分。

まだがり ㊥下駄をつくる職人。

まだがわ ㊥下駄のうらにつける皮。

まだぎょう ㊥下駄をつくる仕事。

まだぐち ㊥下駄のうしろの、鼻緒のさしこむ穴。

まだぐつわ ㊥下駄の鼻緒がぬけないように、前歯にかませる布。

まだこ ㊥下駄のうらにつける木。

まだこう ㊥下駄をつくる職人。

まだこしかけ ㊥下駄をはくとき、腰をかけるところ。

まだこしらえ ㊥下駄をつくること。

まだこしらえる ㊥下駄をつくる。

まだこぞう ㊥下駄屋の小僧。

まだこや ㊥下駄をつくる職人。

まだこやさん ㊥下駄をつくる職人。

まだこやのかんばん ㊥下駄屋の看板（行きあたりばったりに、考えもなく物事をすること）。

まだこやのこぞう ㊥下駄屋の小僧（下駄屋の小僧が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのしゅうぎ ㊥下駄屋の集会（下駄屋の小僧が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのせがれ ㊥下駄屋の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのでし ㊥下駄屋の弟子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのむすこ ㊥下駄屋の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやど ㊥下駄屋の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかり ㊥下駄屋の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかり ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのこぞう ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の小僧（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのむすこ ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の息子（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

まだこやのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやどかりのやど ㊥下駄屋の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿借の宿（下駄屋の息子が、いつも下駄をはいていることから）。

**まだこやのやどかり

おつ。神代紀（滴瀝之潮）字鏡（淋以水洗也、志太夫留、又、毛留）

あたぢ ナ。下地。あさのもの。あさのもちまへ。木師抄（一算のつまおとも、おほきにそらめきて云々。まづあさらなるがあさぢにて、ともかくもあるべきなり）

あたつ ワ。カナ。シニ。仕立。つくりこしらふ。この語は、地方により、あさてるを下一段にいふ。源少女（むつきの御きうぞくなど云々、いときよらにあさてまゐるを）

あたづかさ ナ。下司。あさのつかさびと。

あたつかた ナ。下方。あさのかさ。あさのところ。

あたつき ナ。譚誕。ものいひのたどしくなきをいふ。源朝顔（いとうすげみにあるくちつき、思ひやらるゝこさづらひの、さすがにあさうきにてうちざれんとれなほおもへり）和名（譚誕之多都岐舌不正也）

あたつき ナ。舌附。あさのさま。ものいひのようす。

あたつくに ナ。下總國。よみのくに。欽明紀（泉中）

あたづくり ナ。下造。あさごしらへ。あらづくり。

あたづくゑ ナ。下机。あさのつくゑ。源論合（右は、ちんのそこに、せんゐうのあさづくゑ、うちしきは、青地のこまの錦。おしゆひのくみ、けそくのこゝろばへなど）

あたつづみ ナ。舌皷。あさをうちならすをいふ。

あたて ナ。下風。あさのかさ。西國寺撰百首（あさてより、鵠鵠はたち、廻る鳥、そがひは鷹ぞ、よりて空とる）

あたて ナ。仕立。つくり。こしらへ。とりなし。

あたてかた ナ。仕立方。つくりざま。こしらへざま。

あたてがほ ナ。仕立顔。ことさらめきさるをいふにや。源宿木（こゝろしらひのさまも、あなづるとはなけれど、何かは、ことごとしうあさてがほならんも、なかなかおぼえなく、見とがむる人やあらんとおぼすなりけり）

あたてもの ナ。仕立物。あさつくろもの。ぬひもの。

あたてや ナ。仕立屋。ぬひものを、なりはひとするいへ。

あたてゆだり ナ。臨歷。あさゆだりのたぐひ。ゆだりのあさつるやまひ。和名（臨歷之太天由波利小便滴瀝也）

あたてる ワ。カ下。シ一。仕立。こしらふ。あたつを見るべし。

あたてるひめ ナ。下照姫。たかひめに同じ。黄家歌（府衣、下照姫の、せなどひぞ、天にきこゆる、鶴なら鶴音は）

あたどし サ。ヒ。舌利。あさするどし。くちがやし。源常夏（げに、いとで、このあさどきさやめ侍らん）

あたどに ツ。舌利。あさするどく。くちがやく。狭衣二（げに、母とよみかくるけるひ、あさどには、のどかなきさるなど、ひらびやかしどちていひなす）

あたどひ ナ。下聰。あのびてのつまどひ。古事記（あしびきの、山田をつくり、山たかみ、あさびをはしせ、志多杼比爾、わがとふ妹を、あさなきに、わがなくつまを）

あたなき ナ。下泣。そらなき。なきまね。宇拾十（まめやかにみさいなみ給へば云々、殿上の人々、あさなきをしてみな、あらや、まじきことしいひあへりけり）無名抄（兼昌あさなきして、あさりようなづきつゝ）

あたなみ ナ。下波。あさのなみ。容性集（松山の、本はかすとも、おもほえず、こひしき君に、あさなみぞたつ）

あたなめづり ナ。舌嘗。くちびるをなめまはすをいふ。ものをくふときのさまにいふことぞ。宇拾八（目をいからかし、あさなめづりをして、それをみつけて）

あたならし ナ。内試。うちならしを見るべし。

あたにまつ ワ。カタ。四。下待。こころにまつ。拾遺（こぬ人を、下に待つゝ、久方の、月を哀といはぬ夜ぞなき）

あたぬき ナ。下貫。人をまへにおして、利をうるもの。熟語

あたね ナ。下音。あさのね。寂寞女御集（秋の野の、萩のあさねは、なく虫の、忍びかねてや、ほにいでぬべし）

あたのつるぎ ナ。舌劍。ことばのおそるべきをいふたとへ。十訓二（口の虎は、身を破る。舌の劍は、命をたつ。口を、鼻のごとくにすれば、後、あやまつ事なし）

あたば ナ。下葉。あさのは。古今（秋萩の、下葉うつろふ、ころしもぞ、ひとりある人は、いねがてにする）

あたば ナ。下齒。くちのなかのあさのは。

あたはし サ。フ。疏。おもひえなれぬさくあり。この語は、今は、あさはしと、いをそへていふ。風雅（何となく、みるも春ぞ、珍しき、芝生にまじる、花の色々）

あたはしい サ。疏。あたはしを見るべし。

あたばらき ナ。下腹。あさのさらき。つぎのそらあき。

あたばふ ワ。カタ。シニ。心にこめて、ふかくあさらしくおもふをいふ。万廿（さゆりばな、ゆりもあはんと、あさばふる、心しなくば、けふもへめやも）

あたへ ナ。心にこめて、ふかくあさらしくおもふなるをいふ。万廿（あしがらの、御坂かしこみ、くもりよの、あが志多波倍を、こちでつるかも）

あたへら ナ。下腹。あさのさら。そらのあさのところ。

あたへのみこと ナ。下春命。こやねのみことに同じ。

あたひ ナ。蔽。さなれがたきおもひ。すてがたきおもひ。

あたひ ナ。下樋。あさのうつろなるところ。万七（琴とれば、嘆きさきだつ、蓋しくも、琴の下樋に、妻や隠れる）

あたび ナ。下火。ひのきえんとするころ。

あたひげ ナ。下鬚。あさのひげ。くちのあさのひげ。

あたひも ナ。下紐。ころものあさにむすびさるひも。むしの諺に、人に戀ひらるゝ時は、紐とくといふ事あり。万十一（うるはしと、思ひし思はば、下紐に、ゆひつけもちて、やまず志のはせ）後撰（戀しとは、臣にもいはじ、下紐の、とけんを人は、それと志らなん）

あたひものせき ナ。下紐關。地の名。陸奥にありといへどさだかならず。後拾（あづま路の、なるけき道を、ゆきめぐり、いつかとくべき、あさひものせき）

あたひらめ ナ。魚の名。うしのしたをいふ。東京にて、

あたふ ワ。カタ。四。慕。そなれがたくおもふ。すてがたくおもふ。万五（まらぬひの、つくしの國に、なく子なす、新多比來まして、息ざまも、いまだやすめず）

あたぶし ナ。下臥。もののあさにふすをいふ。夫木十一（小男鹿の、聲ぞ悲き、露結ぶ、岩田小野の、萩の下臥）

あたぶり ナ。舌風。ものいふくちつき。源行幸（夢に宿しさる心地し侍りてなん、胸に、手をおきさるやうに侍ると申しさまふあさぶり、いとものさやかなり）

あたべ ナ。下方。あさのかさ。あさのところ。

あたべる ワ。ヒトリ。四。燕。あなぶ。たをやかなり。万二（秋山の、下部留いも、なよたけの、とをよる子らは）

あたまがり ナ。草の名。あびとなをいふ。尾張にて、

あたまつ ワ。カタ。四。下待。こころにまつ。大和（おもしましやするを、あさまちらまうけるに）

あたまぶた ナ。下瞼。あさのかさのまぶさ。

あたみ ナ。雛。あるなあさむるさる。和名（雛和名之太美）

あたみ ナ。窪。いざるをいふ。安藝などにて、

あたみ ナ。下見。あたよみに同じ。

あたみ ナ。潜木の名。うぐひすのきをいふ。陸奥、津輕にて、

あたむ ワ。カタ。四。醞。あるをもらしいざす。みづをあさらす。山家集（みるもうきは、うなゐはにくる、いろくづを、のがらさでも、あさむるちあみ）

あたむ ワ。カナ。シニ。醞。あるをもらしいざす。みづをあさらす。この語は、地方によりては、あさめると下一段にいふ。和名（醞醞酒、佐介之太無、俗云阿久）

あたむき ナ。下向。あさのむき。あさのかさ。

あたん ナ。紫檀。灌木の名。せんざんの、くろくむらさきの色みてかさくして、つののごとくなりさるもの。源椎合（あさんのもとに、すそうのけそく、あさものには紫地の席のにしき）和名（梼檀與者、訓之紫檀）

あたん ナ。師範。ぢゆうぢのそうをたんなどと。

あたん ナ。示談。さうだん。なりあひ。なかなほり。

あために ツ。下目。あさのかさに。おとりたるかさに。

あためる ワ。カタ。シ一。醞。あたむを見るべし。

あたも ナ。下裳。あさおび。たふさぎ。拾玉（人あるや、あさもの紐を、ときそめて、君を爽を、むすぶよもとれ）

あたもえ ナ。下燃。あるのもえ。古今（夏なれば、宿にふすぶる、蚊遣火の、いつまでわが身、あさもえにせん）

あたもつれ ナ。舌縺。ことばのさとやかならぬをいふ。

あたもみぢ ナ。下紅葉。こがげのもみぢ。夫木（下紅葉、秋もあらなく、色づくは、てる夏の日に、こがれさるかも）

あたやく ナ。下役。あさのやく。つぎのやく。

あたやすし サ。ヒ。下安。こころやすし。拾遺（水鳥の、あさやすからぬ、思ひには、あたりの水も、こほらざりけり）

あたよばふ サ。カタ。シ二。下婚。あのびてつまどひするをいふ。古事記（大和べに、ゆくは誰がつま、こもりづの、志多用波閉つゝ、ゆくは誰がつま）

あたよみ ナ。下讀。ふみなどを、こころなまへに、かねてよみおくをいふ。講義などのときにすることなり。

あたぢかに ソ。垂。あざれさるやうに。

あたらく ナ。自剛落。あまりなし。みざりがわし。

あたらでん ナ。霹靂霆電。おほあめ、大風の日をいふ。熊語

あたらなし サ。ヒ。無拾拠。あまりなし。みざりがわし。

そだりおも　ナ形　(そだる+おもい)　(昔、)手数のかかるさま。(昔、)世話のやけるさま。

そだりがち　ナ形　(そだる+がち)　(昔、)手数のかかるさま。(昔、)世話のやけるさま。

そだりなき　ナ形　(そだる+なし)　(昔、)手数のかからないさま。(昔、)世話のやけないさま。

そだりもの　名　(そだる+もの)　(昔、)手数のかかる人。(昔、)世話のやける人。

そだる　ワ上一　(昔、)手数がかかる。(昔、)世話がやける。

そだる　ワ上一　(昔、)育てられる。(昔、)養われる。

そだる　ワ上一　(昔、)成長する。(昔、)大人になる。

そだるし　ナ形　(昔、)手数がかかる。(昔、)世話がやける。

そだるる　ナ形　(昔、)手数がかかる。(昔、)世話がやける。

そだるるき　ナ形　(昔、)手数がかかる。(昔、)世話がやける。

そだるるかた　ナ形　(昔、)手数がかかる。(昔、)世話がやける。

そだるるやき　ナ形　(昔、)手数がかかる。(昔、)世話がやける。

そだれる　ワ上一　(昔、)育てられる。(昔、)養われる。

そだれば　ナ下　(昔、)育てられるので。(昔、)養われるので。

(その人をそだてる立場にある人。)

そだて　ナ下　(昔、)育てること。(昔、)養うこと。

(その人をそだてる立場にある人。)

そだてあげる　ナ下一　(昔、)育てあげる。(昔、)養いあげる。

(その人をそだてる立場にある人。)

そだてかた　ナ下　(昔、)育てること。(昔、)養うこと。

(その人をそだてる立場にある人。)

そだてぐさ　ナ下　(昔、)育てること。(昔、)養うこと。

(その人をそだてる立場にある人。)

そだてなおす　ナ下一　(昔、)育てなおす。(昔、)養いなおす。

(その人をそだてる立場にある人。)

そだてる　ナ下一　(昔、)育てる。(昔、)養う

そうかん　名・他サ　葬送と埋葬。

そうかん　名・他サ　葬送と埋葬。

そうかん　名・他サ　葬送と埋葬。

あいかた　名　相方。
あいがも　名　鴨の雄と雌。
あいかわらず　副　相変らず。
あいきょう　名　愛嬌。
あいくち　名　匕首。
あいこ　名　勝負のつかないこと。
あいさつ　名　挨拶。
あいしょう　名　相性。
あいず　名　合図。
あいそ　名　愛想。
あいそづかし　名　愛想尽かし。
あいそわらい　名　愛想笑い。
あいだ　名　間。
あいだがら　名　間柄。
あいだぼし　名　間星。
あいだもる　名　間守る。
あいて　名　相手。
あいどく　名　相得。
あいのこ　名　混血児。
あいのて　名　合の手。
あいば　名　相場。
あいびき　名　逢引。
あいぶ　名　相撫。
あいぼう　名　相棒。
あいまって　副　相まって。
あいまみえる　動　相まみえる。
あいもかわらず　副　相も変らず。
あいよく　名　愛欲。
あう　動　合う。
あう　動　会う。
あえて　副　敢えて。
あえぐ　動　喘ぐ。
あえず　副　敢えず。
あえない　形　あえない。
あえもの　名　和え物。
あえる　動　和える。
あおあお　副　青々。
あおい　形　青い。
あおい　名　葵。
あおいと　名　青糸。
あおうま　名　青馬。
あおがえる　名　青蛙。
あおぎ　名　扇。
あおぎみる　動　仰ぎ見る。
あおぐ　動　仰ぐ。
あおぐ　動　扇ぐ。
あおくさい　形　青くさい。
あおくび　名　青首。
あおぐろい　形　青黒い。
あおざかな　名　青魚。
あおざし　名　青差し。
あおじゃしん　名　青写真。
あおじろい　形　青白い。
あおすじ　名　青筋。
あおだいしょう　名　青大将。
あおだち　名　青立ち。
あおだに　名　青谷。
あおだんす　名　青箪笥。
あおっぱな　名　青っ洟。
あおてんじょう　名　青天井。
あおとんぼ　名　青蜻蛉。
あおな　名　青菜。
あおにさい　名　青二才。
あおにび　名　青鈍。
あおのり　名　青海苔。
あおば　名　青葉。
あおばえ　名　青蠅。
あおばな　名　青洟。
あおびかり　名　青光り。
あおびょうたん　名　青瓢箪。
あおぶくれ　名　青膨れ。
あおぶち　名　青斑。
あおぶどう　名　青葡萄。
あおぶな　名　青鮒。
あおまめ　名　青豆。
あおみ　名　青み。
あおみがかる　動　青みがかる。
あおみどろ　名　青みどろ。
あおむく　動　仰向く。
あおむけ　名　仰向け。
あおむし　名　青虫。
あおもの　名　青物。
あおやぎ　名　青柳。
あおやぎ　名　青柳。
あおやぎ　名　青柳

さかなだな　名詞。魚などを売る店。
さかなつり　名詞。魚を釣ること。
さかなとり　名詞。魚を捕ること。
さかなや　名詞。魚を売る店。
さかばしら　名詞。（建築）棟木を支える柱。
さかばやし　名詞。（植物）ヒユ科の一年草。
さかひ　名詞。（地理）境。
さかひめ　名詞。（地理）坂の上にある女神。
さかびと　名詞。坂の上に住む人。
さかふね　名詞。（交通）川を上る船。
さかべ　名詞。（地理）坂のある辺り。
さかほこ　名詞。（武器）坂の上から突く矛。
さかまく　動詞。水が逆に巻く。
さかみち　名詞。坂になっている道。
さかむかへ　名詞。（古語）坂の上まで迎えること。
さかもり　名詞。（人名）
さかや　名詞。酒を売る店。
さかやき　名詞。（古語）月代。
さかゆく　動詞。栄える。
さかゆる　動詞。栄える。
さかり　名詞。盛り。
さかりば　名詞。（古語）盛りの時。
さかる　動詞。盛んになる。
さかん　名詞。（古語）酒宴。
さかんな　形容詞。盛んな。
さかんに　副詞。盛んに。
さき　名詞。先。
さきがけ　名詞。先駆け。
さきくさ　名詞。（植物）ミツガシワ科の多年草。
さきこ　名詞。（人名）
さきこえ　名詞。（古語）先に声を上げること。
さきざき　名詞。先々。
さきだち　名詞。先立ち。
さきだつ　動詞。先に立つ。
さきだて　名詞。先立て。
さきだてる　動詞。先に立てる。
さきたま　名詞。（地理）
さきたまいし　名詞。（地理）
さきたまいしぶね　名詞。（地理）
さきたまいしぶねじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみのやしろじんじゃ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみ　名詞。（地理）
さきたまいしぶねのやしろのかみ

そ

そ　ナ変動詞「す」の連用形。
そう　ナ副詞「そ」に同じ。
そうして　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれ　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれを　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもや　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまた　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもやまたも　ナ副詞「そ」に同じ。
そうしてまたこれをもまたもや

そ

そうあん　ナ形動　そのようなこと。
そうあん　ナ副　そのように。
そうあん　ナ形動　そのようなこと。
そうあん　ナ形動　そのようなこと。
そうあん　ナ形動　そのようなこと

あいだ　名　間。あいだがら　名　間柄。あいだがら　名　間柄。あいだがら　名　間柄

そうしょく　ナ・動・サ変　装飾（飾りつけること）

そうしょく　ナ・名　装飾（飾りつけること）

そうしょく　ナ・名　装飾（飾りつけること）

そうしょく　ナ・名

そばだつ ㊥側・傍だつ 高くそびえる。
そばだてる ㊥側・傍だてる 高くそびえさせる。
そばづえ ㊥側・傍づえ 自転車などの、横に立てる支え。
そばづき ㊥側・傍づき 側近に仕える女官。
そばづけ ㊥側・傍づけ 船を岸に寄せること。
そばづたい ㊥側・傍づたい 側に沿って行くこと。
そばつぼ ㊥側・傍つぼ 急所。
そばで ㊥側・傍で 側にいる人。
そばとり ㊥側・傍とり 側にいる人。
そばなし ㊥側・傍なし 比べるものがないほどすぐれていること。
そばにん ㊥側・傍人 側にいる人。
そばばら ㊥側・傍ばら 脇腹。
そばまち ㊥側・傍まち 脇道。
そばみち ㊥側・傍道 脇道。
そばめ ㊥側・傍め 横目で見ること。
そばめる ㊥側・傍める 横目で見る。
そばもち ㊥側・傍もち 脇に持つこと。
そばやく ㊥側・傍やく 脇役。
そばゆ ㊥側・傍湯 風呂のわかしたての湯。
そばよう ㊥側・傍用 脇に持つこと。
そばわき ㊥側・傍わき 脇。
そばん ㊥側・傍 脇。
そびえる ㊥聳える 高くそびえる。
そびく ㊥聳く 高くそびえる。
そびやかす ㊥聳やかす 高くそびえさせる。
そびやぐ ㊥聳やぐ 高くそびえる。
そびらく ㊥聳らく 高くそびえる。
そびる ㊥聳る 高くそびえる。
そびれる ㊥聳れる 高くそびえる。
そぶく ㊥嘯く 口笛を吹く。
そぶり ㊥素振り 態度。
そぼ ㊥祖母 祖母。
そぼう ㊥粗暴 乱暴。
そぼく ㊥素朴 飾りけがないこと。
そぼくさ ㊥素朴さ 飾りけがないこと。
そぼくだ ㊥素朴だ 飾りけがないこと。
そぼくに ㊥素朴に 飾りけがないこと。
そぼくぶり ㊥素朴ぶり 飾りけがないこと。
そぼくみ ㊥素朴み 飾りけがないこと。
そぼくめく ㊥素朴めく 飾りけがないこと。
そぼくらしい ㊥素朴らしい 飾りけがないこと。
そぼくらしさ ㊥素朴らしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげ ㊥素朴らしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげだ ㊥素朴らしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげに ㊥素朴らしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげぶり ㊥素朴らしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげみ ㊥素朴らしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげめく ㊥素朴らしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしい ㊥素朴らしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしさ ㊥素朴らしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ ㊥素朴らしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげ ㊥素朴らしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげらしげだ ㊥素朴らしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげに ㊥素朴らしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげぶり ㊥素朴らしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげみ ㊥素朴らしげみ 飾りけがないこと。
そぼくらしげめく ㊥素朴らしげめく 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしい ㊥素朴らしげらしい 飾りけがないこと。
そぼくらしげらしさ ㊥素朴らしげらしさ 飾りけがないこと。
そぼくらしげ ㊥素朴らしげ 飾りけがないこと。
そぼくらしげだ ㊥素朴らしげだ 飾りけがないこと。
そぼくらしげに ㊥素朴らしげに 飾りけがないこと。
そぼくらしげぶり ㊥素朴らしげぶり 飾りけがないこと。
そぼくらしげみ ㊥素朴

そぎとる　ワ・他五・そぎとるものを取る。

そぎはぐ　ワ・他五・そぎはぐ（そぎとるの転）。

そぎぶし　ワ・名・そぎぶし（そぎとるの転）。

そぎまわし　ワ・名・そぎまわし（そぎとるの転）。

そぎもの　ワ・名・そぎもの（そぎとるの転）。

そぐ　ナ・他五・そぐ（そぎとるの転）。

そくい　ナ・名・そくい（そぎとるの転）。

そくいのまわし　ナ・名・そくいのまわし（そぎとるの転）。

そくのまわし　ナ・名・そくのまわし（そぎとるの転）。

そくまわし　ナ・名・そくまわし（そぎとるの転）。

そげ　ナ・名・そげ（そぎとるの転）。

そげぶし　ナ・名・そげぶし（そぎとるの転）。

そげまわし　ナ・名・そげまわし（そぎとるの転）。

そこ　ナ・名・そこ（そぎとるの転）。

そこぶし　ナ・名・そこぶし（そぎとるの転）。

そこまわし　ナ・名・そこまわし（そぎとるの転）。

そこまわしぶし　ナ・名・そこまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし　ナ・名・そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわし　ナ・名・そこまわし（そぎとるの転）。

そこまわしぶし　ナ・名・そこまわしぶし（そぎとるの転）。

そこまわし　ナ・名・そこまわし（そぎとるの転）。

そこまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわしまわし

まいる　ナ自動　「行く」「来る」の謙譲語。

まいる　ナ自動　「参る」とも書く。

まう　ナ自動　舞う。

まえ　ナ名詞　①顔。②表面。

まえ　ナ名詞　①前。②以前。

まえ　ナ名詞　①目の前。②以前。

まえ　ナ名詞　①前。②以前。

まえ　ナ名詞　①前。②以前。

まえ　ナ名詞　①

そえ

そえい　名・自サ　船・車などに荷物を積むこと。
そえいた　名　物を載せるために、船・車などに取り付けた板。
そえうた　名　歌会などで、あらかじめ出題された歌。
そえうま　名　荷物を運ぶために使う馬。
そえおび　名　着物の上から締める帯。
そえがき　名・自サ　本文の補足として書き添えること。また、その文。
そえがみ　名　手紙などに添えて送る紙。
そえぎ　名　添えるもの。
そえぎり　名　木の幹の根元近くを支えるために添えて植える木。
そえぐち　名　本体に添えて取り付けた口。
そえぐつわ　名　馬の口にはめる轡（くつわ）に添えて用いる手綱。
そえくるま　名　荷物を運ぶために使う車。
そえこと　名　本文に添えて述べること。
そえごと　名　本文に添えて述べること。
そえごま　名　本文の補足として書き添えること。
そえざね　名　本体に添えて入れる補助的な材料。
そえじ　名　本文に添えて書く文字。
そえじょう　名　手紙などに添えて送る書状。
そえしろ　名　本体に添えて取り付けた補助的な部分。
そえすけ　名　主となる人に付き添って補佐する人。
そえずな　名　馬の口にはめる轡に添えて用いる手綱。
そえだ　名　幹から分かれた枝。
そえだて　名・自サ　支えるために添えること。また、その物。
そえだま　名　本体に添えて取り付けた玉。
そえつけ　名　本体に添えて取り付けること。また、その物。
そえつち　名　植えた木の根元に添えて盛る土。
そえて　名　添えること。また、その物。
そえでん　名　本体に添えて取り付けた補助的な電気回路。
そえとり　名　本体に添えて取り付けた補助的な取っ手。
そえな　名　漬物の一種。
そえなり　名　添えること。また、その物。
そえぬの　名　本体に添えて取り付けた布。
そえね　名　本体に添えて取り付けた補助的な根。
そえのり　名　本体に添えて取り付けた補助的な糊。
そえば　名　本体に添えて取り付けた補助的な刃。
そえはし　名　本体に添えて取り付けた補助的な橋。
そえはた　名　本体に添えて取り付けた補助的な旗。
そえばり　名　本体に添えて取り付けた補助的な梁。
そえひも　名　本体に添えて取り付けた補助的な紐。
そえふだ　名　本体に添えて取り付けた補助的な札。
そえぶみ　名　手紙などに添えて送る書状。
そえまき　名　本体に添えて取り付けた補助的な巻き。
そえまくら　名　本体に添えて取り付けた補助的な枕。
そえみず　名　本体に添えて取り付けた補助的な水。
そえめ　名　本体に添えて取り付けた補助的な目。
そえもの　名　本体に添えて取り付けた補助的な物。
そえやく　名　本体に添えて取り付けた補助的な役。
そえやま　名　本体に添えて取り付けた補助的な山。
そえゆ　名　本体に添えて取り付けた補助的な湯。
そえよう　名　本体に添えて取り付けた補助的な用。
そえる　動・下一　添える。
そお　名　背。
そおい　名　背負うこと。
そおう　動・五　背負う。
そおく　名　背負うこと。
そおけ　名　背負うこと。
そおげ　名　背負うこと。
そおこ　名　背負うこと。
そおさ　名　背負うこと。
そおし　名　背負うこと。
そおす　動・五　背負う。
そおせ　名　背負うこと。
そおそ　名　背負うこと。
そおた　名　背負うこと。
そおち　名　背負うこと。
そおつ　名　背負うこと。
そおて　名　背負うこと。
そおと　名　背負うこと。
そおな　名　背負うこと。
そおに　名　背負うこと。
そおぬ　名　背負うこと。
そおね　名　背負うこと。
そおの　名　背負うこと。
そおは　名　背負うこと。
そおひ　名　背負うこと。
そおふ　名　背負うこと。
そおへ　名　背負うこと。
そおほ　名　背負うこと。
そおま　名　背負うこと。
そおみ　名　背負うこと。
そおむ　名　背負うこと。
そおめ　名　背負うこと。
そおも　名　背負うこと。
そおや　名　背負うこと。
そおゆ　名　背負うこと。
そおよ　名　背負うこと。
そおら　名　背負うこと。
そおり　名　背負うこと。
そおる　名　背負うこと。
そおれ　名　背負うこと。
そおろ　名　背負うこと。
そおわ　名　背負うこと。
そおん　名　背負うこと。
そか　名　祖母。
そかい　名　祖母。
そかく　名　祖母。
そがく　名　祖母。
そかけ　名　祖母。
そがけ　名　祖母。
そかこ　名　祖母。
そがこ　名　祖母。
そかさ　名　祖母。
そがさ　名　祖母。
そかし　名　祖母。
そがし　名　祖母。
そかす　名　祖母。
そがす　名　祖母。
そかせ　名　祖母。
そがせ　名　祖母。
そかそ　名　祖母。
そがそ　名　祖母。
そかた　名　祖母。
そがた　名　祖母。
そかち　名　祖母。
そがち　名　祖母。
そかつ　名　祖母。
そがつ　名　祖母。
そかて　名　祖母。
そがて　名　祖母。
そかと　名　祖母。
そがと　名　祖母。
そかな　名　祖母。
そがな　名　祖母。
そかに　名　祖母。
そがに　名　祖母。
そかぬ　名　祖母。
そがぬ　名　祖母。
そかね　名　祖母。
そがね　名　祖母。
そかの　名　祖母。
そがの　名　祖母。
そかは　名　祖母。
そがは　名　祖母。
そかひ　名　祖母。
そがひ　名　祖母。
そかふ　名　祖母。
そがふ　名　祖母。
そかへ　名　祖母。
そがへ　名　祖母。
そかほ　名　祖母。
そがほ　名　祖母。
そかま　名　祖母。
そがま　名　祖母。
そかみ　名　祖母。
そがみ　名　祖母。
そかむ　名　祖母。
そがむ　名　祖母。
そかめ　名　祖母。
そがめ　名　祖母。
そかも　名　祖母。
そがも　名　祖母。
そかや　名　祖母。
そがや　名　祖母。
そかゆ　名　祖母。
そがゆ　名　祖母。
そかよ　名　祖母。
そがよ　名　祖母。
そから　名　祖母。
そがら　名　祖母。
そかり　名　祖母。
そがり　名　祖母。
そかる　名　祖母。
そがる　名　祖母。
そかれ　名　祖母。
そがれ　名　祖母。
そかろ　名　祖母。
そがろ　名　祖母。
そわ　名　祖母。
そわい　名　祖母。
そわく　名　祖母。
そわけ　名　祖母。
そわこ　名　祖母。
そわさ　名　祖母。
そわし　名　祖母。
そわす　名　祖母。
そわせ　名　祖母。
そわそ　名　祖母。
そわた　名　祖母。
そわち　名　祖母。
そわつ　名　祖母。
そわて　名　祖母。
そわと　名　祖母。
そわな　名　祖母。
そわに　名　祖母。
そわぬ　名　祖母。
そわね　名　祖母。
そわの　名　祖母。
そわは　名　祖母。
そわひ　名　祖母。
そわふ　名　祖母。
そわへ　名　祖母。
そわほ　名　祖母。
そわま　名　祖母。
そわみ　名　祖母。
そわむ　名　祖母。
そわめ　名　祖母。
そわも　名　祖母。
そわや　名　祖母。
そわゆ　名　祖母。
そわよ　名　祖母。
そわら　名　祖母。
そわり　名　祖母。
そわる　名　祖母。
そわれ　名　祖母。
そわろ　名　祖母。

そえがき ＋書物・絵画などの本文以外に書き添えた文章。

そえぎ ＋添え木。

そえぐち ＋添え物。

そえこと ＋添え言葉。

そえじょう ＋添え状。

そえしょ ＋添え書き。

そえじり ＋添え字。

そえすがた ＋添え姿。

そえて ＋添えること。

そえつち ＋土を盛り上げること。

そえて ＋添えること。

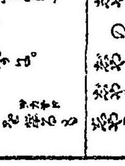
そえて ＋添えること。

そえて ＋添え

そ

そいね ＊副詞。そのまま。
そいや ＊感動詞。天下を統一する時のかけ声。
そいやさ ＊感動詞。天下を統一する時のかけ声。
そいやさのかけ声

まないた ＊名 料理のとき、食物をのせて切るための板。
まなこ ＊名 目。眼。
まなざし ＊名 目つき。
まなじり ＊名 目じり。
まなつ ＊名 夏。
まなでし ＊名 弟子。
まなび ＊名 学ぶこと。
まなびや ＊名 学校。
まなぶ ＊動 学問をする。
まにあう ＊動 間に合う。
まにまに ＊副 …のままに。
まぬかれる ＊動 免れる。
まぬけ ＊名 ばかなこと。
まね ＊名 他人のするとおりにすること。
まねく ＊動 手招きする。
まねる ＊動 他人のするとおりにする。
まのあたり ＊副 目の前。
まばたき ＊名 目をしばたたくこと。
まばたく ＊動 目をしばたたく。
まばゆい ＊形 光が強くて目をあけていられない。
まばら ＊形 ＊動 ものの少ないさま。
まひ ＊名 ＊動 感覚や運動の機能がなくなること。
まひる ＊名 昼間。
まぶか ＊形 ＊動 帽子などを深くかぶるさま。
まぶた ＊名 目をおおう皮膚。
まぶち ＊名 縁。
まぶる ＊動 ＊名 ＊形 ＊副 ＊接尾 ＊接頭 ＊感 ＊助 ＊代 ＊連体 ＊接続 ＊終助 ＊間投 ＊補動 ＊補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助連体 ＊補助接続 ＊補助終助 ＊補助間投 ＊補助補動 ＊補助補形 ＊補助補助 ＊補助補助動詞 ＊補助補助形容詞 ＊補助補助名詞 ＊補助補助副詞 ＊補助補助接尾 ＊補助補助接頭 ＊補助補助感 ＊補助補助助 ＊補助補助代 ＊補助補助連体 ＊補助補助接続 ＊補助補助終助 ＊補助補助間投 ＊補助補助補動 ＊補助補助補形 ＊補助補助補助 ＊補助補助補助動詞 ＊補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助名詞 ＊補助補助補助副詞 ＊補助補助補助接尾 ＊補助補助補助接頭 ＊補助補助補助感 ＊補助補助補助助 ＊補助補助補助代 ＊補助補助補助連体 ＊補助補助補助接続 ＊補助補助補助終助 ＊補助補助補助間投 ＊補助補助補助補動 ＊補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助動詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助形容詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助名詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助副詞 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接尾 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接頭 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助感 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助連体 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助接続 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助終助 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助間投 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補動 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助連体 ＊補助接続 ＊補助終助 ＊補助間投 ＊補助補動 ＊補助補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助連体 ＊補助接続 ＊補助終助 ＊補助間投 ＊補助補動 ＊補助補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助連体 ＊補助接続 ＊補助終助 ＊補助間投 ＊補助補動 ＊補助補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助連体 ＊補助接続 ＊補助終助 ＊補助間投 ＊補助補動 ＊補助補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助連体 ＊補助接続 ＊補助終助 ＊補助間投 ＊補助補動 ＊補助補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助連体 ＊補助接続 ＊補助終助 ＊補助間投 ＊補助補動 ＊補助補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助連体 ＊補助接続 ＊補助終助 ＊補助間投 ＊補助補動 ＊補助補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助連体 ＊補助接続 ＊補助終助 ＊補助間投 ＊補助補動 ＊補助補形 ＊補助 ＊補助動詞 ＊補助形容詞 ＊補助名詞 ＊補助副詞 ＊補助接尾 ＊補助接頭 ＊補助感 ＊補助助 ＊補助代 ＊補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助補助



ちゃうだい　十重二十重に囲む
ちゃうちゃ　茶の湯
ちゃうちゃく　着手
ちゃうちゃく　着着
ちゃうちゃく　着陸
ちゃうちゃくだま　着弾
ちゃうちゃくち　着地
ちゃうちゃくてん　着点
ちゃうちゃくりく　着陸
ちゃうちゃくりくき　着陸機
ちゃうちゃくりくじょう　着陸場
ちゃうちゃくりくそうち　着陸装置
ちゃうちゃくりくたい　着陸帯
ちゃうちゃくりくよてい　着陸予定
ちゃうちゃくりくよていじょう　着陸予定場
ちゃうちゃくりくよていち　着陸予定地
ちゃうちゃくりくよていてん　着陸予定点
ちゃうちゃくりくよていりく　着陸予定陸
ちゃうちゃくりくよていりくじょう　着陸予定陸場
ちゃうちゃくりくよていりくち　着陸予定陸地
ちゃうちゃくりくよていりくてん　着陸予定陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりく　着陸予定陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくじょう　着陸予定陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくち　着陸予定陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくてん　着陸予定陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりく　着陸予定陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくち　着陸予定陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸点
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりく　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくじょう　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸場
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくち　着陸予定陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸地
ちゃうちゃくりくよていりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくりくてん　着陸予定陸

そ

そうえん　＊庭園　花や木を植えて美しくした庭。

そうおん　＊騒音　さわがしい音。

そうかい　＊総会　全員が集まる会。

そうかい　＊創会　新しく会を作ること。

そうがく　＊総額　全部の金額。

そうがく　＊総額　全部の金額。

そうがく　＊総額　全部の金額

まえ　名。からだの、かおのほうのぶぶん。
まえあし　名。からだの、まえのほうにある、あし。
まえうり　名。（むかし、）ものを、まえもって、かねをうけとって、うること。
まえおき　名。ほんのはじめに、ものごとのあらましをかいておくこと。
まえかけ　名。ふくのまえに、かけるもの。
まえがしら　名。ぎょうれつなどの、まえのほうのひと。
まえがみ　名。ひたいにかかる、かみのけ。
まえかんじょう　名。まえもって、かんがえておくこと。
まえきん　名。まえもって、はらうおかね。
まえげいき　名。あそびのとちゅうで、ちょっとたべる、たべもの。
まえこごみ　名。からだを、まえのほうへ、まげること。
まえだおし　名。まえのほうへ、たおれること。
まえだれ　名。ふくの、まえのほうにある、たれ。
まえづけ　名。さかなや、やさいを、しおやみそにつけること。
まえばらい　名。まえもって、はらうこと。
まえばらい　名。まえもって、はらうこと。
まえばらい　名。まえもって、はらうこと